



《取扱説明書》

ブラザー電子コンパル ZZ3-B727型  
デラックス

●この《取扱説明書》には無料で講習が受けられる整理券がついております●

◆お買い上げ誠にありがとうございます。  
ブラザーコンパルテラックスのすばらしい性能とその正しい使い方をご理解いただくために、まずこの「取扱説明書」をごらん下さいますようお願い申し上げます。

◆移転などする場合は……

このミシンは、それぞれご購入の地区で正規の回転数になるよう、調整してありますが、もし移転などで電源の周波数(50Hz・60Hz)の異なる地区でご使用になる場合は、電源周波数の切り換えが必要です。くわしくは62ページをごらん下さい。

《ご注意》このミシン(ZZ3-B727型)には、別売りの自動ネーム刺しゅう器“ワンダーサイン”はご使用になれません。

## アフターサービスについて

◆ 修理サービスのご相談

- (1) このミシンのご購入者には、お買い上げの日から1か年間の無料修理保証書が発行されています。内容をお確かめの上、大切に保存して下さい。
- (2) 修理サービスは、無料修理期間内および期間経過後も原則としてお買い上げ店が承りますので、ご相談して下さい。

◆ 修理用部品の保有期間

- (1) 交換修理に必要な動力伝達機能部品および縫製機能部品は、通常、お買い上げの日から8年間を基準にして当社において保有しております。
- (2) 修理部品は、必要に応じて当社より販売店に供給できるよう体制を整えております。

◆ 無料修理期間経過後の修理サービス

- (1) 取扱説明書に基づいて正しいご使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過していても修理用部品の保有期間中は、お買い上げ店を通じて原則として有料で修理サービスをいたします。ただし、次に該当する場合は有料でも修理できない場合がありますので、お買い上げ店にご相談下さい。

- ① 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
- ② 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
- ③ お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
- ④ ブラザーミシン販売店以外で修理分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
- ⑤ 内職等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。

- (2) 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によっても修復できないことがあります。
- (3) 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代、交通費および技術料の合計額になります。

◆ 修理サービスについてのお問合せ・ご相談は、お買い上げ店または最寄りのブラザーミシン販売株式会社支店(裏表示を参照下さい。)へお申越して下さい。

## ジグザグミシン講習整理券について

この「取扱説明書」には講習整理券が2枚ついております。お届けした店が責任をもって使い方をご説明申し上げますので、ご利用下さい。

講習整理券は受講された場合の整理に使いますので、ご署名、ご捺印の上1枚ずつ切り取ってお渡し下さい。

なお講習をお受けになる際には、付属のサービスセットをお忘れなくご用意下さい。このセットを使って下記の講習基準に基き、ジグザグミシンの使い方から基礎的な縫い方の一通りを覚えていただけます。

### ジグザグミシン講習整理券による講習基準

この講習基準は出張講習、教室での講習とも2回(1回当たり2時間程度)を基準としております。

回数	講習基準内容	
第1回目	ジグザグミシンの 使い方および 縫い方	①サービスセットの内容と使い方
第2回目		②糸の正しいかけ方と糸調子のとり方 ③ジグザグミシンの主な各部の使い方 ④縫い方 ⑤使用上の注意事項 ⑥ミシンの手入れと注油のしかた

#### ◎お願い

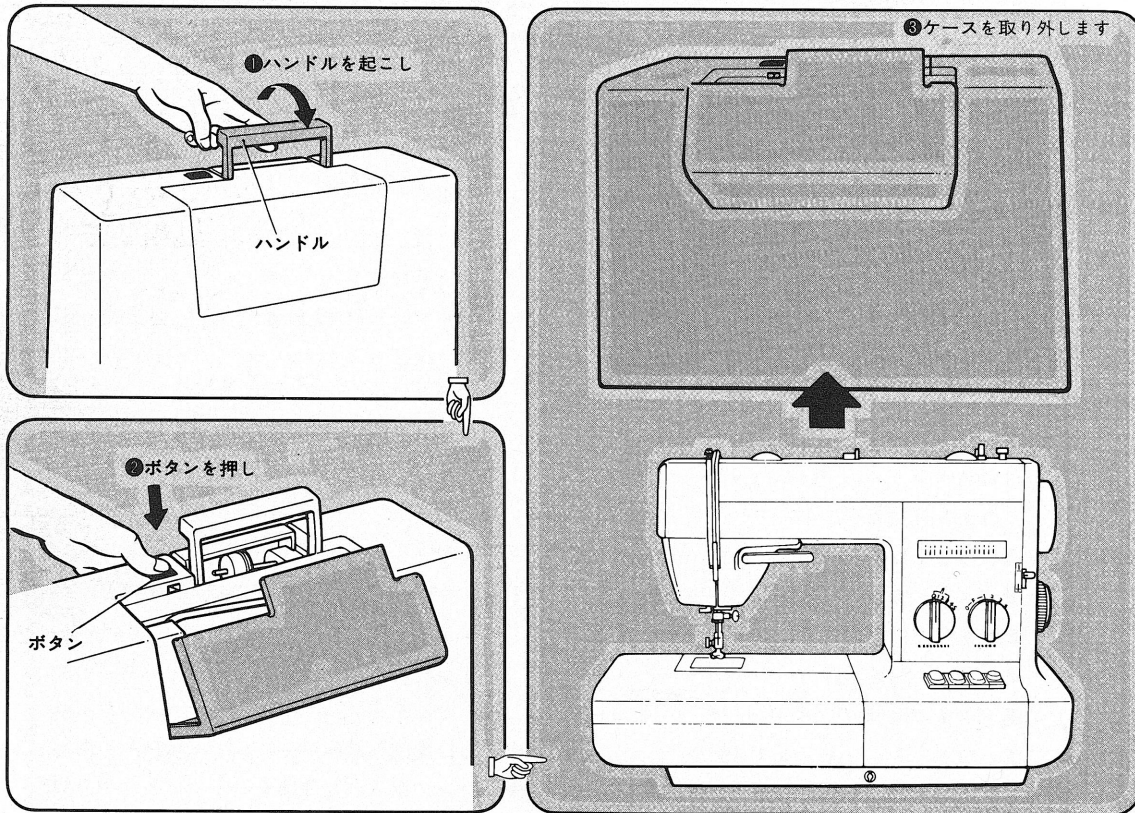
講習券には有効期間が印刷してありますので、一度お確かめの上期限切れにならないよう早目にご利用下さい。

## もくじ

中使用前の準備中	1	二本針縫いをする場合	24
中主な名称とはたらき中	2	チェーンステッチ	25
電源スイッチボタン	3	◆チェーンステッチの糸調子	25
スピードコントロールプッシュボタン	3	しつけ縫い	27
コントロールレバー	4	フリーアームの利用のしかた	30
針停止位置切り換えレバー	6	中いろいろな縫い方中	31
送り調節ダイヤル	6	伸縮縫い	31
ジグザグ幅調節ダイヤル	6	裁ち目かがり	33
模様選択ダイヤル	6	まつり縫い	35
模様表示窓	6	ボタン穴かがり	37
押え調節レバー	8	ファスナー付け	41
ドロップフィード切り換えてこ	8	スカラップステッチ	45
針	8	三つ巻き縫い	46
押え	9	コーティング	47
付属品	10	落しミシン	48
その他の付属品	11	ピンタック	49
中運転のしかた中	12	シェルタック	50
中使 方 中	13	ファゴティング	51
1. 上糸の掛け方	13	キルティング	52
2. 下糸の引き上げ方	14	つき合わせはぎ	53
◆ 下糸の準備	14	アップリケ	54
3. 布地・ミシン糸・ミシン針の 関係とミシンの合わせ方	17	中楽しい実用作品中	55
直線縫い	18	中ミシンの手入れと注油中	57
◆こんな場合には	19	掃除と手入れ	57
◆直線縫いの糸調子	23	注油	58
ジグザグ縫い	24	中簡単な調整手入れ中	60
◆ジグザグ縫いの糸調子	24	◆移転などする場合は	62

## ✿ 使用前の準備 ✿

### ◆ミシンを取り出すには……



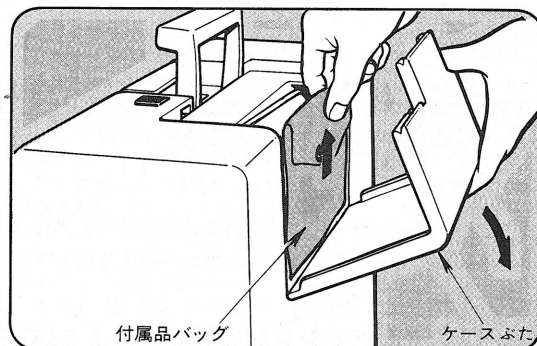
### ◆ミシンをしまうには……

しまい方は、上記方法の逆の順序で行います。

※補助テーブルを下げた状態(フリーアーム)では、はまりません。

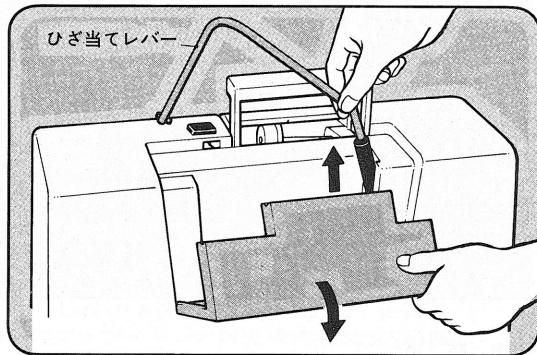
※押えは下げてケースをはめて下さい。

### ◆付属品バッグを取り出すには……



※付属品(押え以外の付属品)は、ケースふた内部の付属品バッグの中に入っています。ボタンを押してケースふたを開け、図のように取り出してご使用下さい。

### ◆ひざ当てレバーを取り出すには……

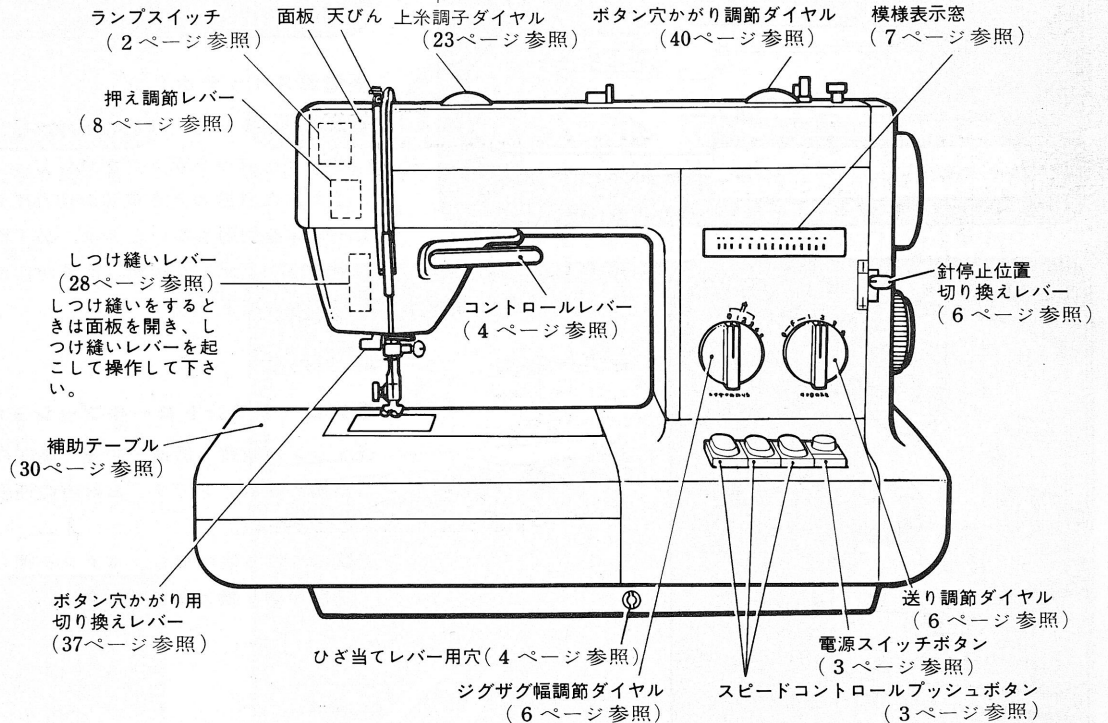
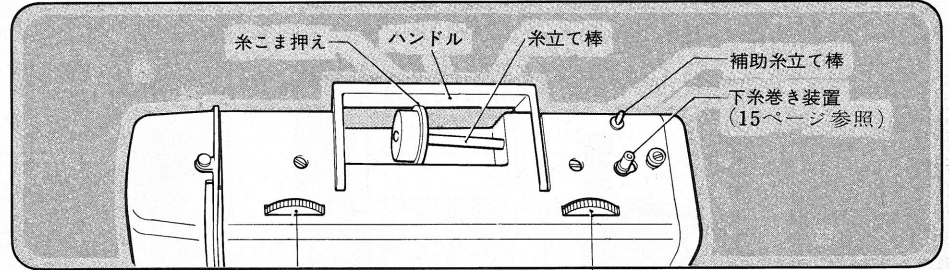
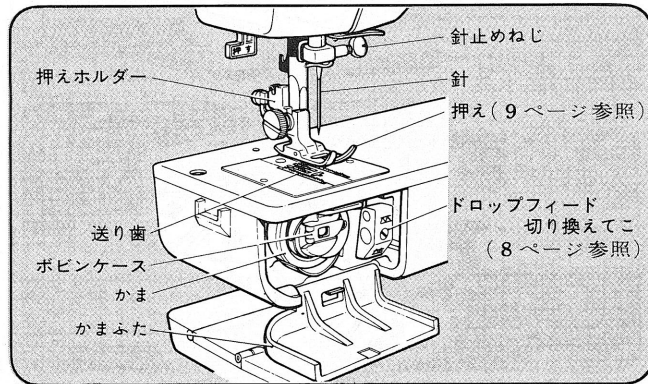
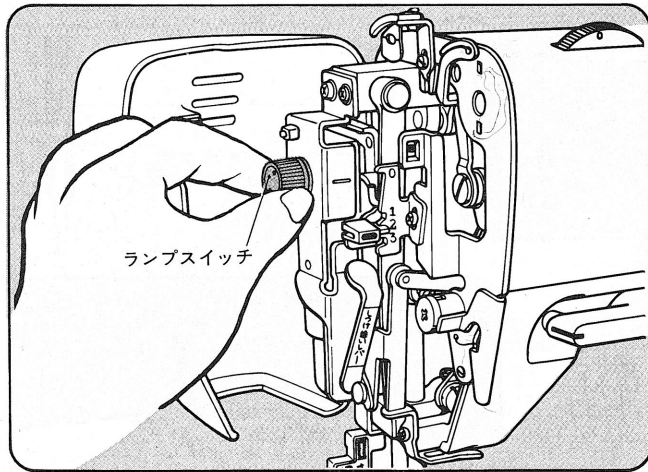


※ひざ当てレバーを使用するときは、ボタンを押してケースふたを開け、図のように取り出してご使用下さい。(使い方は4ページをごらん下さい。)

# ✿ 主な名称とはたらき ✿

## ◆ ランプスイッチ

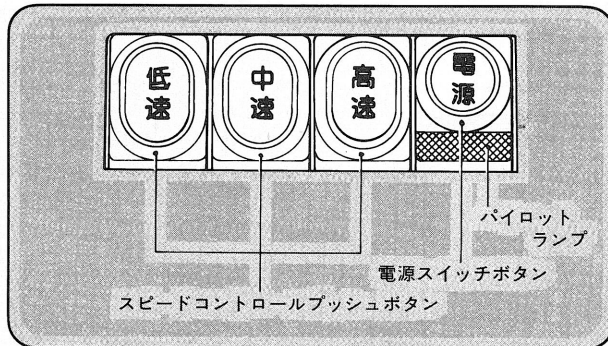
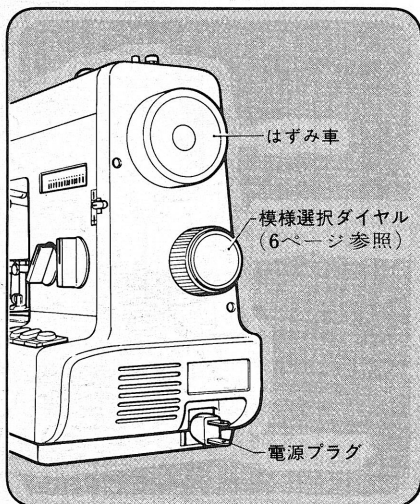
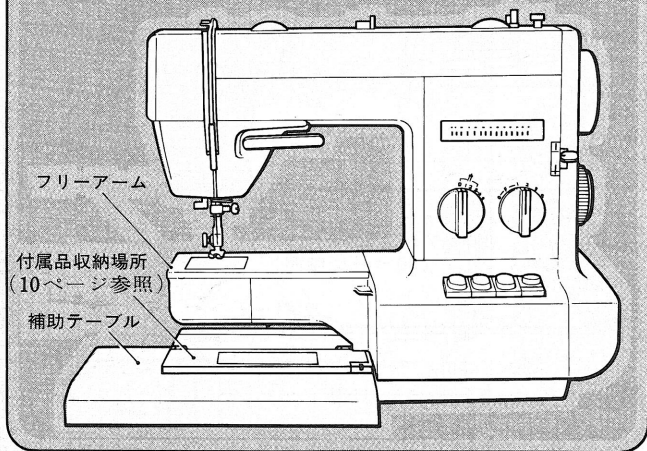
☆ 面板を開いてランプスイッチを回すと点滅します。(なお、電源スイッチボタンがONになっていないと点灯しません。)





## 電源スイッチボタン・スピードコントロールプッシュボタン

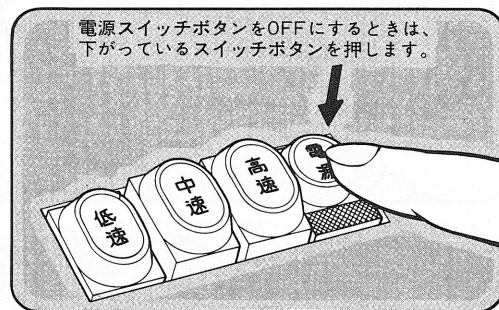
フリーアームとして使用する  
場合(30ページ参照)



### ◆電源スイッチボタン

☆ボタンが下がった状態のとき、電源が入っており、パイロットランプが点灯します。ボタンが上がった状態のとき電源が切れております。

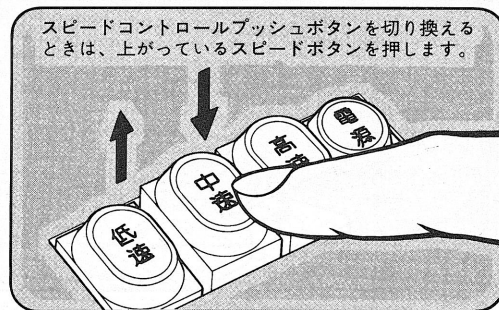
☆ミシンを使用しないときは、必ず電源スイッチボタンが上がった状態（電源が切れている）にしておいて下さい。



### ◆スピードコントロールプッシュボタン

☆ミシンの速度を低速・中速・高速の3段階に切り換えるボタンです。お好みの速度を選んで押しして下さい。

☆縫っている途中でも、ボタンを押し換えれば、速度の切り換えができます。

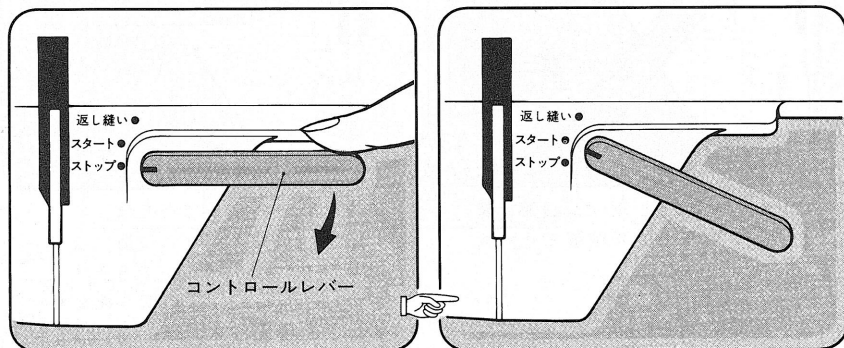


## コントロールレバー

★このレバーは、ミシンのスタート・ストップ・返し縫いの3つの操作が兼用になっています。

### ◆ミシンをスタートさせるには……

☆好みの速度を選び、スピードコントロールプッシュボタンを押しておきます。



☆コントロールレバーを**スタート**の位置まで下に押します。ミシンは動き始めます。

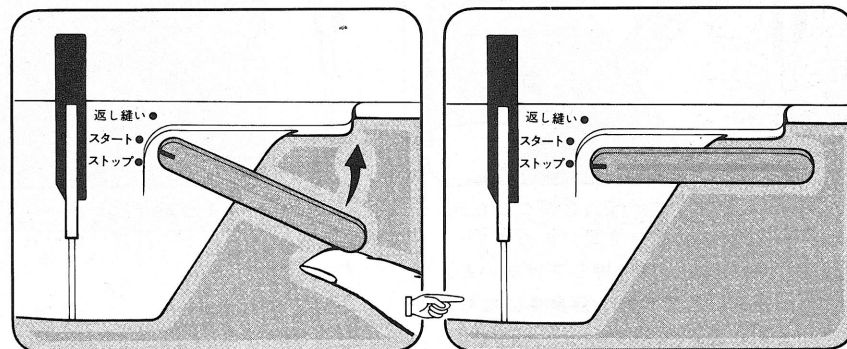
**スタート**の位置は、カチッと音がしてレバーが止まる位置です。

☆ミシンをスタートさせた場合、どの速度でもゆっくりスタートします。これは、レバーを押してから布に手をそえる余裕が持たせてあるためです。

### 注意

☆コントロールレバーが**スタート**の位置にあるときは、電源を入れてもミシンは動きません。コントロールレバーを**ストップ**の位置にしてから、あらためてスタートに合わせ、ミシンをスタートさせて下さい。

### ◆ミシンをストップさせるには……

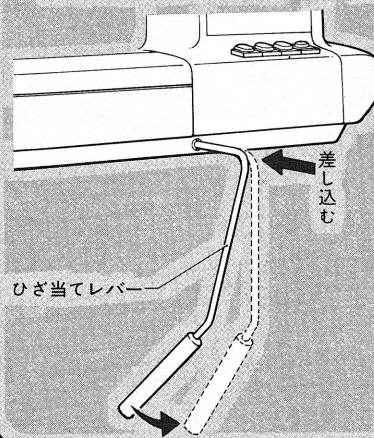


☆レバーを**ストップ**の位置まで上に押し上げて下さい。ミシンは止まります。

☆このミシンは、ストップしたとき針が上または下で止まるようになっています。

※針を上停止または下停止させる場合は、6ページをご参照下さい。

### ひぎでもミシンのスタート・ストップができるようになっています。



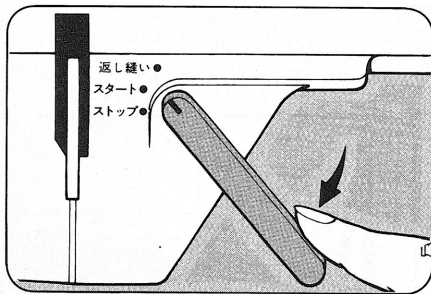
☆付属のひぎ当てレバーを図のように差し込みますとひぎでスタート・ストップ操作ができます。

☆スタート・ストップは、交互の繰り返しになっています。

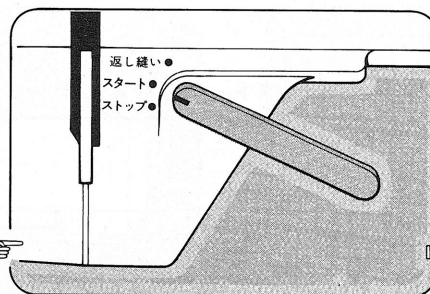
◆返し縫いをするには……

☆返し縫いはつぎのように操作して下さい

縫い始め

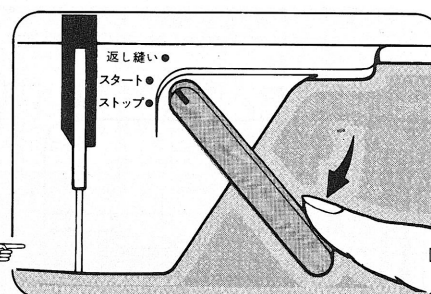


1. レバーを一杯に下げ、必要な長さが縫い終るまでその位置で止めます。  
 (注意) レバーを一杯に押し下げないと、前進縫いと同一縫い目長さになりません。(こまかくなります。)

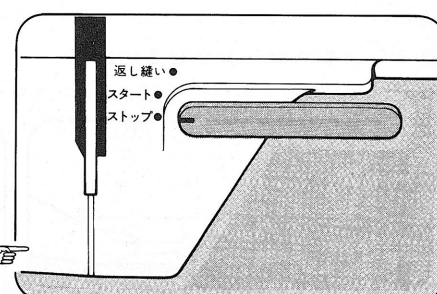


2. 縫い終わったら手を離せばレバーは、自動的にスタートの位置に保たれます。

縫い終り

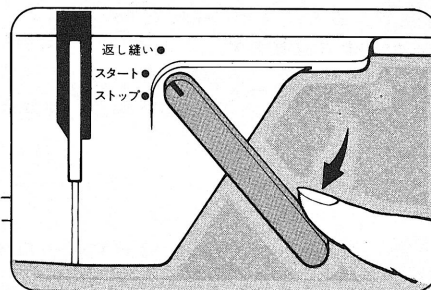
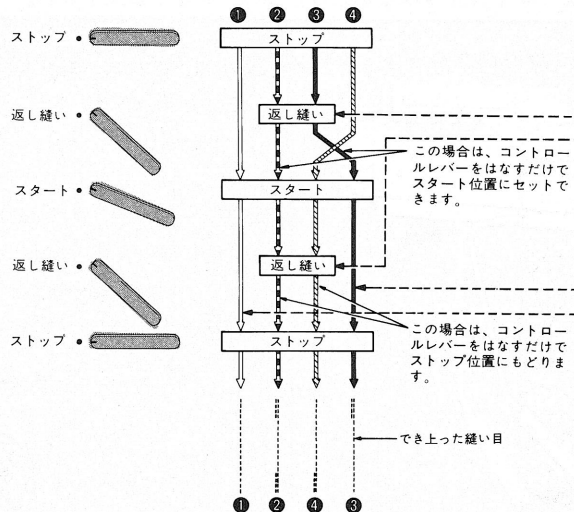


3. レバーを一杯に押し下げ、必要な長さが縫い終るまでその位置で止めます。

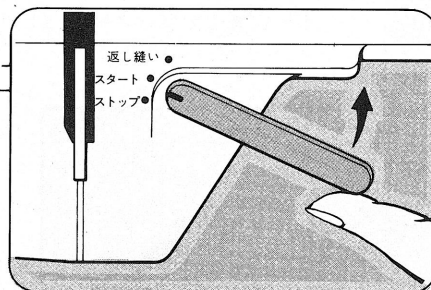


4. 縫い終わったら手をはなせば、レバーは自動的にストップの位置になり、縫い終りの返し縫いができます。  
 (このとき、針停止位置切り換えレバーは、上停止位置に合わせておいて下さい。)

《コントロールレバーの使い方》コントロールレバーを下記(①~④)のように操作しますと、いちばん下の図(①~④)のように縫う事ができます。



☆コントロールレバーを返し縫いの位置まで一杯に押し下げ、必要な長さだけ縫い終るまでその位置で止めます。

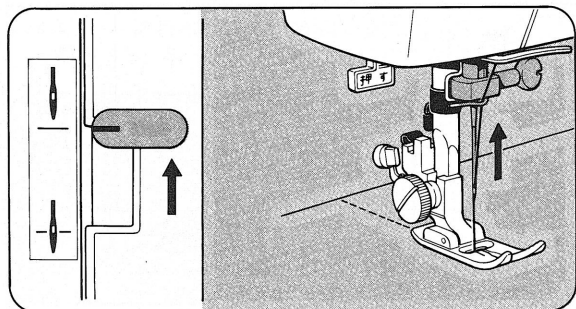


☆コントロールレバーをストップの位置まで押し上げて下さい。ミシンは止まります。

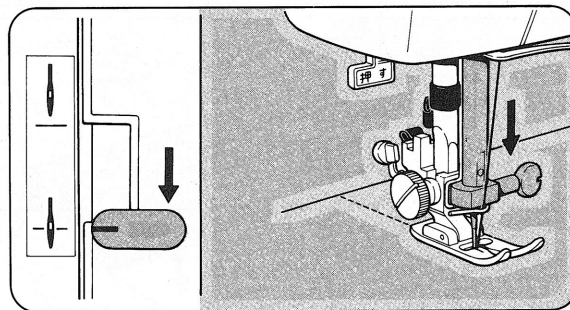


## 針停止位置切り換えレバー

☆針停止位置切り換えレバーの使い方は下図の通りです。



☆レバーが上にしてあるときは、縫い終りのとき針がいつも上で止まります。



☆レバーが下にあるときは、縫い終りのとき針は、いつも下で止まります。

☆レバーを上下に動かしますと1針縫いができます。

## 送り調節ダイヤル・ジグザグ幅調節ダイヤル・模様選択ダイヤル・模様表示窓

★これらはそれぞれ関連した操作になっています。

### ◆送り調節ダイヤル

☆ダイヤルを **左** に回わせば、縫い目の長さはこまかくなります。

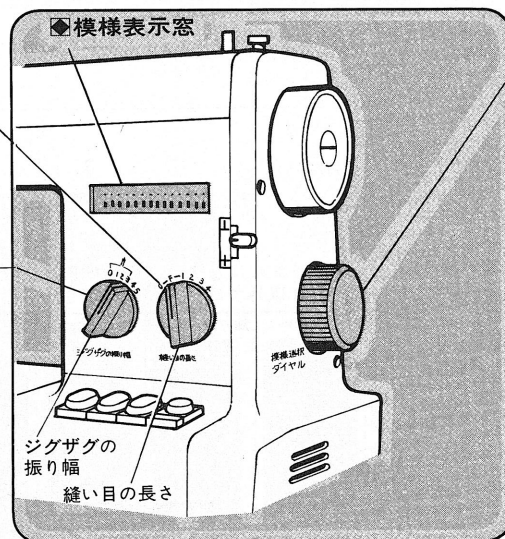
☆ダイヤルを **右** に回わせば、縫い目の長さはあらかくなります。

### ◆ジグザグ幅調節ダイヤル

☆ダイヤルを **左** に回わせば、ジグザグの振り幅は狭くなります。

☆ダイヤルを **右** に回わせば、ジグザグの振り幅は広がります。

※縫い目の長さやジグザグの振り幅は、模様に応じて調節範囲が限定されています。



### ◆模様選択ダイヤル

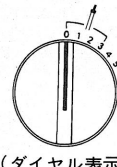
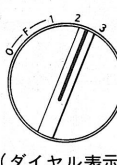
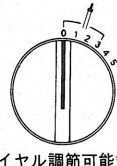
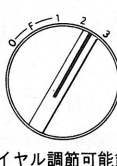
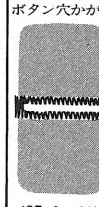




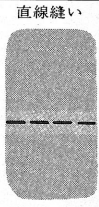



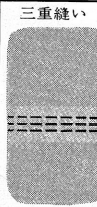
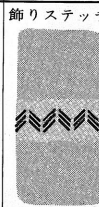
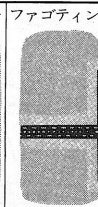
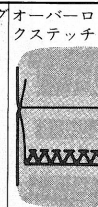
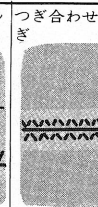
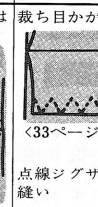

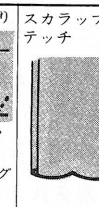
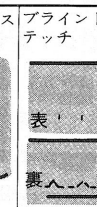


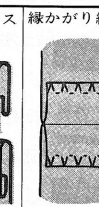
☆このダイヤルを回すだけで好みの模様が選べ、同時に選んだ模様に必要なジグザグの振り幅、縫い目の長さが次ページ表の**自動選択**のときのように自動的にきまります。

☆自動的に選んだジグザグの振り幅、縫い目の長さ以外で使用したいときは、ジグザグ幅調節ダイヤル、送り調節ダイヤルは次表の**手動選択**のときの範囲内で自由に調節ができます。

☆このダイヤル模様表示窓の  $\frac{4}{5}$  に合わせた場合は、直線縫いに合った針穴に同時に切り換わります。

※模様の選択は、ミシンを止めてからダイヤルを回して下さい。

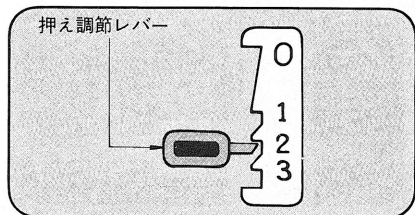
●ジグザグ振り幅と縫い目長さの自動及び手動選択表●

模様表示窓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
自動選択のとき	ジグザグの振り幅  (ダイヤル表示)	5	5	3	0	0	3.5			5			3	3	5
	縫い目の長さ  (ダイヤル表示)	自動選択のままご使用下さい。	2.5	1.5	2.5	4			3				1.5		
手動選択のとき	ジグザグの振り幅  (ダイヤル調節可能範囲)	3～5	調節はできません 針落ち左 0	0～5		0			3～5			1～5	3～5	1～5	3～5
	縫い目の長さ  (ダイヤル調節可能範囲)	自動選択のままご使用下さい。 1.5以下は使用しないで下さい。 (縫い目の調節は40ページ参照)	F～4	0～4	F～4	2～4			3				0～2.5		0～4
摘要		 <37ページ>	直線縫い  <19ページ> しつけ縫い  <27ページ>	一般ジグザグ縫い  <24ページ> 	直線縫い  <18ページ>	チェーンステッチ  表  裏  <25ページ>	三重縫い  <31ページ>	飾りステッチ  <31ページ>	ファゴティング  <51ページ>	オーバーロックステッチ  <33ページ>	つぎ合わせはぎ  <53ページ>	裁ち目かがり  <31ページ> 点線ジグザグ縫い 	スカラップステッチ  <45ページ>	ブラインドステッチ  表  裏  <35ページ>	縁かがり縫い  <33ページ>

※手動でダイヤルを選択するときは、模様表示を合わせてからダイヤルを選択して下さい。

## 押え調節レバー

☆布地の種類によって押え圧力を調節するレバー(面板内部にあります)です。(17ページ参照)



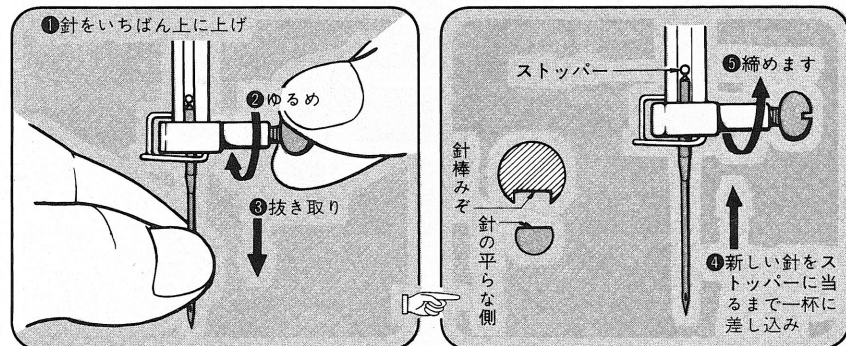
(注意)押え調節レバーを操作するときは、押えを下げておきます。

※押え圧力を強く(下げる)するとき  
は……レバーを押し下げます。

※押え圧力を弱く(上げる)するとき  
は…レバーを左へ少し引っ張って  
上げます。

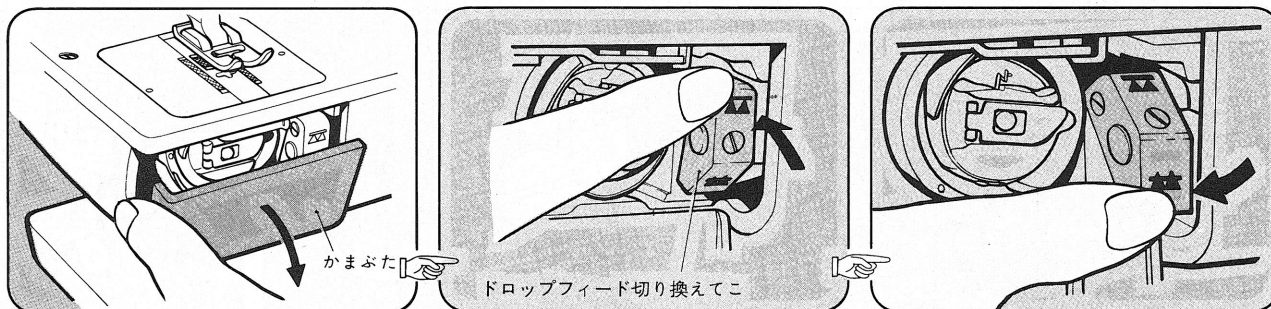
## 針

取り替えるには……



## ドロップフィード切り換えてこ

☆送り歯を上下させる“てこ”です。



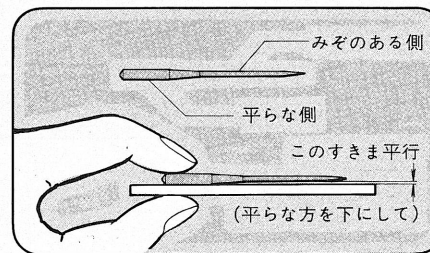
☆補助テーブルを下げ(14ページ参照)  
かまぶたを矢印方向に開きます。

☆切り換えてこの▲を矢印方向に押すと、送り歯は下がります。

☆▲を矢印方向に押すと送り歯は上がり、元にもどります。

切り換えてこ	送り歯の位置	裁縫
	 布地を送る	一般裁縫をするとき
	 布地を送らない	つくろい縫い、しつけ縫いをするとき

## 正しい針のしらべ方

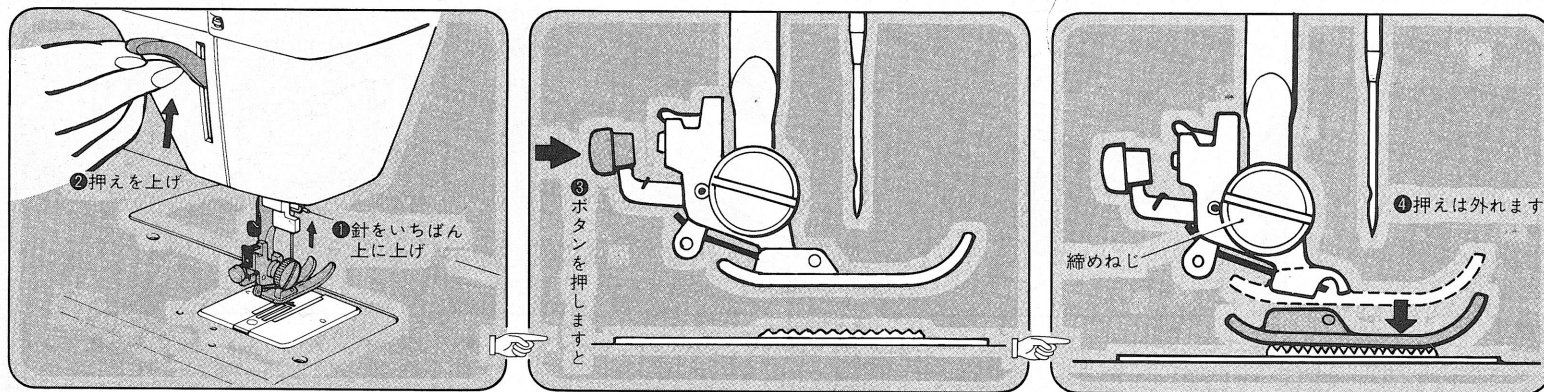


☆針が曲ってはよく縫えません。  
☆針の曲りを調べるには、平らな物(針板、ガラス板など)の上に乗せ、明るい所ですかしてみたとき、針の下側のすきまが針先まで平行に見えるのが良品です。

主な名称とはたらき

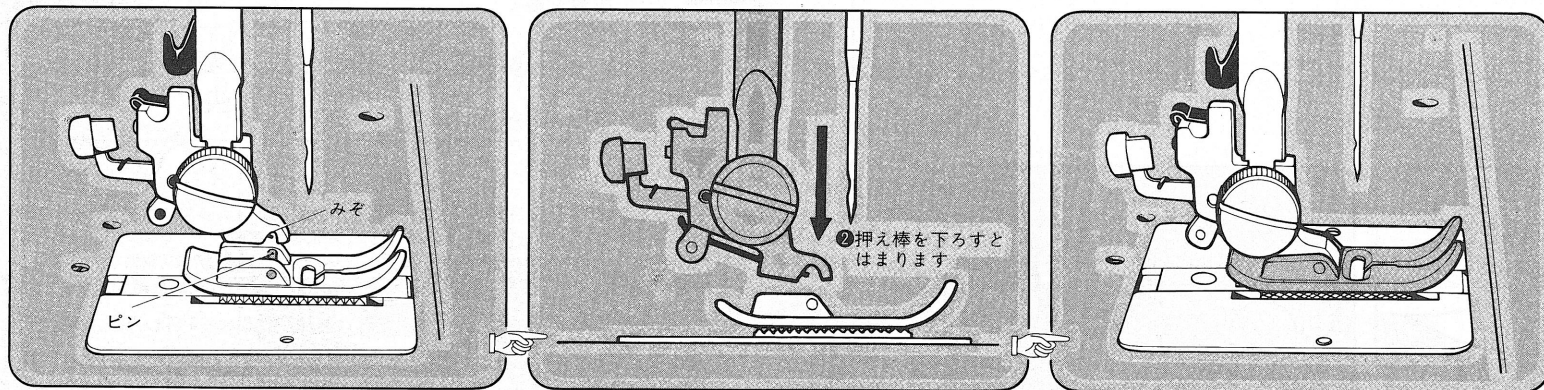
## 押え

取り外すには……



※締めねじを外さなくても押えは外せます。

取り付けるには……



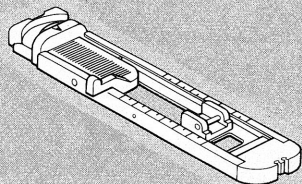
① 押えホルダーのみぞの真下に押えのピンがくるように位置を定め、押えをおきます。

(注意) ☆取り付けるとき、押えを針に当てないようして下さい。

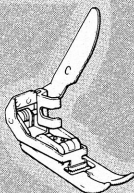
# 付 属 品

☆押えの取り付け方、取り外し方は9ページまたは、それぞれの縫い方をごらん下さい。

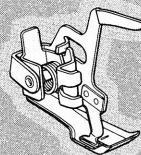
A. ボタン穴かがり押え



C. ストレッチ押え



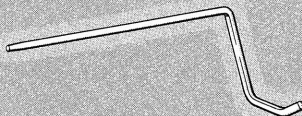
F. しつけ縫い押え



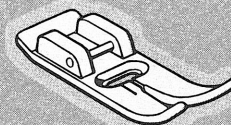
I. 片押え



B. キルター



J. ジグザグ押え



※ミシンに付いています。

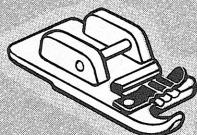
D. 直線押え



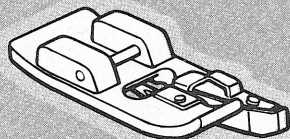
K. コンシールファスナー押え



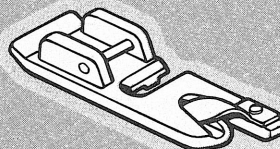
E. ひも付け押え



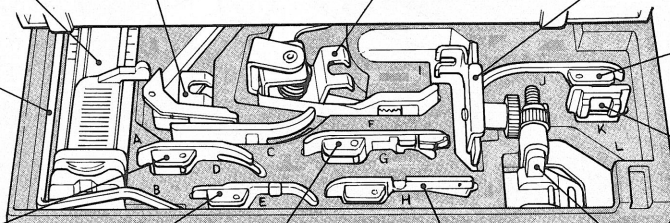
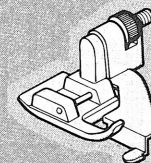
G. 裁ち目かがり押え



H. 三つ巻き押え



L. まつり縫い押え

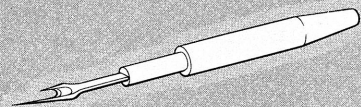


その他の付属品

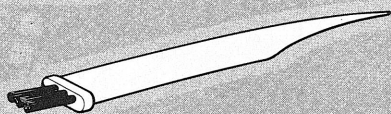
ボビン



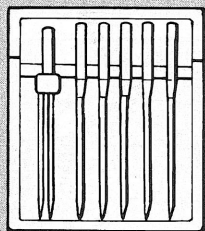
リッパー



ミシンブラシ

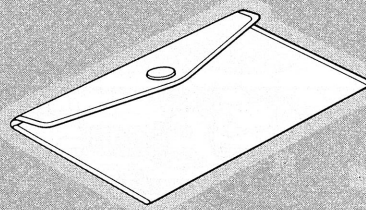


ミシン針

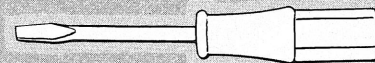


針14番..... (一般縫いに)  
 針11番..... (薄物縫いに)  
 ゴールデン針... (薄物、伸縮地の縫いにストレッチ押えと併用して下さい。)

付属品バッグ



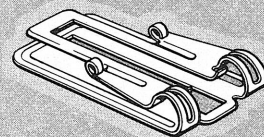
ねじまわし (中)



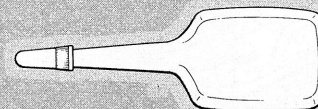
ねじまわし (小)



ボタン穴かがりスペーサー

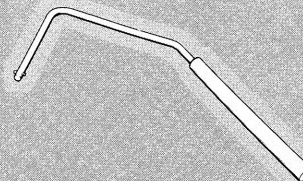


油差し



(ケースふた内部にあります)

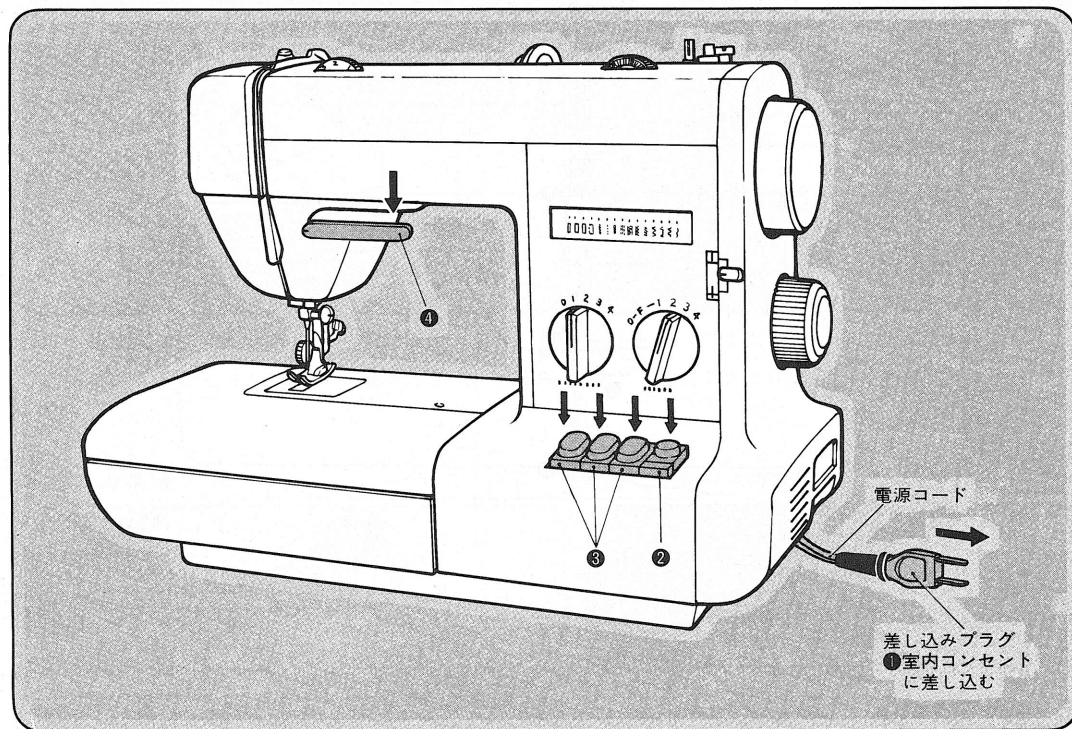
ひざ当てレバー



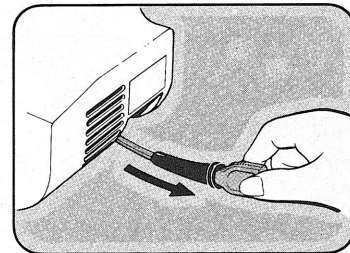
# ✿ 運転のしかた ✿

## ◆運転のしかた

★下図を見ながら番号の順序で操作してください。



- ①電源コードを引き出して、差し込みプラグを室内コンセントに差し込みます。



☆電源コードはオートリール式になっております。

☆引き出すときは、引っ張って下さい。

☆コードをしまうときは、少し引っ張ってはなせば自動的に巻き込みます。

※コードは、赤印以上は引き出さないで下さい。

- ②電源スイッチボタンを押します。
- ③お好みの速度のボタンを押します。
- ④コントロールレバーを押し下げ、スタートにします。(4ページ参照) ミシンは、始めはゆっくり回わり始めます。
- ☆両手が必要なときは、ひざでも操作できるようになっています。(4ページ参照)

## ◆ミシンを使用しないときは……

☆電源コードを必ず室内コンセントから外して下さい。

☆電源コードは必ず差し込みプラグを持って抜いて下さい。

※万一故障がありましたらブラザーの販売店にお申し付け下さい。

# 使 い 方

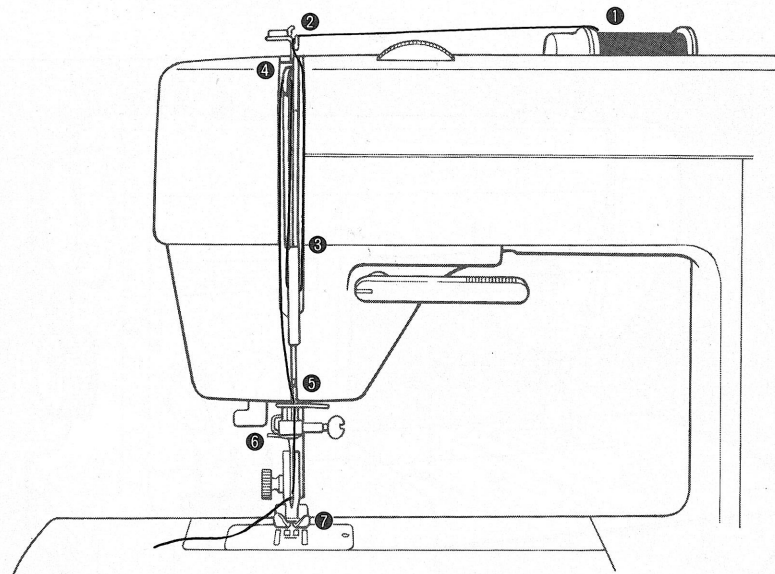
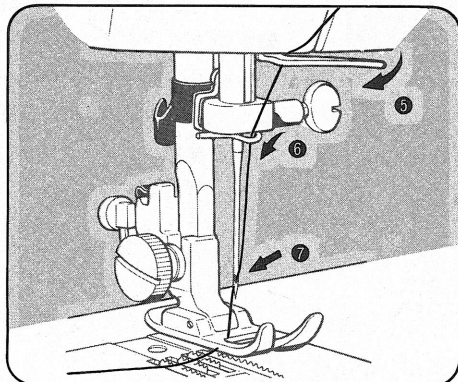
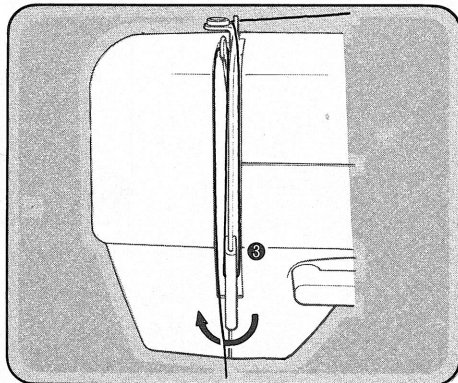
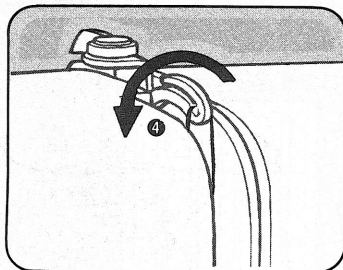
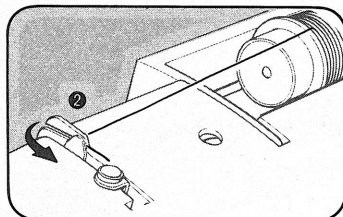
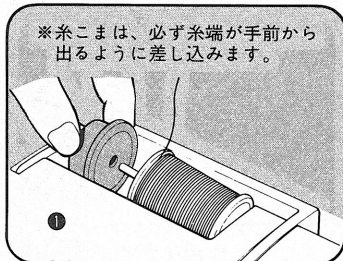
## 1. 上糸の掛け方

☆上糸の掛け方を間違えますと裁縫ができませんから、よくおぼえて下さい。

☆針は常に一定の位置（上または下）に停止するようになっております。

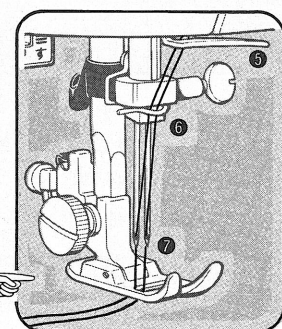
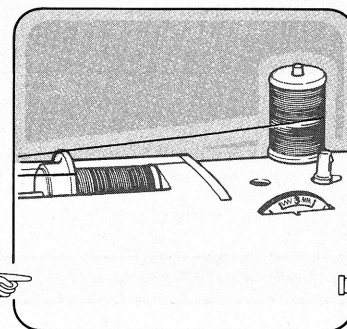
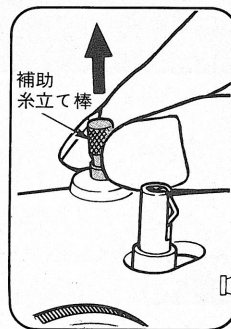
上糸を掛けるときは、上停止に合わせて下さい。

☆天びんを一番上にしてからつぎの図の番号順に糸を掛けて下さい。



## 2本針のとき……

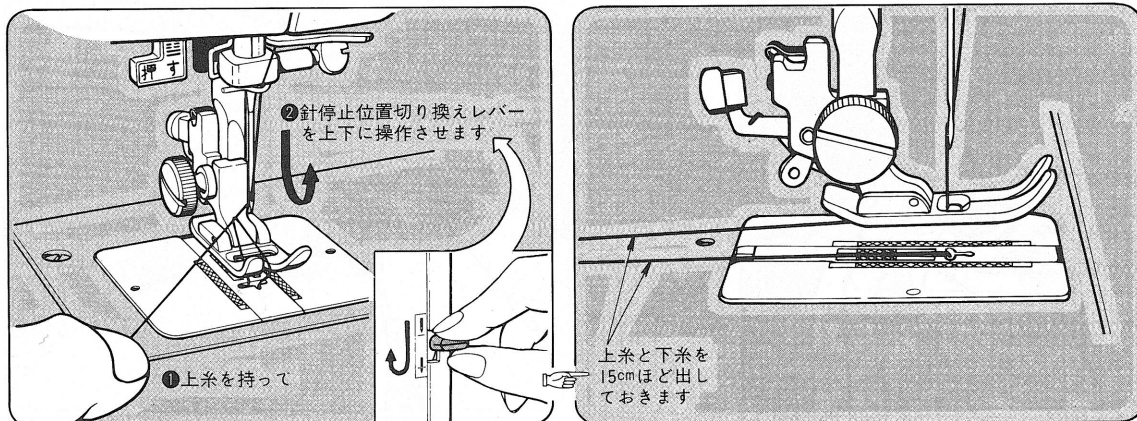
☆2本針のときも1本針と同じように掛けますが、糸立棒は図のように補助糸立て棒を引き出してご使用下さい。



☆針へは2本の糸を別々に通します。

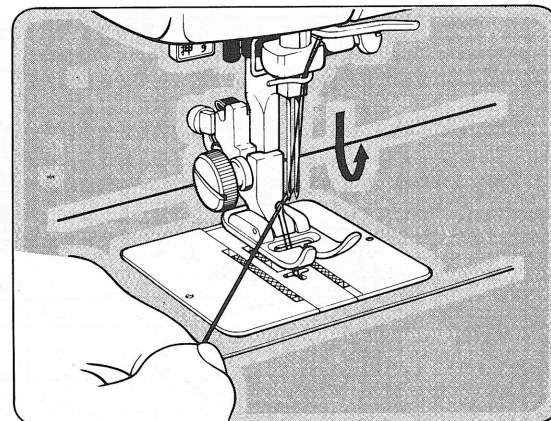


## 2. 下糸の引き上げ方



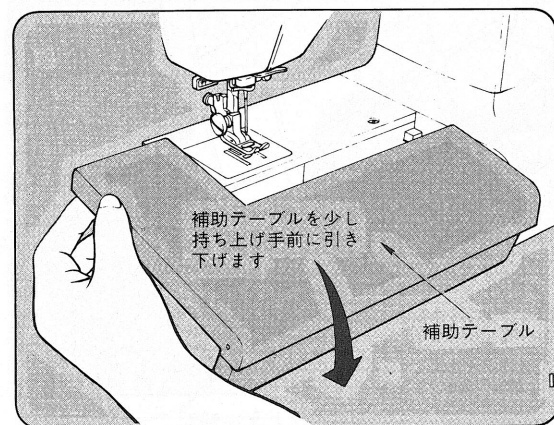
☆針停止位置切り換えレバーを上下に操作すると、針は一度下がってまた上がってきますから、上がりつめたところで上糸を引くと、上糸は下糸を捕えて針穴から輪になって出てきますので、そのまま引き出して下さい。

## ☆二本針の場合

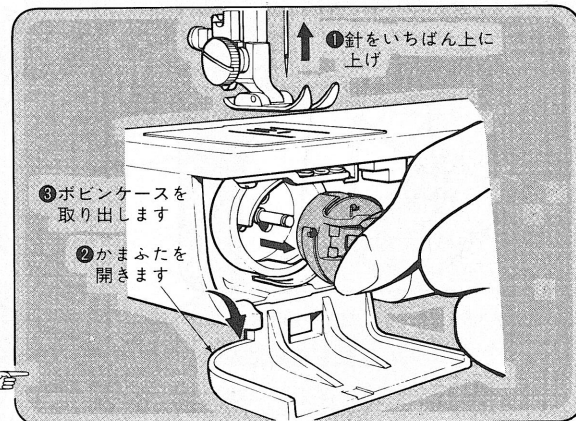


☆二本針のときも一本針と同じ要領で下糸を引き上げます。

## ◆下糸の準備



### (1) ボビンケースの取り出し方



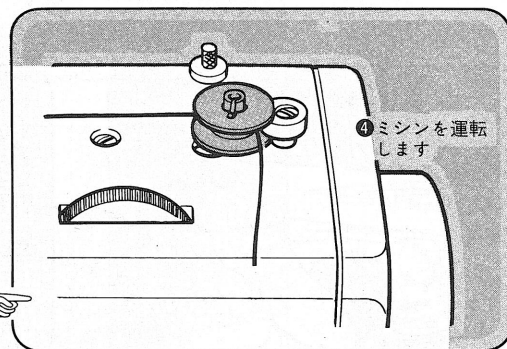
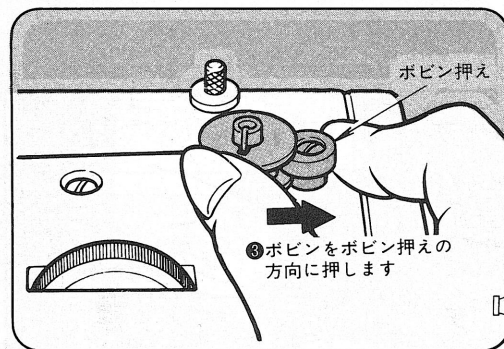
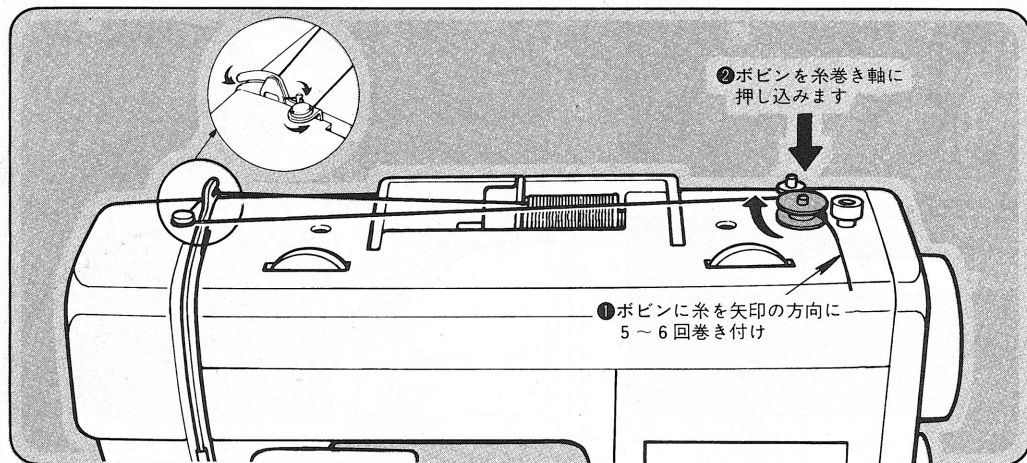
(注意) 針が下がっているときは取り出せません。

### (2) ボビンの取り出し方

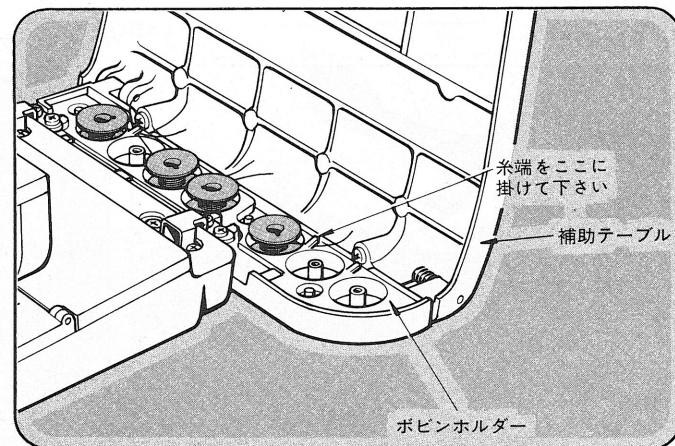


(注意) ボビンケースのつまみを持っている間は、ボビンケースを下向きにしても、ボビンは落ちないようにになっています。

(3) 下糸の巻き方

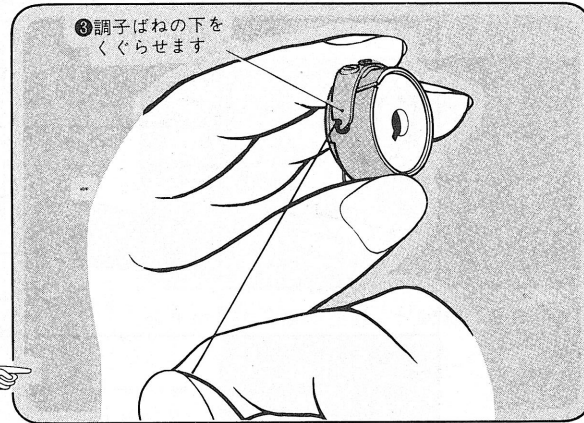


☆ボビンに糸が巻き終ると、ボビンの回転は自動的に停止します。ミシンの運転を止めてから、ボビンを左側に押して、ボビン押えから離し、ボビンを取り出し、糸を切ります。



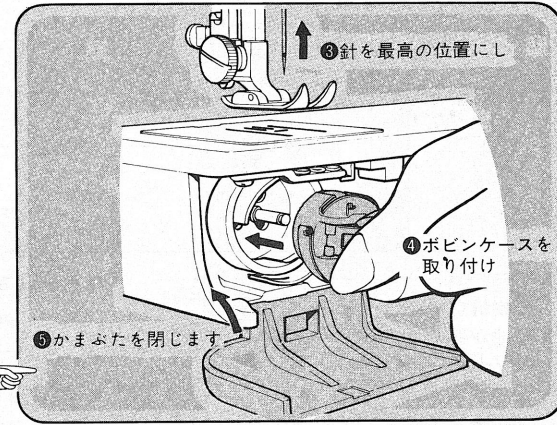
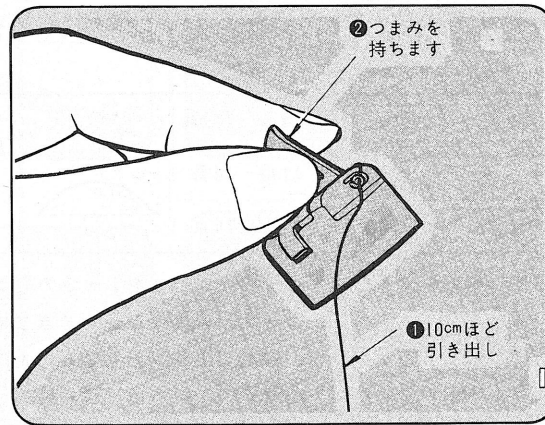
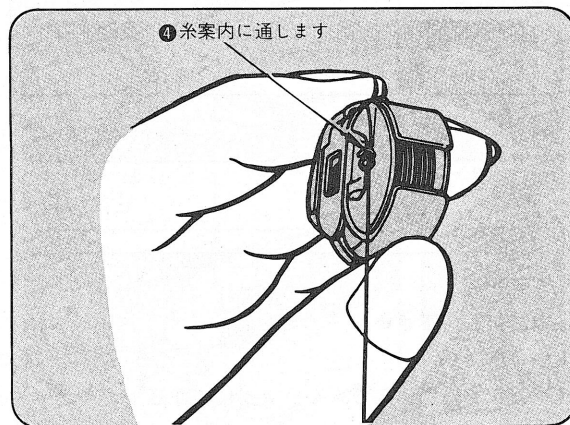
※糸を巻いたボビンの予備は、上図のように補助テーブル裏面のボビンホルダーに収納しておいて下さい。

(4) ボビンケースへの糸の通し方



(注意)ボビンケースのつまみを起こしたままでは、ボビンは確実にケースの中に入りません。

(5) ボビンケースの取り付け方

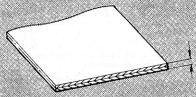
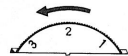
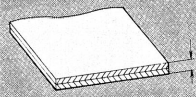
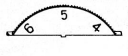
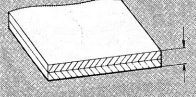
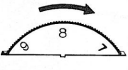


(注意)模様表示窓の  $\begin{matrix} 2 \\ \vdots \\ 4 \end{matrix}$  以外は、糸案内に下糸を通して縫って下さい。より美しく縫えます。

(注意)つまみは、一杯に開いて下さい。

(注意)しっかりと差し込んでない場合は、ボビンケースが始動とともに、飛び出してしまいます。

3. 布地・ミシン糸・ミシン針の関係とミシンの合わせ方 ……この表はいろいろな縫い方すべてに関係しますのでよくおぼえて下さい。

	布地・ミシン糸・ミシン針の関係			糸調子のとり方	押えの強さ	縫い目の長さ		ジグザグの振り幅
	布地	ミシン糸	ミシン針			直線縫い	ジグザグ縫い	
				送り調節ダイヤル	ジグザグ幅調節ダイヤル			
<b>薄物縫い</b> 	ローン	カタン糸 80番	9番	普通よりやや弱く	1	1~2	1~4	1~3
	トリコット	合繊ミシン糸 60番						
	ジョーゼット(絹)	絹ミシン糸 50番						
	ウールジョーゼット	絹ミシン糸・合繊ミシン糸 50番	11番					
<b>普通物縫い</b> 	ギンガム	カタン糸 60番~80番	11番~14番	普通	2	1~4	F~4	1~5
	薄手ジャージー	合繊ミシン糸 60番 絹ミシン糸 50番	11番					
	ギャバジン、フラノ	絹ミシン糸 50番						
<b>厚物縫い</b> 	デニム	カタン糸 50番	14番~16番	普通よりやや強く	2	2~4	1~4	1~5
	ジャージー	合繊ミシン糸 50番 絹ミシン糸 50番	11番~14番					
	ツイード	絹ミシン糸 50番	11番~14番					

厚物縫いの場合…  
布地が厚くて押えの下へ入れにくいときは、右図のように押えてこをさらに押し上げて下さい。



※送り込みの悪い布地を使用する場合は押えの強さを1~3の範囲で調節して下さい。

※上記以外にも縫い方、裁縫条件によっては糸調子が違ってきますから、適宜調節して下さい。

※このミシンに使用するミシン針は、家庭用ミシン針と表示のあるものをお使い下さい。

※ミシン針・ミシン糸のお求めはブラザーミシンの取り扱い店へ……粗悪な安物をご使用にならないようご注意ください。

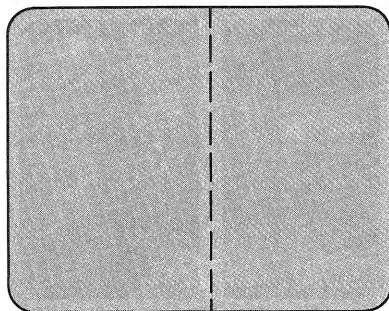
※薄物・伸縮性の布地の縫い合わせには、ゴールデン針をご使用下さい。この場合、付属のストレッチ押えと併用してお使い下さい。

※普通物・厚物にゴールデン針を使用されますと、針が折れる恐れがありますので、普通のミシン針をご使用下さい。


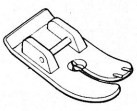
※厚物縫いの場合は、模様表示を3( )にしてジグザグの振り幅を(0)にし、低速で縫って下さい。

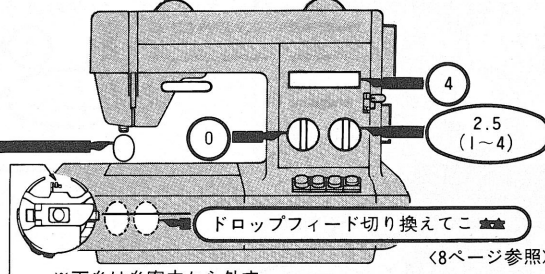
# 直線縫い

……ミシンの準備ができれば縫ってみましょう。正しいミシンのセットのしかたをおぼえ美しく縫いましょう。

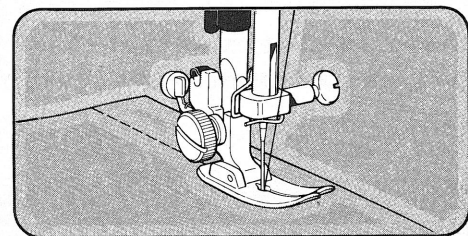


☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと直線縫いができます。

ミシン針	押え
 一本針	 直線押え

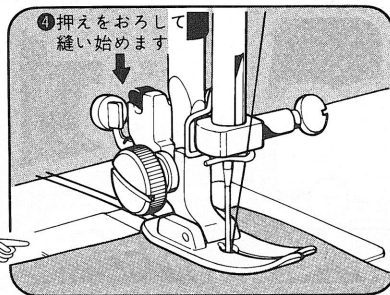
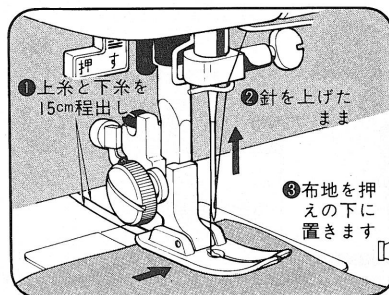


※下糸は糸案内から外す 〈8ページ参照〉

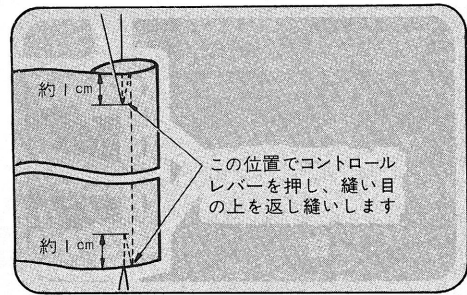


☆布地は送り歯の作用で自動的に送られますから、手は縫い物を縫いたいと思う方向へ導くだけにして下さい。

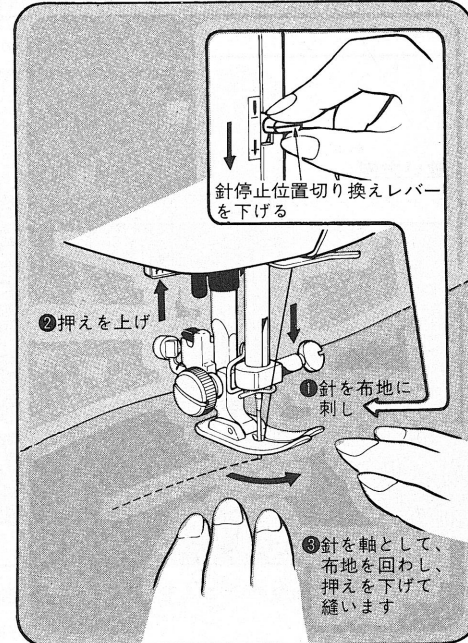
## 縫い始め



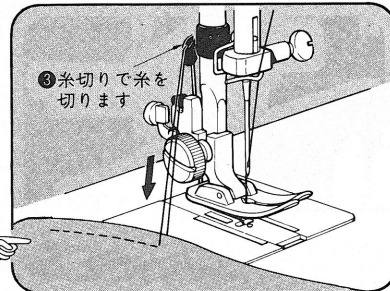
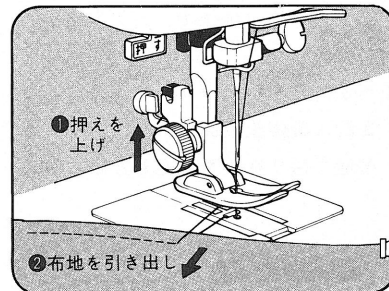
## 返し縫いのし方 (5ページ参照)



## 縫い方向の替え方



## 縫い終り



**注意**

- 縫い始め……下糸はかならず引き上げてから、縫って下さい。布地はかならず押えの下一杯に入れて下さい。
- 針を布地に刺したときは、模様選択ダイヤルとシングザグ幅調節ダイヤルは絶対に動かさないで下さい。動かしますと針が折れたり、曲がったりします。

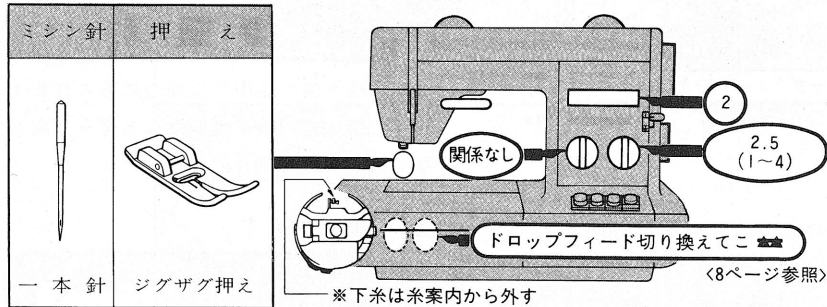
◆こんな場合には

☆布の厚みが押えの下に入らないものは縫えません。

ポケットやカフス・えり・前立て・ベルト・薄地でのダーツ・端ミシンなどは、普通に縫い始めたのでは布地が押えと送り歯でしっかりと固定されず、布地がスムーズに送られません。従って、縫い目が不揃いになり、きたないものになります。縫い方により、つぎのようにミシンを合わせて縫って下さい。

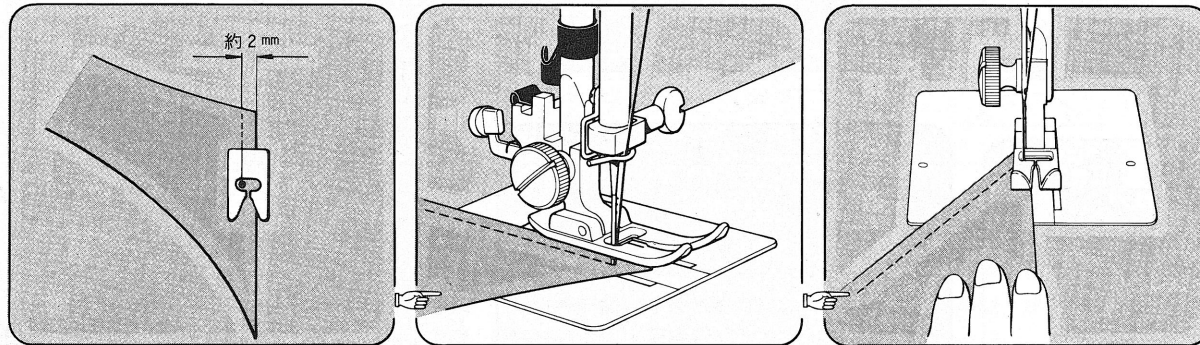
《えり・カフス・前立て・ベルトなどの飾りステッチ》

☆ミシンの合わせ方



☆縫い方例

シャツカラーの飾りステッチなどのように先がとがった部分を縫う場合は、つぎのように縫います。



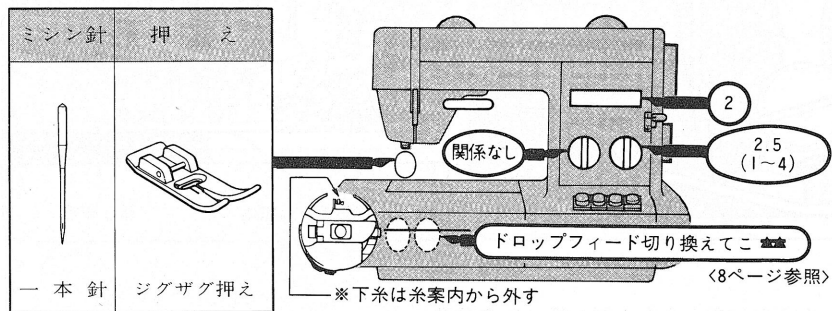
①布端より約2mm位のところを縫います。

②先端まで縫いましたら押えを上げ、方向転換をします。

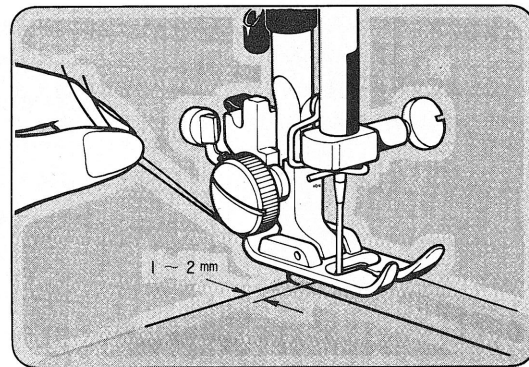
③押えを下げて2～3針布を手で送り込むようにして縫います。2～3針は針停止位置切り換えレバーを上下に動かし、布地の送り込みを確認しながら縫って下さい。

《三つ折り》

☆ミシンの合わせ方



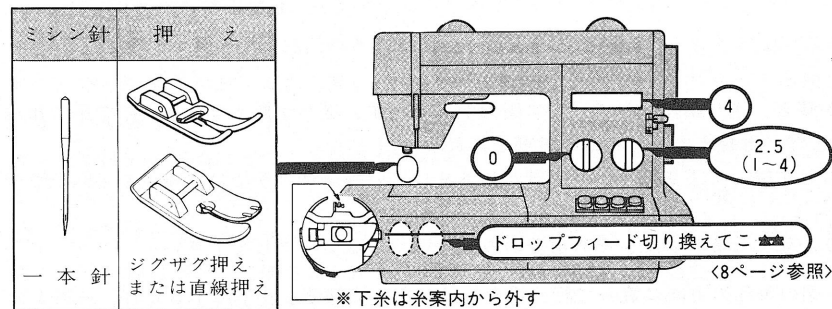
☆縫い方例



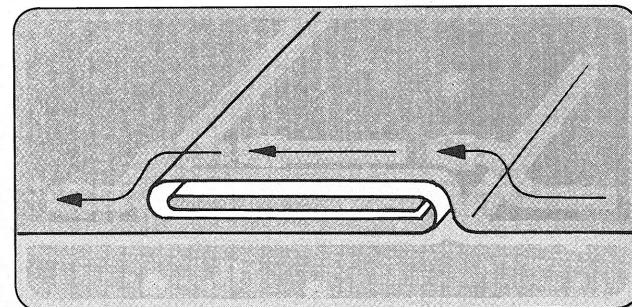
布端より1～2mm入ったところより、縫い始めの上下の糸を向こう側に引っ張りながら縫って下さい。

《段縫い》

☆ミシンの合わせ方



☆縫い方例

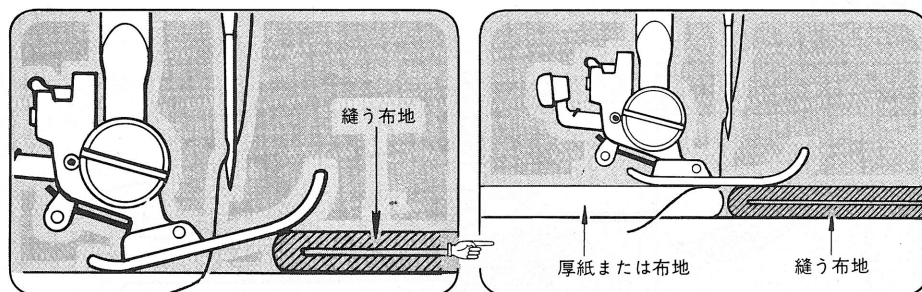


縫い代の重なりによって極端に厚みの差ができていところにミシンをかけるときは、薄いところと厚いところの差によってしっかり布が固定されないため、布地がスムーズに送られなかったり、目飛びをしてしまうことがあります。こんなときは、縫い代を倒した方（薄い方から厚い方）へ向って縫って下さい。また、縫い代を倒す方向が縫い方向とさからってしまい、布地が送られなくなったときは、押えの圧力を弱くして抵抗を少なくし、手で少しずつ布の送りを助けながら縫います。

### 《布端より縫う場合》

薄地の場合は……縫い始めの上・下の糸を向こう側に引っ張りながら低速で縫って下さい。

厚地の場合は……図のように押えが傾いて、布地がスムーズに送られず、縫えません。こんな場合は、同程度の厚さの布地または厚紙を押えの下に置いて縫って下さい。



### 《デニムおよびニット地を縫う場合》

#### 〈デニム地〉

#### 縫う前の準備

☆縫い糸……できるだけ布地の繊維と同じものを使用して下さい。

☆ミシン糸、ミシン針と縫い目の選択……繊維に関係なく、通常は右表の枠中の組み合わせで縫って下さい。

#### ☆ミシン糸・ミシン針と縫い目の選択

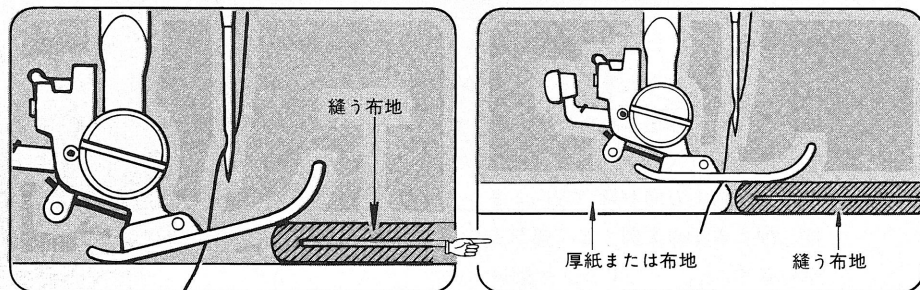
ミシン糸の太さ	30番	20番	50番
ミシン針の番号	16番	16番～18番	14番
縫い目の長さ	3mm～4mm	4mm	3mm

#### ☆縫い方

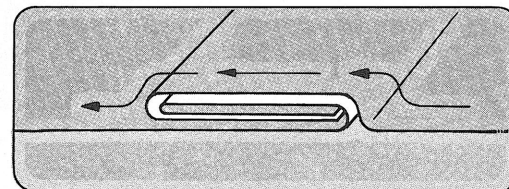
◎2枚合わせから6枚または8枚合わせ（3枚合わせから9枚合わせ）位になると、布押えが傾き、送り歯に対して平行に圧力がかからず、送りが悪くなりますので手で布送りを助けてやって下さい。（布地を多少引きぎみにするか、ミシンを一度止めて押えてこを上げ、布押えの下に布地の段部を入れます。）

◎4～6枚合わせを最初から縫う場合は、押え圧力を多少弱くして布地が送られやすいようにして縫って下さい。ミシン針が刺さりにくい場合は、手ではずみ車を半回転させて針を布地に刺した状態で縫い出します。

◎縫い途中で段になっている場合……布押えの圧力が強いと布押えが段部を昇りにくい（送りが悪くなる）ので、その部分のみ多少弱くするようにして下さい。



図の矢印の方向に縫って行く場合、段になった部分より下降するとき、糸締めりが悪くなるので、布押えが完全に下降するまで糸調子を強くするようにして下さい。

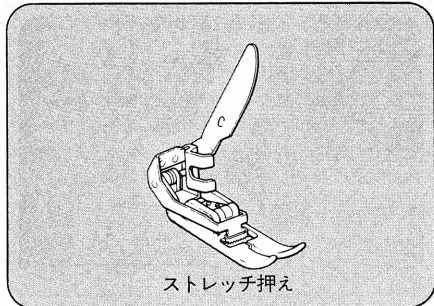




《ニット地》

ジャージー、トリコットなどのニット地で編み込んだものとか、プリント印刷したもの、表面化学処理したものを、4～6枚合わせて縫った場合、針が刺さりにくく、また太い糸で縫いますと編糸が切れる恐れがあります。こんな場合ミシン針を細番手9番～11番に取り替え、縫い糸は、絹糸・テロン糸・スパン糸などの50番～60番にすると良いでしょう。なお、ニット地で針抜けが悪く、針が上下するたびに布地がバウンドして目飛びする場合があります。こんな

ときは、直線押えまたはストレッチ押えとゴールデン針を併用して縫って下さい。ゴールデン針で目飛びする場合は、9番～11番の針を使用すると防止できる場合もあります。



ストレッチ押え

《レザークロスを縫うには……》

レザークロスには、表面に光沢のあるものとなないもの、凹凸のあるものとなないもの、伸縮性のあるものとなないものなどいろいろな種類があります。薄くて粘りがあり、やわらかいレザークロスは伸びやすいので、裁縫はなるべく送りにまかせて縫うようにします。

ビニール部分を表側にしてミシンをかけるときは、針板や押えに布地がはりついてしまい送りがスムーズにいかなくなる場合がありますが、こんなときはビニールの表面に和紙を当てて縫ったり、パウダーをはたいて縫い合わせれば、縫い目の長さが変わることなく縫うことができます。中でもとくに粘りがあり、伸びやすいレザークロスは針抜けが悪くなり、目飛びがして困ることがありますが、こんな場合は、目打ちで針もとのレザーを押え、バウンドしないようにして縫えばきれいに縫えます。

針の刺さりが悪いからといって、太い針で普通の縫い目の長さで縫いますと、ビニール部分がさけてくる恐れがありますので、縫い目の長さをあらくし、11番～14番の針を使用します。

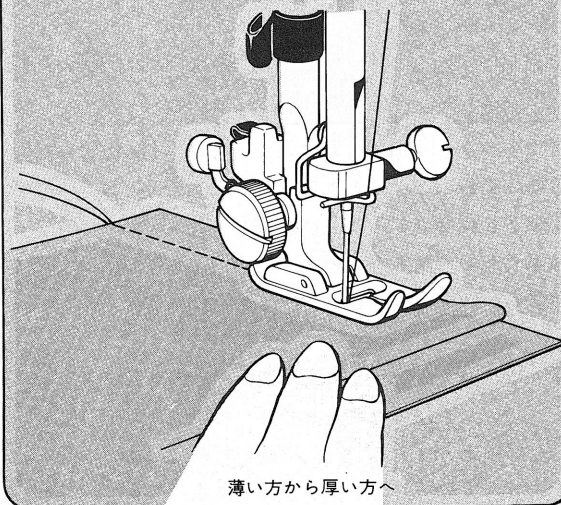
また、やわらかくて伸縮性のある布の中でも場合によっては上糸がそげて切れてしまい縫えなくなることがあります。このような時は、針を糸の太さにくらべて少し太めの針にかえて縫うようにしますときれいに縫えます。

注 意

☆布地の端より縫う場合は、上下の糸を向こう側へ引っ張りながらゆっくりとミシンをかけて下さい。

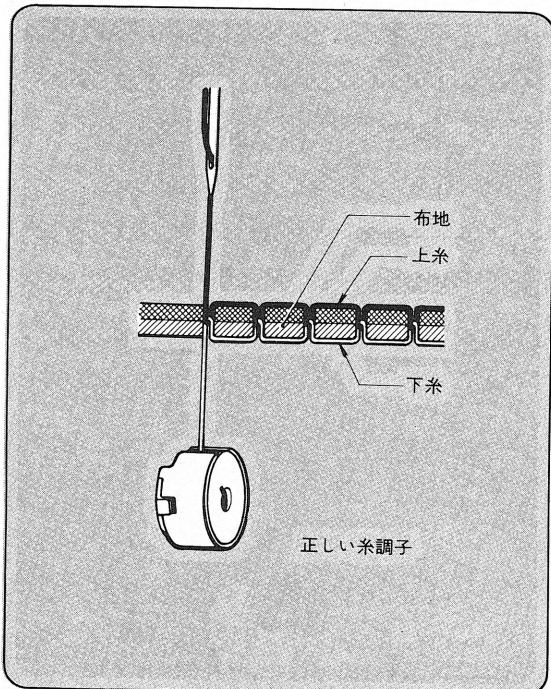
☆縫い代の重なりによって極端に厚みの差ができているところにミシンをかけるときは、薄いところと厚いところの差によってしっかり布が固定されないため、布地がスムーズに送られなかったり、目飛びをしてしまうことがあります。

こんなときには、縫い代を倒した方（薄い方から厚い方）へ向かって縫うか、あるいは縫い代を倒す方向が縫い方向とさからってしまう場合等で布地が送らなくなったときは、押え圧力を弱くして抵抗を少なくし、手で少しづつ布の送りを助けながら縫います。



薄い方から厚い方へ

◆直線縫いの糸調子



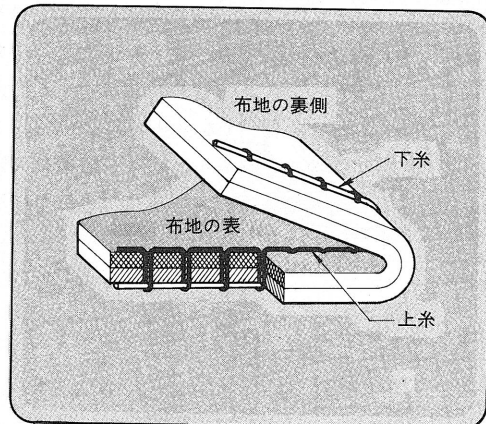
糸調子が正しく調節されていないと縫い目がきたなく、布地にしわがより、ときには糸が切れたりします。こんなときにはつぎのように調節して下さい。

①まず下糸の強さをきめます。

普通下糸が引っかかりなくなめらかに出る程度が適当です。

②つぎに下糸に合わせて上糸の強さを調節します。

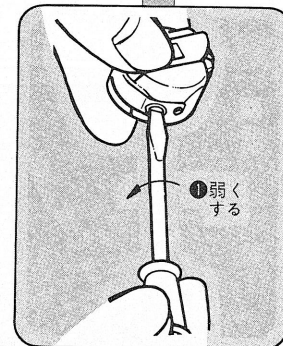
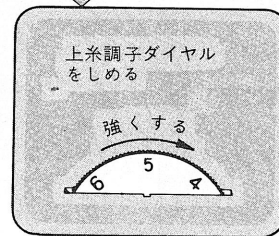
★こんなときには……



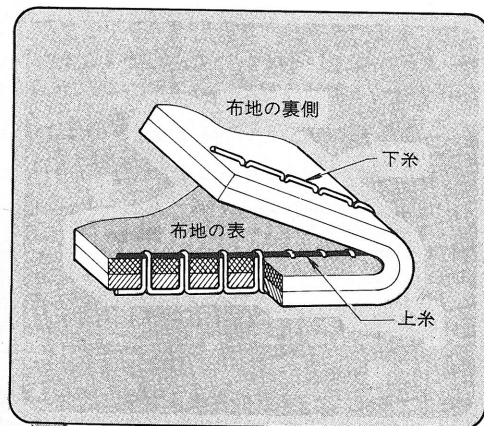
下糸の強さが……

適当な場合

②下糸の強さに上糸調子ダイヤルを合わせる



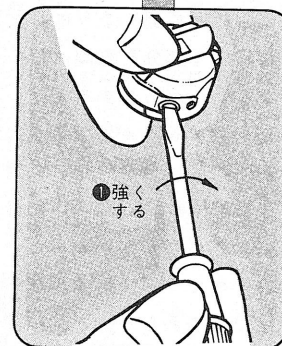
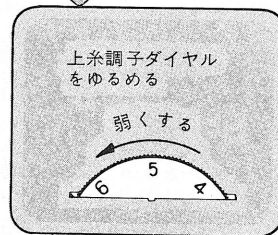
強い場合



下糸の強さが……

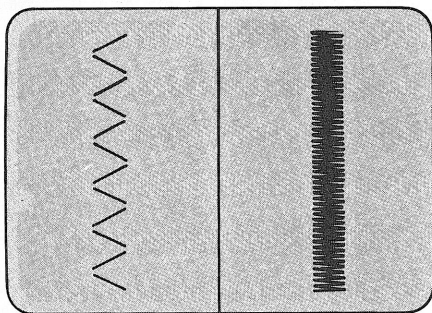
適当な場合

②下糸の強さに上糸調子ダイヤルを合わせる



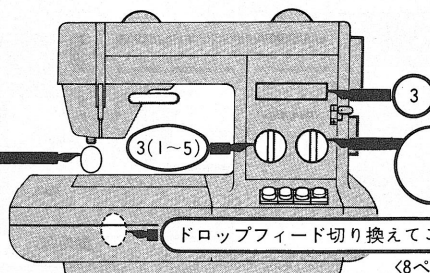
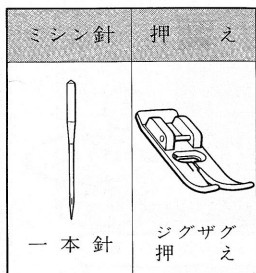
弱い場合

## ジグザグ縫い



普通ジグザグ縫い サテステッチ

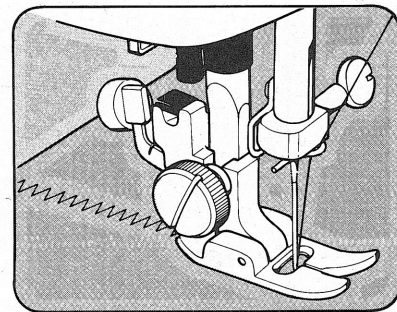
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとジグザグ縫いができます。



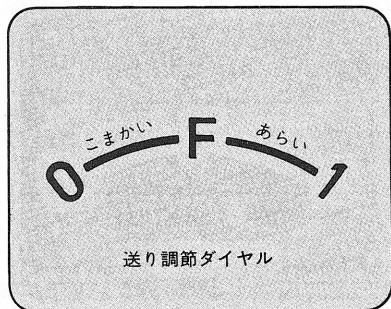
普通ジグザグ縫い  
1.5  
サテステッチ  
F

ドロップフィード切り換えてください

＜8ページ参照＞



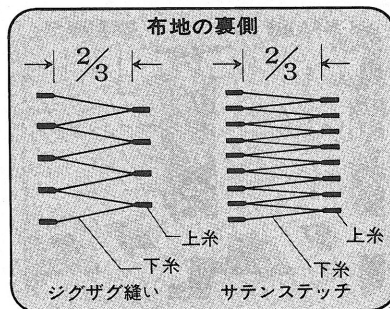
### ◆サテステッチは……



☆ジグザグ縫いの縫い目が重ならず下の布地が見えない程度に糸がすきまなくきれいにならんだ状態をサテステッチといいます。

サテステッチの縫い目のあらかさは普通Fに合わせますが、縫い条件により左図の範囲で調節します。

### ◆ジグザグ縫いの糸調子



☆ジグザグ縫いとサテステッチの糸調子は布地の裏側から見た場合、下糸がそのジグザグ幅の約 $\frac{2}{3}$ 程度占めるように加減します。

糸調子のとりかたは……

23ページの「直線縫いの糸調子」をごらん下さい。なお直線縫いのときよりも上糸をゆるくして下さい。

### ◆縫い始め

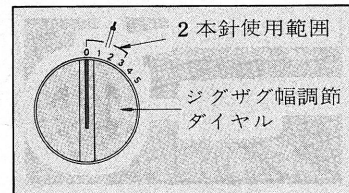
### ◆返し縫いの仕方

### ◆縫い方向の替え方

注意

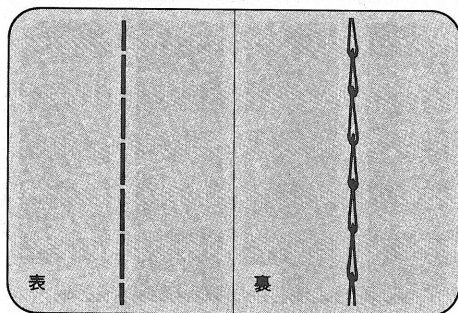
は「直線縫い」の部分18ページをごらん下さい。

### 二本針縫いをする場合

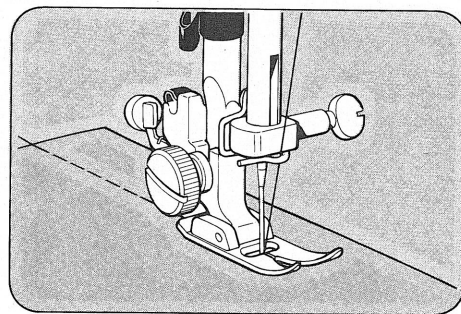
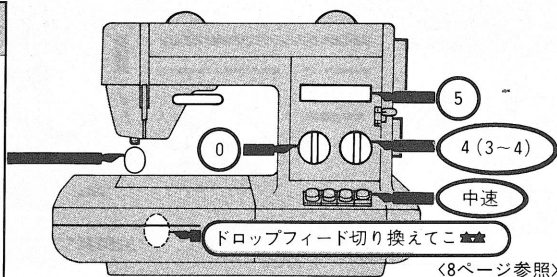
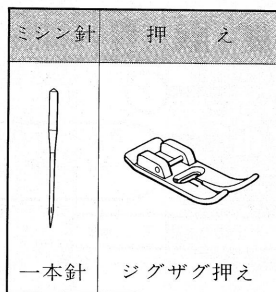


1. 上糸の掛け方は、13ページをごらん下さい。
2. 2本針の使用範囲は、ジグザグ幅調節ダイヤル表示「0～3」の範囲です。
3. 模様表示は必ず「」でご使用下さい。
4. 縫い方向を替えるときは、針を布地より上げてから替えて下さい。

## チェーンステッチ



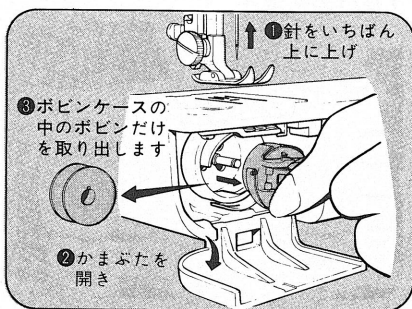
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとチェーンステッチができます。



### ◆上糸の掛け方

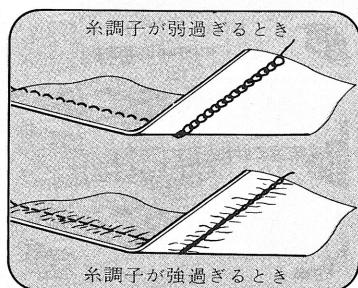
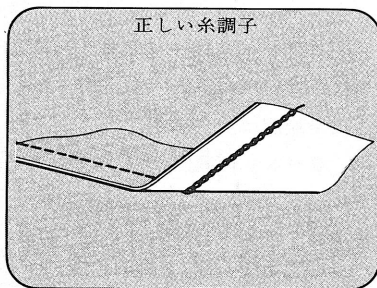
13ページをごらん下さい

### ◆ボビンケースを取り付ける



☆ボビンケースは必ずミシンに取り付けて下さい。

### ◆チェーンステッチの糸調子



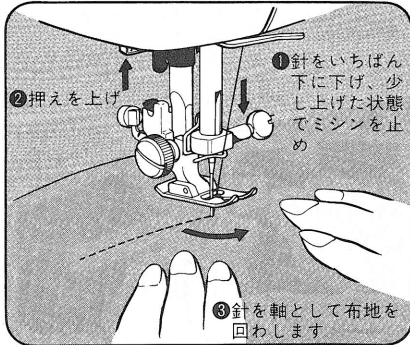
### 注意

- ※縫い方は下糸なしで直線縫いと同じようにお縫い下さい。
- ※返し縫いは絶対にしないで下さい。
- ※チェーンステッチの表側の縫い目は糸締まりに関係なく直線縫いの状態です。

### ◆布地・ミシン糸・ミシン針の関係とミシンの合わせ方

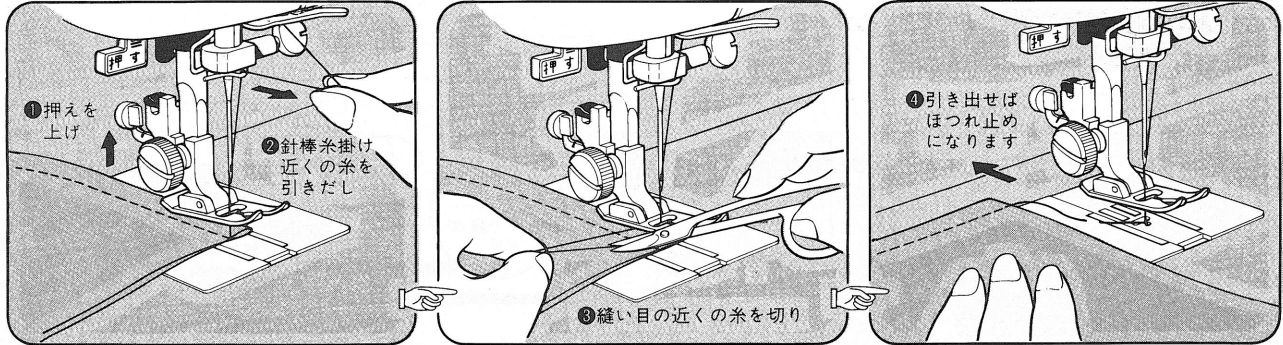
チェーンステッチの利用法	布地の種類	糸の種類	針の太さ	縫い目の長さ
伸縮性のある生地のカミ縫	中・厚地ジャージー・綿メリヤス	絹ミシン糸50~60番	14番	目盛3~4
		合織糸50~60番		3~4
和服の縫製、えり、クッションカバーなどの取り付けや仮り縫い	レーヨン、ブロード、リンネル、ポプリン、薄地ウール、サージなど中厚地	絹ミシン糸50~60番	14番	3~4
		綿カタン糸50~60番		3~4
裏側の縫い目を利用した飾りステッチ	ウール、ジャージー、その他	絹ミシン糸30~50番	16~18番	4
毛糸編物のとじ込み	メリヤス編、引き上げ編、タック編など	絹ミシン糸50~60番	14番	3~4
糸ひもの作成	(和紙、障子紙、 タイプ紙 等)	絹ミシン糸30~50番	14番	4

◆縫い方向の替え方

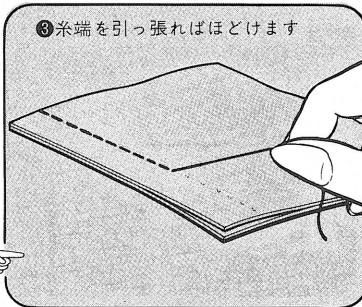
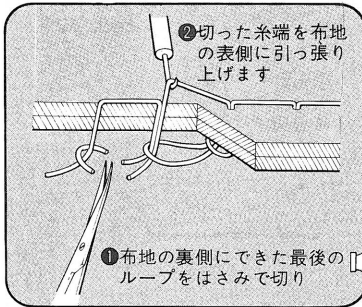


※針停止位置切り換えレバーは使わないで下さい。(目飛びの原因になります。)

◆布地の外し方



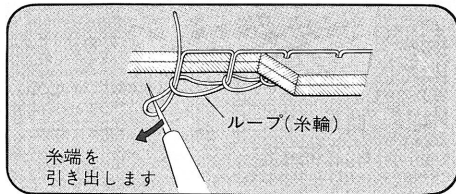
◆縫い目をほどくには



(注意)

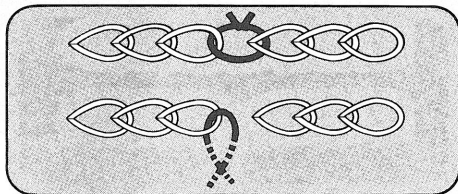
縫い終わった方向からほどいて下さい。縫い始め方向からはほどけません。

◆ほつれ止めのし方



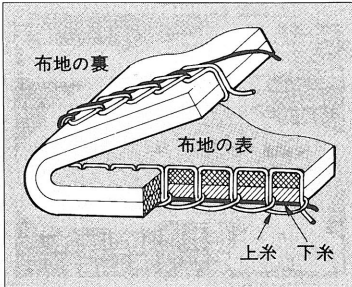
☆ほつれ止めは布地の表に出ている縫い終りの糸を布地の裏側へループの真中から引っ張り出せばほつれません。なお、ほつれやすい糸は糸端とループをむすびます。

◆目飛びの補正



☆布地の裏をみて、目飛びしている場合は、そのところまでほどいて縫いなおすか目飛びをしている部分を、別の糸でむすび合わせて下さい。

◎下糸入りチェーンステッチ



☆このミシンは下糸の入ったチェーンステッチも縫えます。このチェーンステッチは図のように布地の裏側に下糸が入っており、ほつれ止めの役目をします。

☆縫うときは、模様表示を「 $\frac{4}{4}$ 」に合わせて下糸を引き上げ、あらためて模様表示を「 $\frac{5}{4}$ 」に合わせてから縫って下さい。縫い終りは、模様表示を「 $\frac{4}{4}$ 」に合わせて2〜3針縫って下さい。そのまま布地が取り外せます。

※「ミシンの合わせ方」は25ページをごらん下さい。

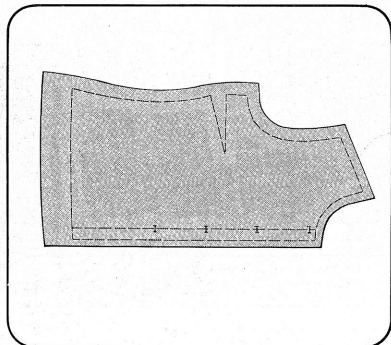
☆縫い目をほどくには……

※下糸を引き出し、抜き取ります。(下糸は簡単に抜けます。)  
※下糸を抜き取ったあとはチェーンステッチの場合と同じです。

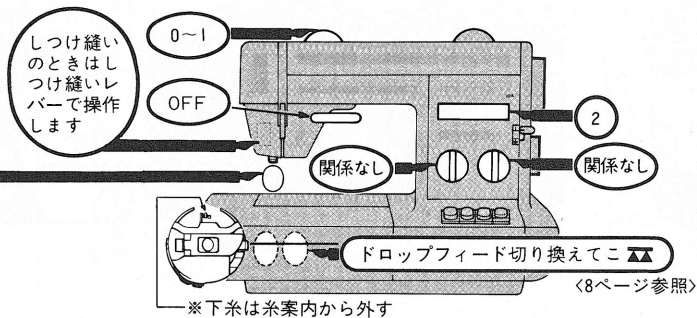
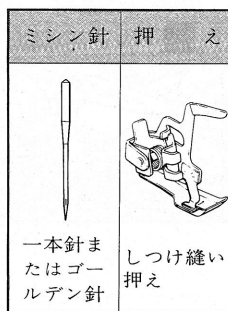
☆下糸の強さはできるだけ弱くしておきます。

## しつけ縫い

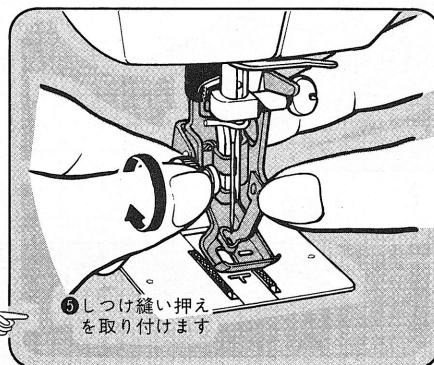
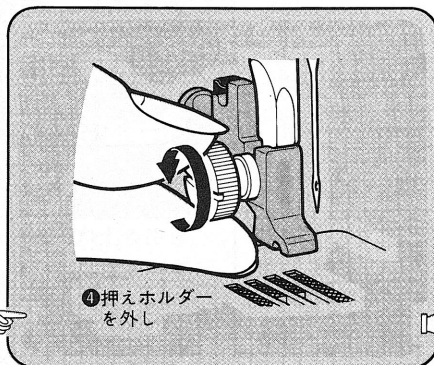
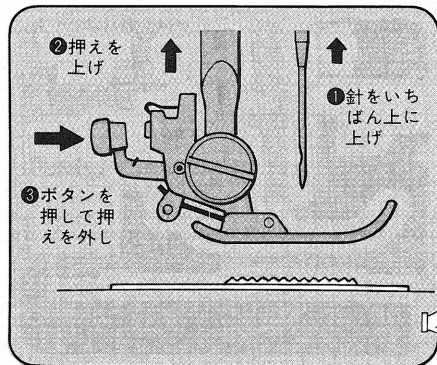
……ミシンによるしつけは布地に対して針が直角に刺さるため、上・下2枚の布がずれることもなくしつけられます。



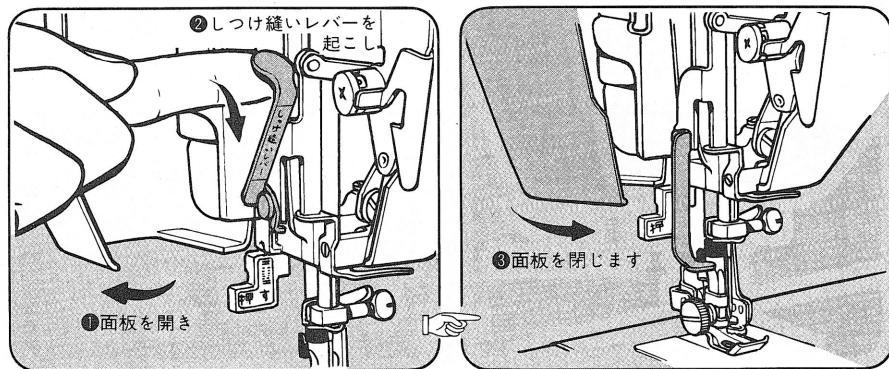
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとしつけ縫いができます。



## ◆しつけ縫い押えの取り付け方



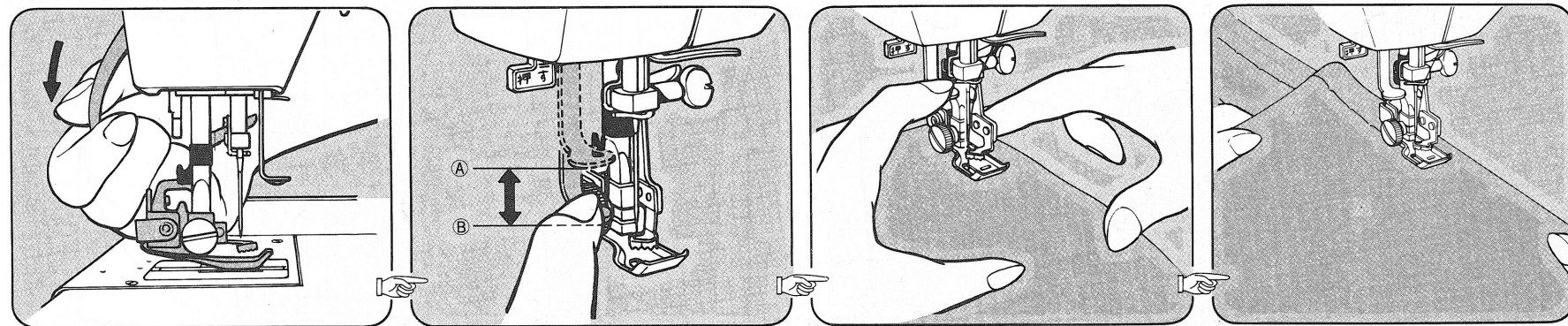
◆しつけ縫いレバーの引き出し方



しつけ縫いをするときの注意

1. 糸は毛羽立ちが多い50番またはしろもの(木管巻きのもの)を使用して下さい。
2. 糸調子は上糸・下糸ともできるだけゆるくして下さい。
3. 裁縫中“針”が外れたり、“押え”がゆるんだりしないように、あらかじめ締めねじをしっかりと締め付けておきます。
4. 目飛び防止について  
布地はできるだけ両手で張るようにして縫って下さい。(万一、目飛びするときはブラザーゴールデン針をお使い下さい。)

◆縫い方



☆押え上げてこを下げて縫います。

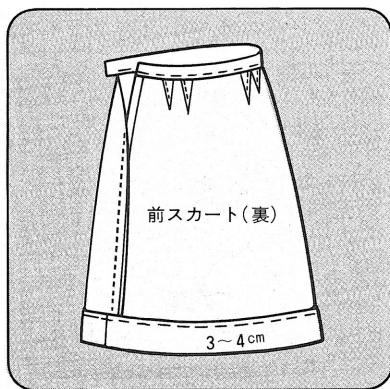
☆しつけ縫いレバーをAからBの位置まで、できるだけ早い操作で一杯に止まるころまで押し下げ1針だけ縫い、ミシンが止まったら手をゆるめて下さい。レバーは自動的にA位置にもどります。

☆縫い始めは布地を両側から押え、手で布地を送って下さい。  
※衣服の縫う部分によって1～3cmの間隔で縫い目を落します。

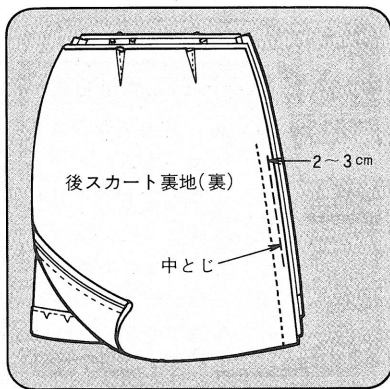
☆手で布地を前方に送り、またレバーをB位置まで押し下げ、つぎの1針を縫います。  
※しつけ縫いをしないときは、しつけ縫いレバーを面板の中にしまして下さい。

◆しつけ縫いの利用

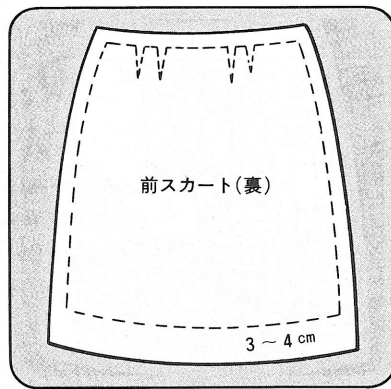
★押えじつけ



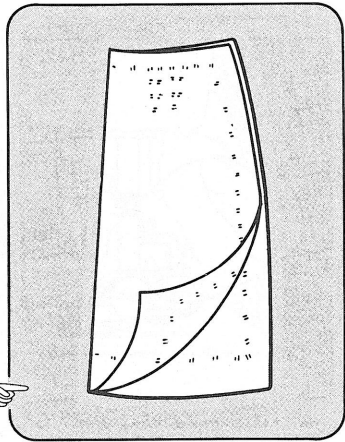
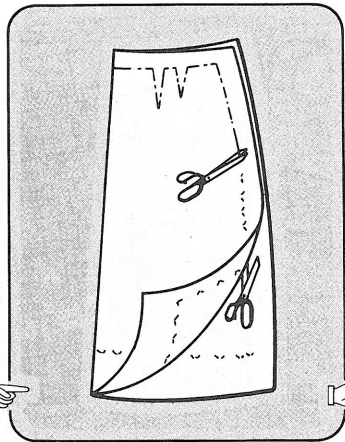
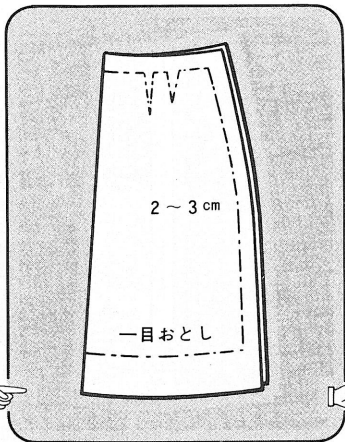
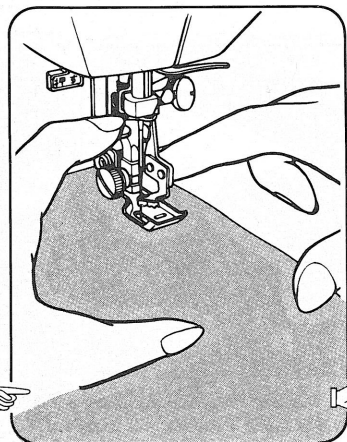
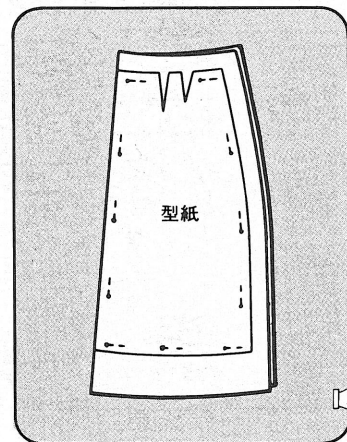
★中とじ



★通しじつけ



★切りじつけ……毛織物・レース・毛足の長い布地など、ヘラヤルレットのきかない布地の印付けに適しています。



☆2枚の布地を中表に重ねて型紙をおき、2～3cmの縫い代をとって裁断しピンでとめます。そして型紙どおりチャコで印を書き型紙を外します。

☆チャコの印の内側に針が落ちるように、両手で布地を張るようにして縫います。

☆チャコで印を付けたところは、2針ずつ、1目おとし図のように近づけて縫います。角は糸をたるませて下さい。

☆長い間隔で縫った中間を両側ともはさみで切り、さらに2枚の布地の間も切ります。

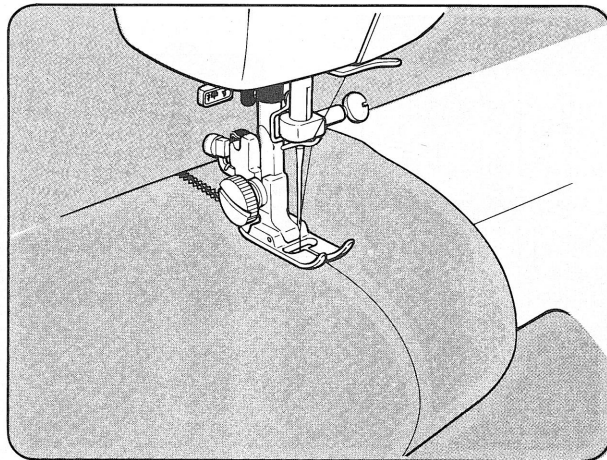
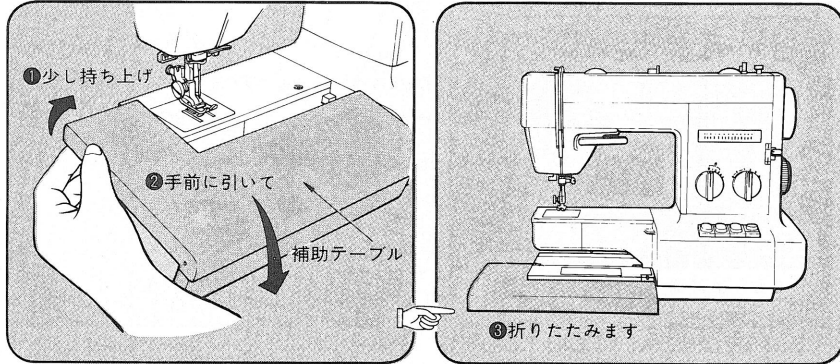
☆糸を1～2mm残して短かく切り、仕上げます。



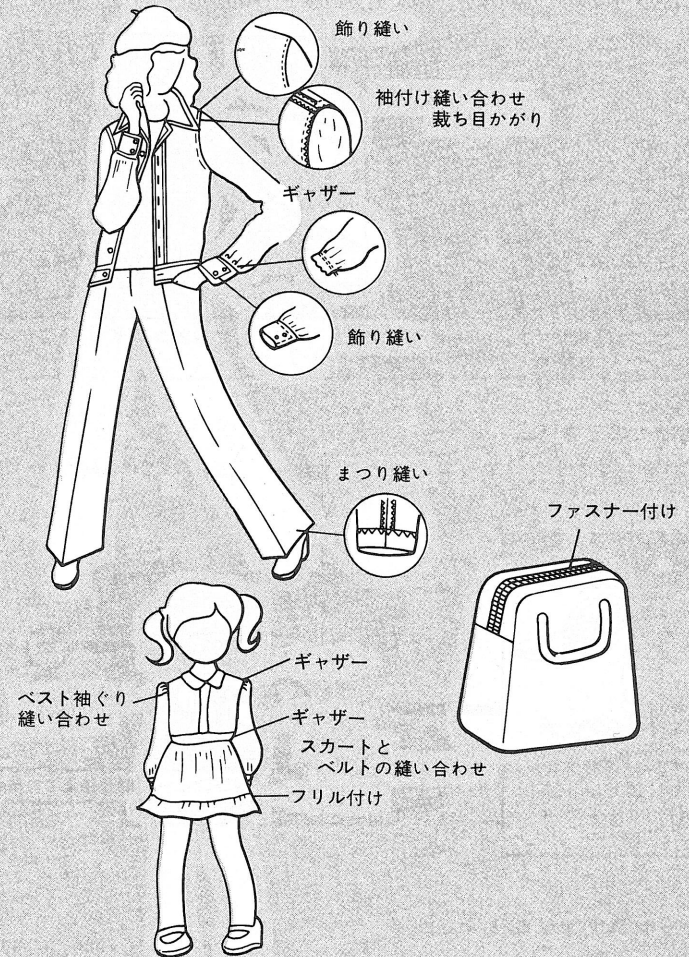
## フリーアームの利用のしかた

☆フリーアームはそでの仕立てやカフス付け、ソックスのつくろい縫いなど筒状になったものを縫うときにご利用頂きますと大変便利です。

☆フリーアームとして利用されるときは、下図のようにしてご利用下さい。

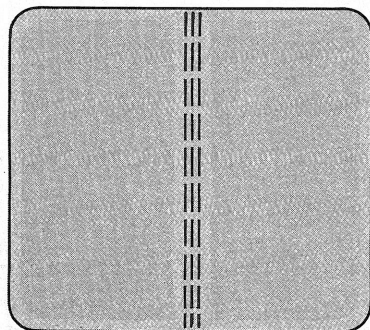


## フリーアームはこんなところにご利用下さい……

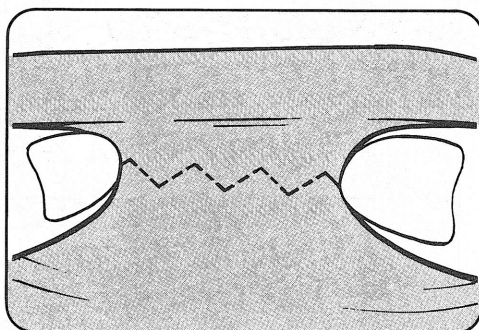


# いろいろな縫い方

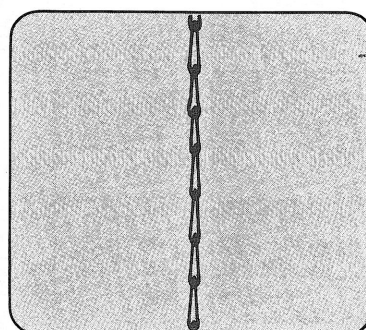
## 伸縮縫い



〈三重縫い〉



〈点線ジグザグ縫い〉

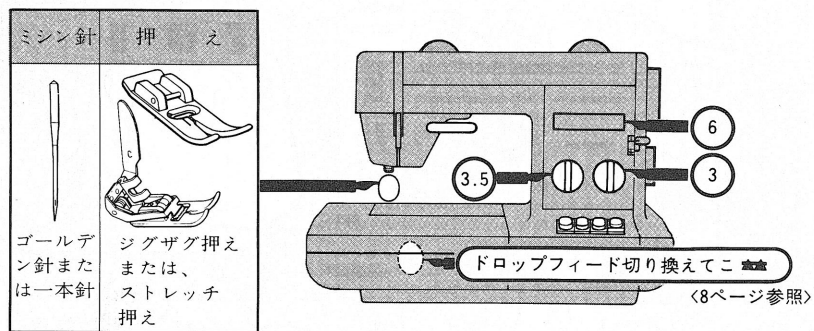


〈チェーンステッチ〉

☆ジャージー、トリコット、メリヤスなどのように伸び縮みする布地の裁縫をするときは、この方法で縫えば布地が伸びても糸が切れてほつれる心配はありません。

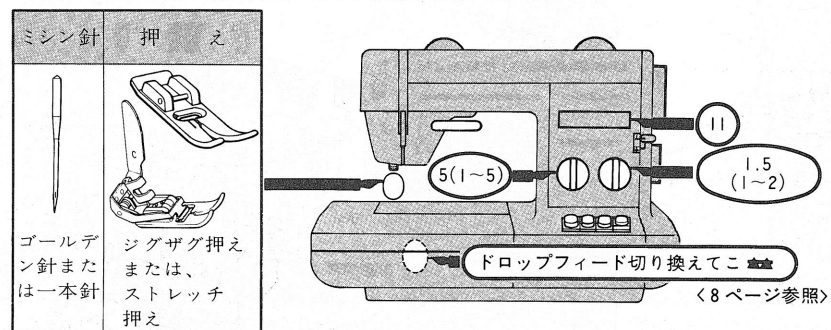
### ◆三重縫いのとき

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、三重縫いで伸縮縫いができます。



### ◆点線ジグザグ縫いのとき

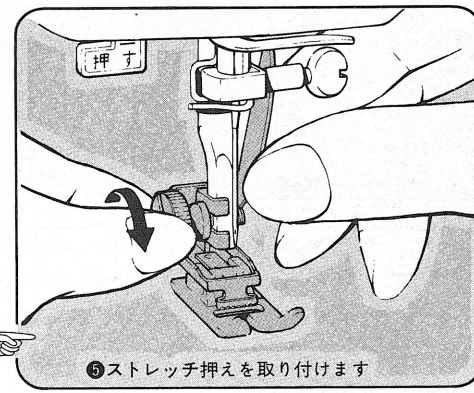
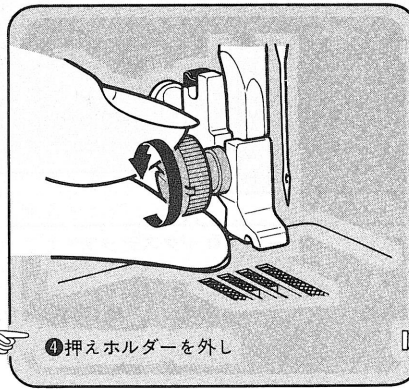
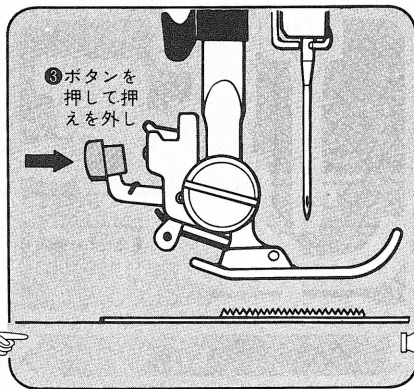
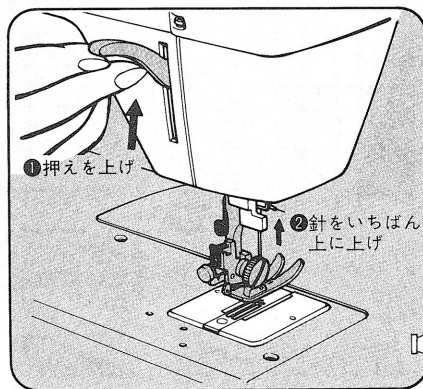
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、点線ジグザグ縫いで伸縮縫いができます。



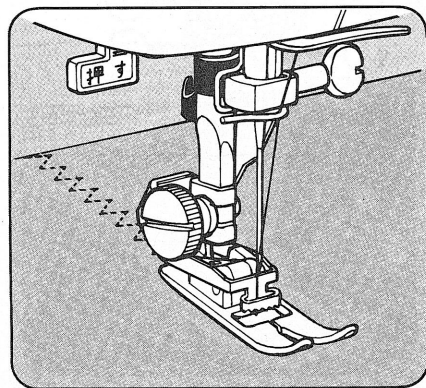
### ◆チェーンステッチのとき

☆25ページをごらん下さい。

ストレッチ押えの取り付けは……



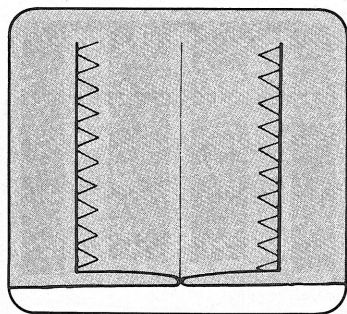
縫い方



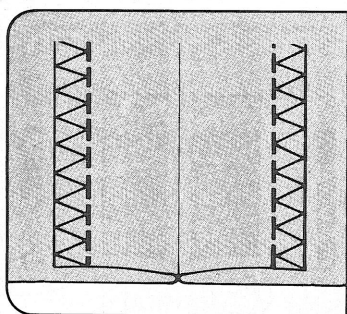
伸縮縫いをするときの注意

糸は50～80番位の絹糸・カタン糸でもよいのですが、ナイロン透明糸を使えば伸縮性もあり、とくに柄編みのものの補修にも、縫い目がめだたず美しく仕上がります。

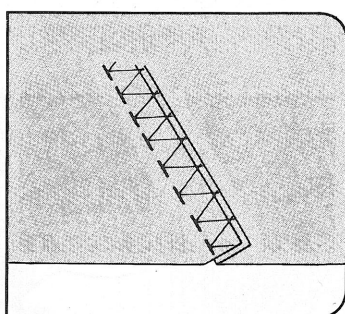
## 裁ち目かがり



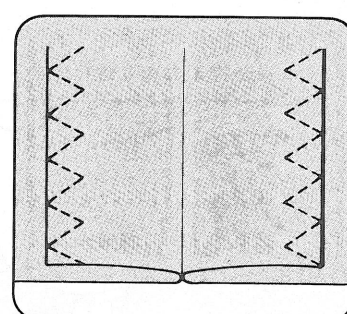
〈ジグザグ縫い〉



〈オーバーロックステッチ〉



〈縁かがり縫い〉



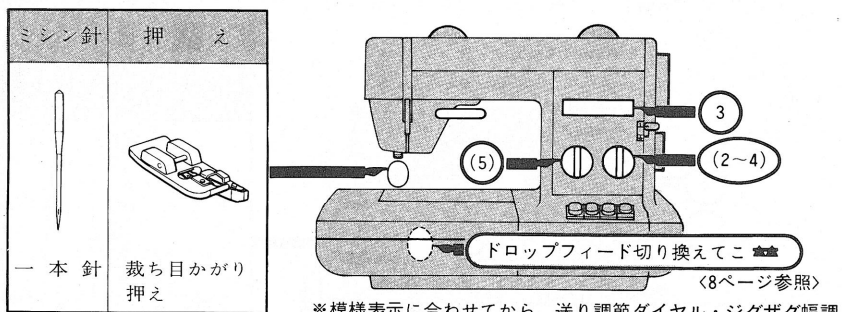
〈点線ジグザグ縫い〉

☆ズボン、スカートなど縫い代の始末、あらゆる裁ち目の始末に用います。

☆オーバーロックステッチで縫えば、縫い代を割らなくてもよいものなら、裁ち目かがりをかねながら地縫いがスピーディにできます。

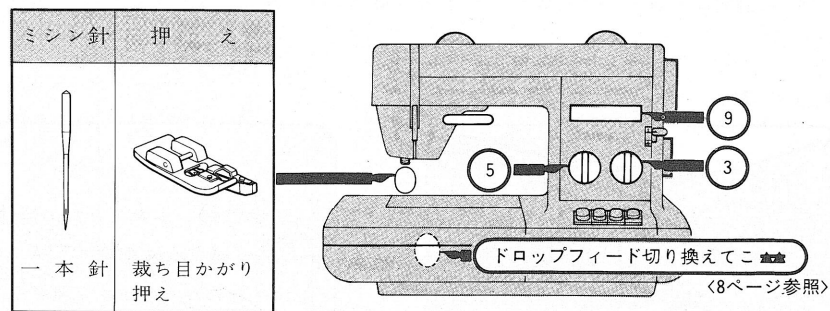
### ◆ジグザグ縫いのとき

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、ジグザグ縫いで裁ち目かがりができます。



### ◆オーバーロックステッチのとき

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、オーバーロックステッチで裁ち目かがりができます。

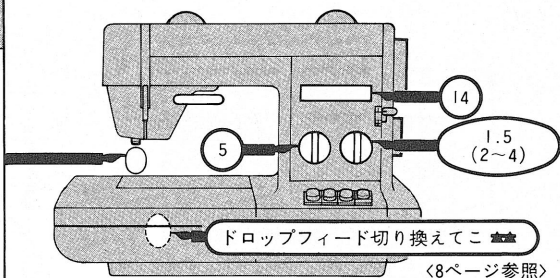
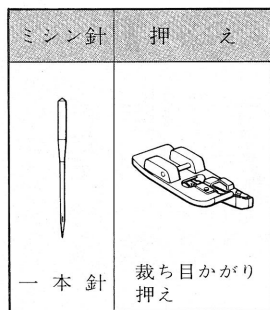


### 裁ち目かがりをするときの注意

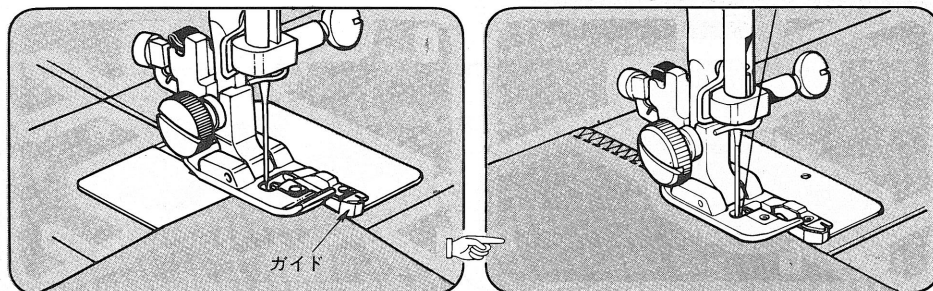
糸調子は上糸と下糸が布地の端面で交差するように調節します。  
また、薄い布地の場合は布端を二つ折りにして縫います。

### ◆緑かがり縫い

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、緑かがり縫いで裁ち目かがりができます。



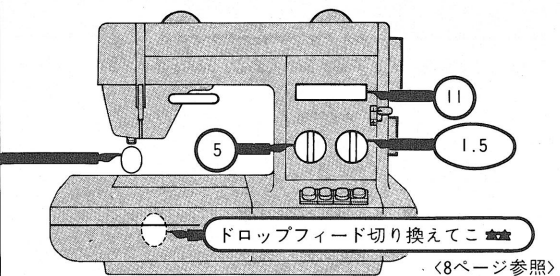
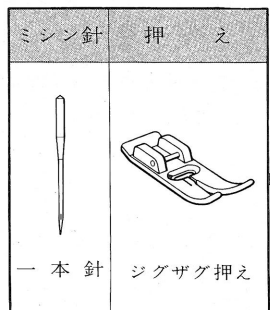
### 縫い方



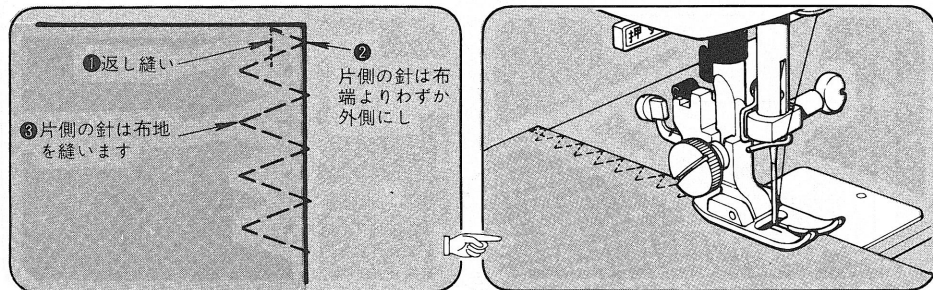
☆上糸と下糸は向こう側へそろえて置き、裁ち目かがり押えのガイドに布端をぴったりあてて押えをおろし、ガイドにそって縫います。(上図は、オーバーロックステッチを使用しておりますが、ジグザグ縫い、緑かがり縫いを利用して同じ方法でできます。)

### ◆点線ジグザグ縫いのとき

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、点線ジグザグ縫いで裁ち目かがりができます。

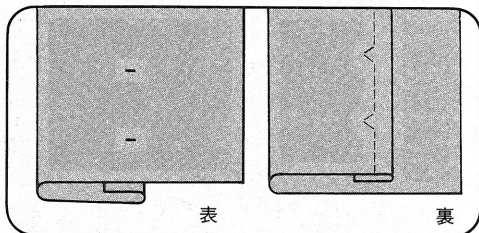


### 縫い方



いろいろな縫い方

## まつり縫い

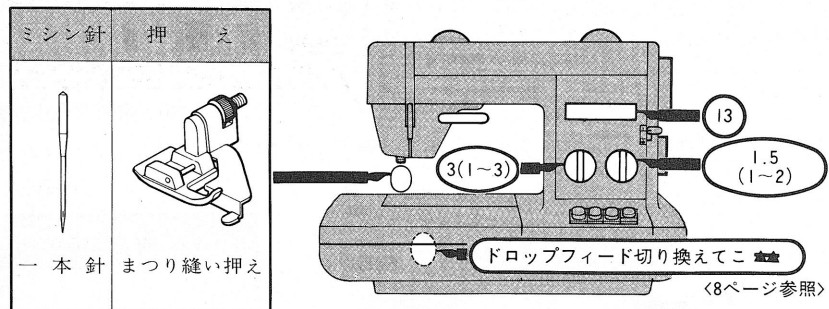


〈ブラインドステッチ〉

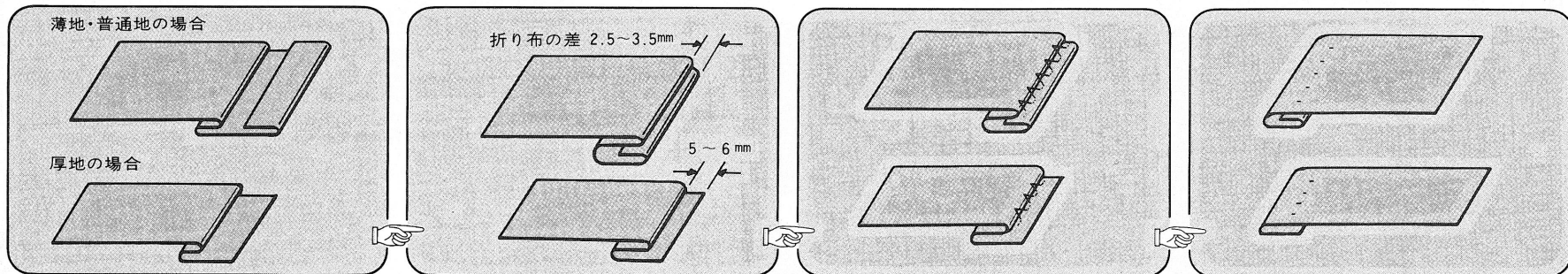
☆ワンピース、ブラウス、ズボン、スカートなどのすそ、袖口に用います。

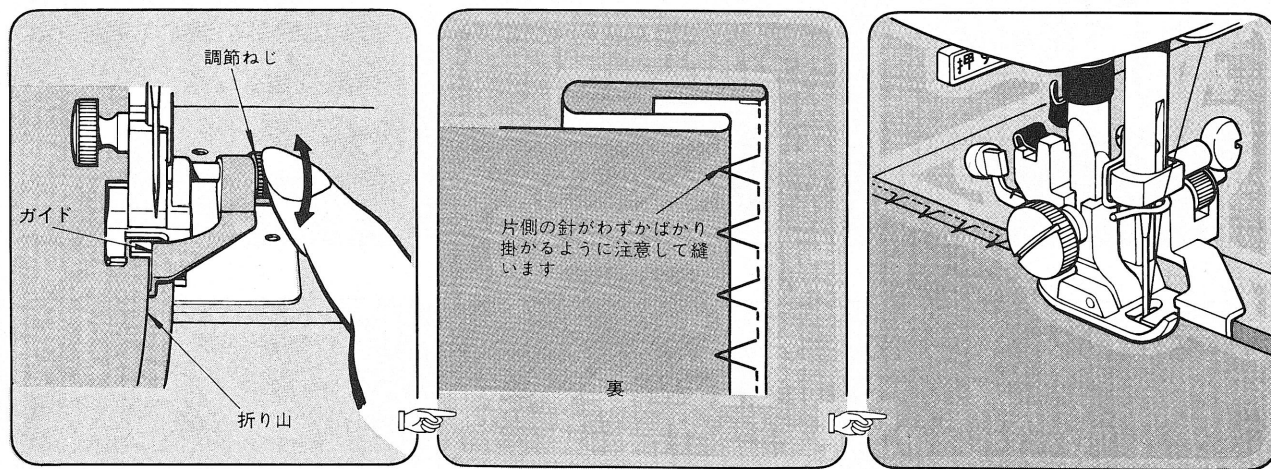
### ◆ブラインドステッチのとき

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、まつり縫いができます。



### 布地の折り方



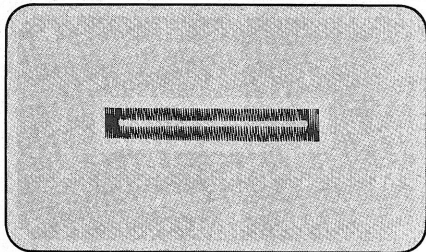


☆折り曲げた布地の折り山を押えのガイドに当て、針先が折り山に必要以上掛からないよう、調節ねじで調節して縫います。

—まつり縫いをするときの注意—

1. 上糸の調子をやや強めにします。
2. 左側に落ちる針が必要以上に掛かりすぎると布が開かず、表側に出る縫い目が大きくなり、きれいに仕上がしません。
3. ジグザグの振り幅は、折り布の差(2.5~3.5mm)以内にセットして下さい。

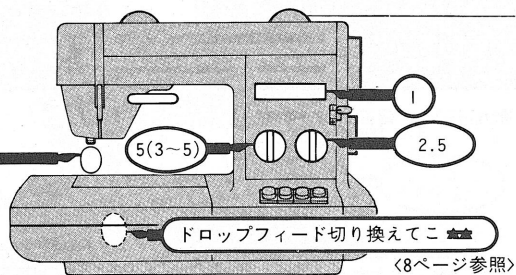
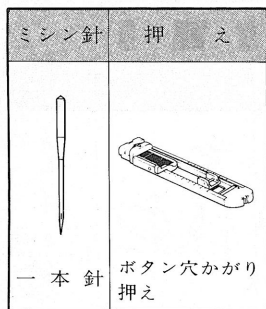
## ボタン穴かがり



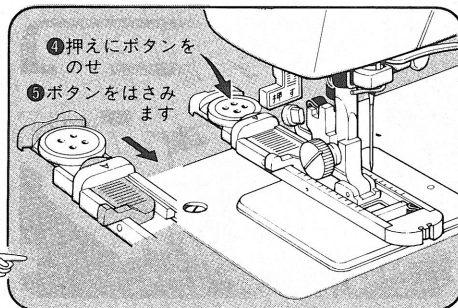
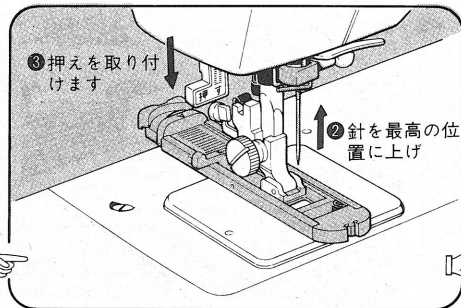
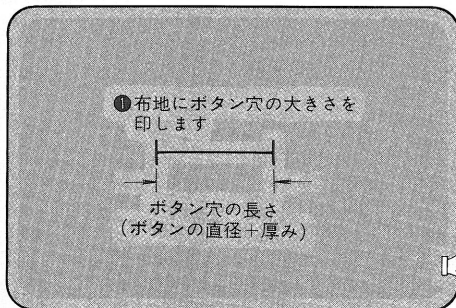
☆裁縫一般に用います。

☆ボタン穴かがり押えにボタンをはさみ込むだけで、自動的にボタン穴かがりができます。

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、ボタン穴かがりができます。



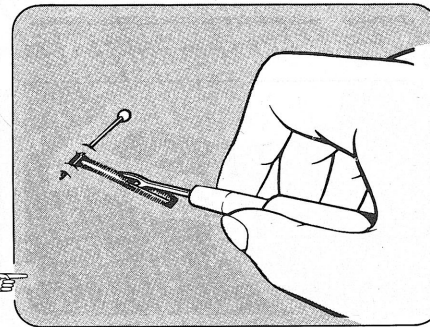
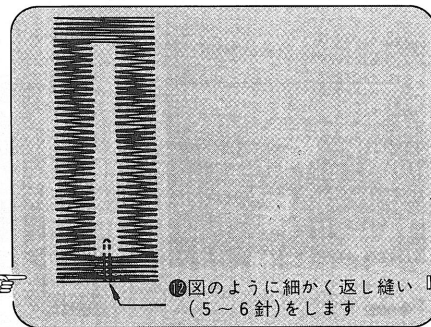
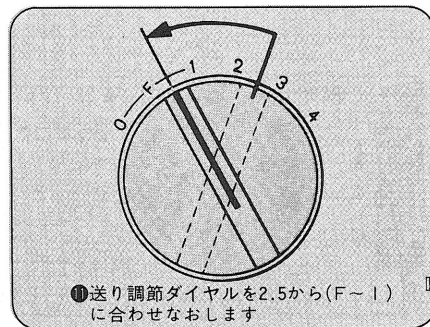
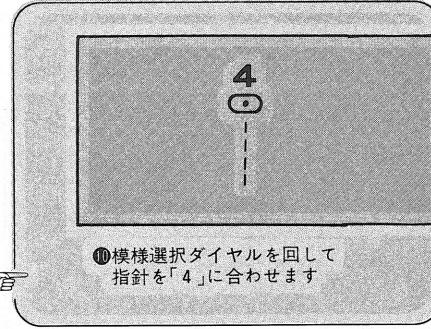
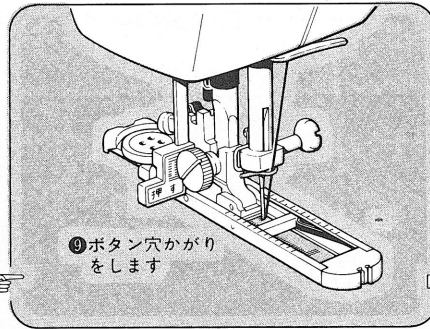
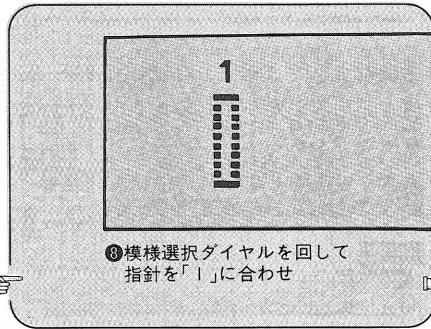
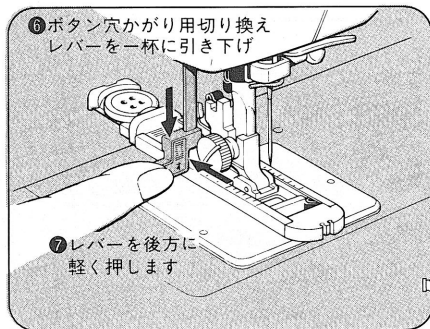
## 縫い方



### (注意)

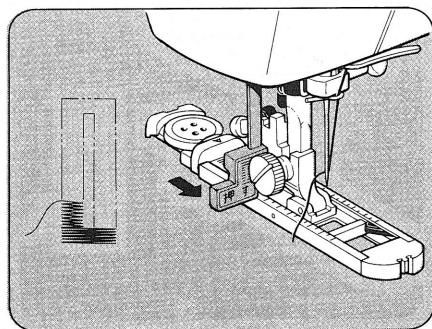
ボタンの形によっては、押えにのらないものがあります。その場合は、適宜ボタン穴の長さを決め、別布で試し縫いをして調節して下さい。





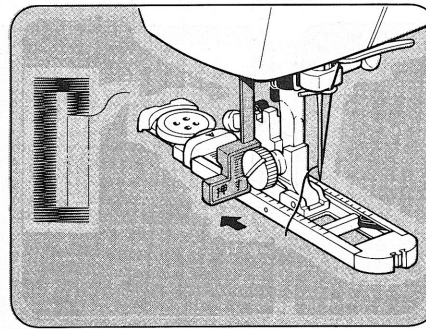
☆かん止めのところにまち針を刺してリッパーで縫い終わったところを切り開きますがこのとき縫い目を、切らないよう注意します。

☆ボタン穴かがりを失敗した場合  
＜その1＞



☆左図のような位置で失敗した場合(糸が切れたり、目づまりがおきた場合)は、上糸を外して、ボタン穴かがり用切り換えレバーを軽く手前に引き、10~20針ミシンを運転して下さい。

＜その2＞

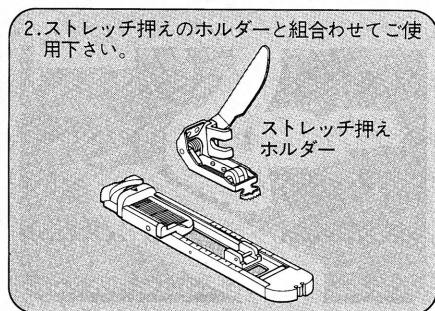
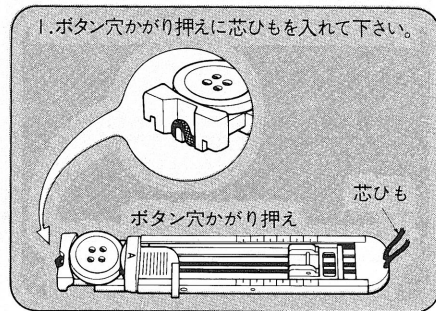


☆左図のような位置で失敗した場合は、ボタン穴かがり用切り換えレバーを後に押し始めて縫って下さい。

★こんな場合には……

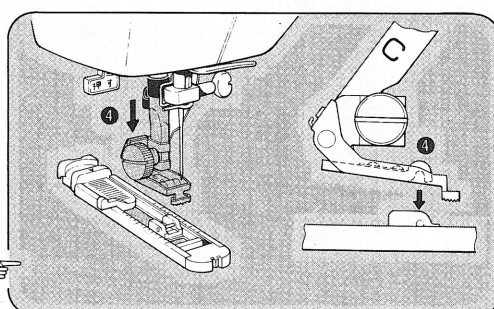
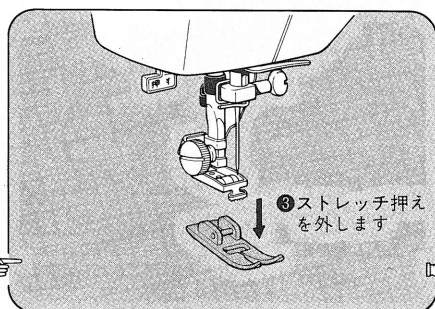
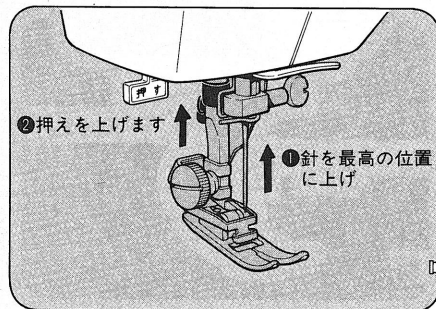
〈その1〉

☆ジャージー、トリコット、メリヤスなどのように伸び縮みする布にボタン穴かがりをする場合は、つぎのように縫って下さい。



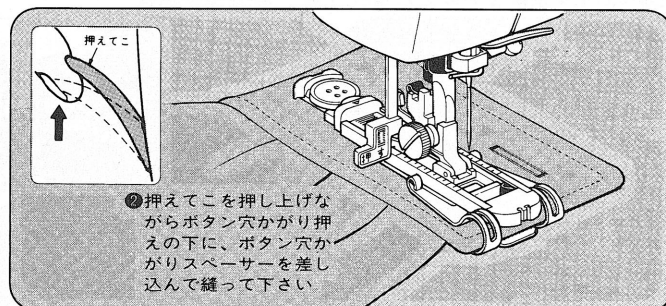
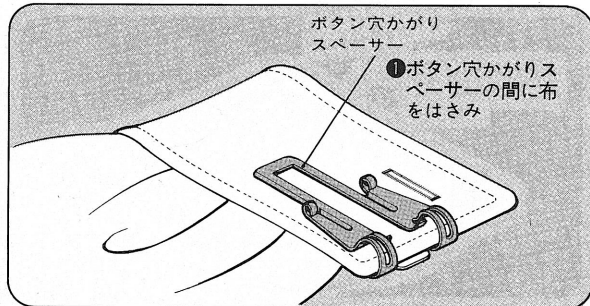
※ボタン穴かがりは、布地2枚以上合わせて縫います。  
 ※薄地ですときは、ボタン穴を細めにし、ジグザグ幅を「3.5」程度にして縫います。  
 ※穴かがりをしようとする部分の裏側に障子紙のような薄い紙を当てて縫い、縫い終わってから取り除くようにしますと布地が伸びたり、縮んだりするのを防ぐことができます。

〈ストレッチ押えとボタン穴かがり押えの取り付け方〉



〈その2〉

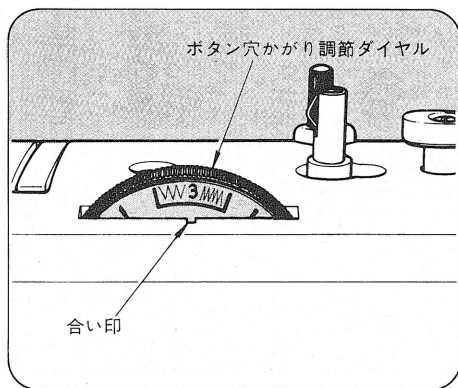
☆布地が不規則なところにボタン穴かがりをするには……（カフスなど）



(注意)

押えの下に布地を入れるとき入れにくい場合は、送り歯を一回下げて行って下さい。

## ボタン穴かがり調節ダイヤルの使い方



◆このダイヤルは、ボタン穴かがり専用の縫い目長さ調節ダイヤルです。

☆数字が1～6まであり、数字が大きいほど縫い目長さが長くなります。布地と糸にあった縫い目長さ（1～6までの数字）を選んで合い印に数字を合わせて下さい。

※参考までに……ブロード地2枚合わせのときは、ダイヤル表示の数字「3」を合い印に合わせます。

☆このようにして、一度選んだ縫い目長さは、ダイヤルを回さない限り替わりませんので、他の裁縫後にも同じボタン穴かがりを作ることができます。

◆ボタン穴かがり調節ダイヤルの使い方（ボタン穴かがりの左・右の縫い目長さが違う場合）

☆このダイヤルは、表示数字（1～6）のすべてにおいて左側の縫い目長さが基準になります。右側の縫い目長さは、左側と同じ縫い目長さで縫えるよう下記手順によって調節して下さい。

### 【ダイヤルの合わせ方手順】

- ①合い印にダイヤル表示を「3」に合わせ、左側縫い目（後進縫い）を縫います。
- ②でき上がった左側の縫い目長さが……

①



の場合は、ダイヤル表示を「2」または「1」に合わせ左側の縫い目を縫います。

㊥



の場合は、ダイヤル表示を「4」または「5」「6」に合わせ左側の縫い目を縫います。

- ③次に右側の縫い目を縫います。

その縫い目が……

①



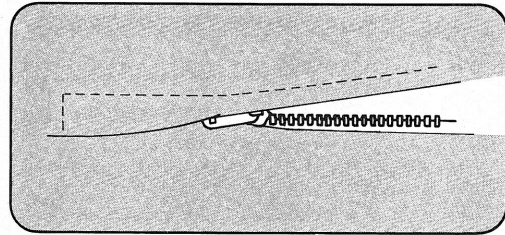
の場合は、今縫ったダイヤル表示数字の  $\overline{WW} \overline{MM}$  のうち  $\overline{MM}$  の範囲に合い印を合わせ、左側の縫い目に合うよう調節します。

㊥

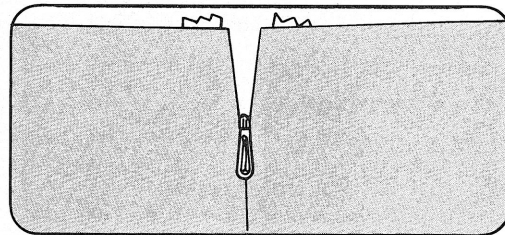


の場合は、今縫ったダイヤル表示数字の  $\overline{WW} \overline{MM}$  のうち  $\overline{WW}$  の範囲に合い印を合わせ、左側の縫い目に合うよう調節します。

## ファスナー付け



〈普通ファスナー付け(片合わせ)〉

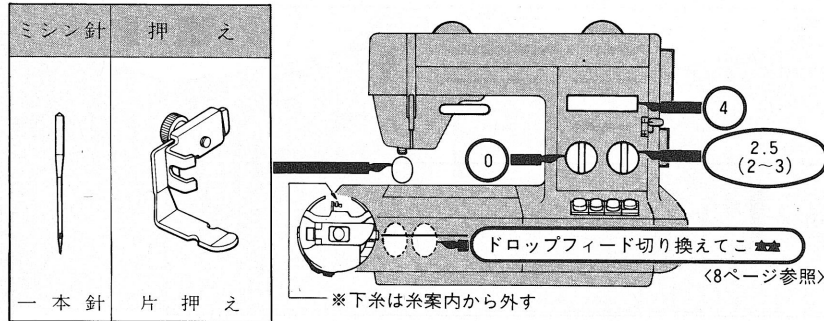


〈コンシールファスナー付け〉

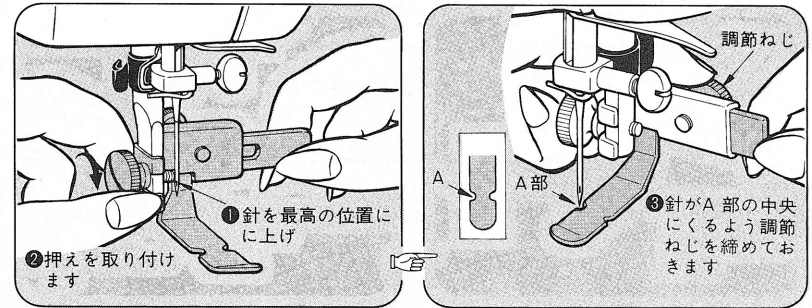
☆スカートや、ワンピースの脇あき、財布、袋物などに用います。  
 ☆コンシールファスナーの特長は、ファスナーを縫いつけた縫い目が布地の表に現われず、つき合わせ状の縫い付けができることで、ドレスシーな感覚を損うことなく、ファスナーの良さを利用することができます。

### ◆普通ファスナー付けのとき

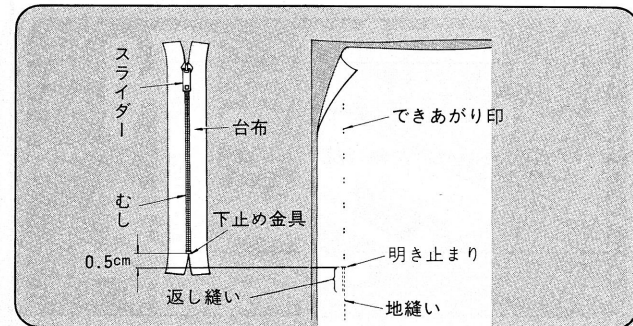
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと普通ファスナー付け(片合わせ)ができます。



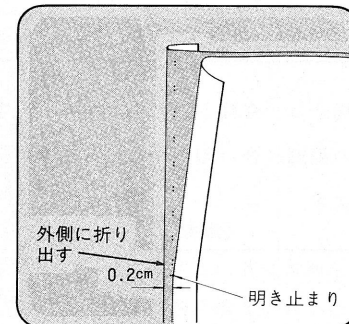
### 押えの取り付け方



### 縫い始める前に



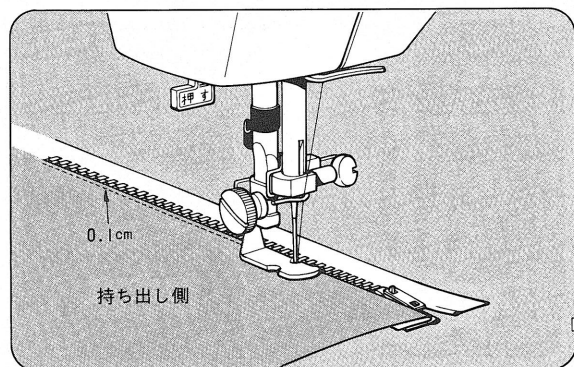
- ① 布地を中表に合わせ、ファスナー付け部分にファスナーを当て、下止め金具より0.5cm下った位置に明き止まりの印を付けます。
- ② 明き止まりより下を2枚合わせのまま縫います。このとき縫い始めと縫い終りは、返し縫いで縫い止めます。
- ③ 縫い合わせた部分の縫い代を割ります。



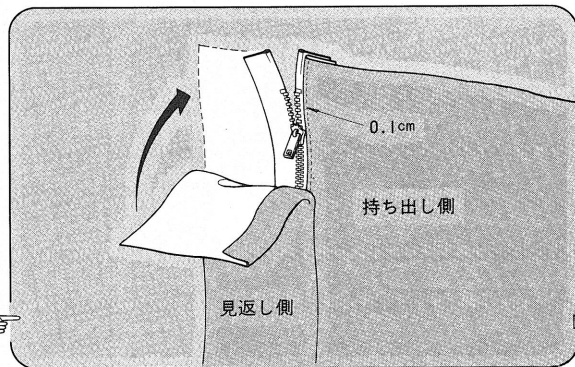
- ④ 下側の布地を印より0.2cm外側に折り出し、明き止まりの下は先きに割った縫い目に向かって自然に消しておきます。

## 縫い方

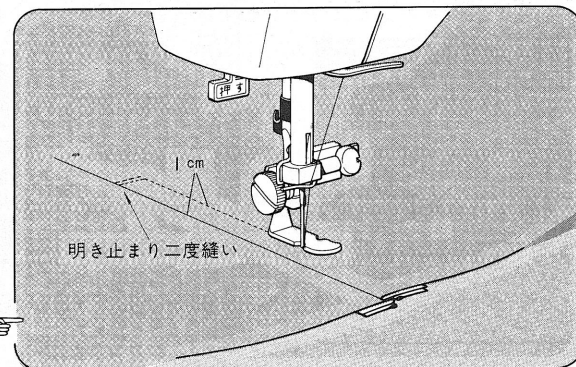
### 《片合わせ状に付ける方法》



- ⑤ 布地の下にファスナーを置き、ファスナーに沿って布端より0.1 cmの所にステッチをかけます。

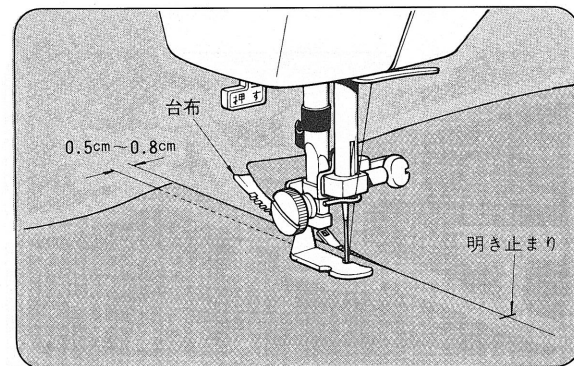


- ⑥ 折り山をできあがり印に合わせます。

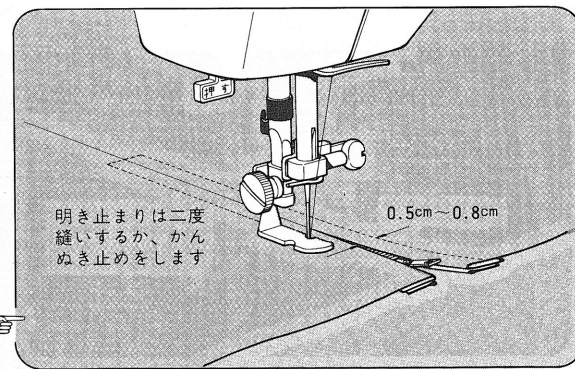


- ⑦ ファスナーを付ける上側の布地の折り山から1 cm程度入ったところに、ミシンをかけます。
- ⑧ 明き止まりのところでファスナー明きに対して、直角に二度同じところを縫います。

### 《突き合わせ状に付けるとき》



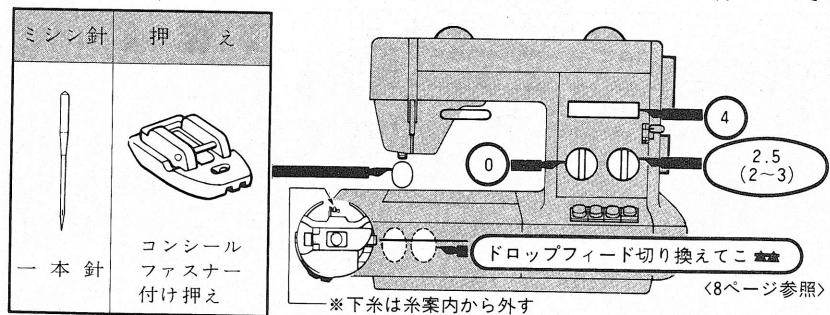
- ① 明き止まりまで地縫いをして、縫い代を割ります。ファスナーのむしの中心と布端を突き合わせ状に合わせます。このときファスナーのむしが見えないようにします。



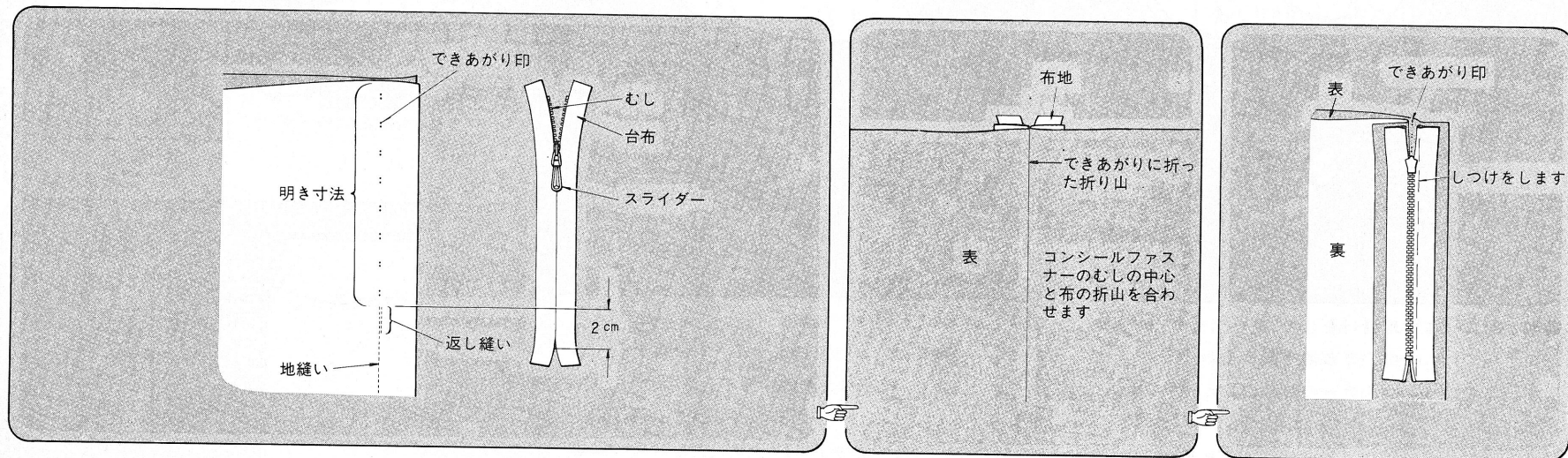
- ② 折り山から0.5 cm～0.8 cmはなして明き止まりに向かって縫います。

### ◆コンシールファスナー付けのとき

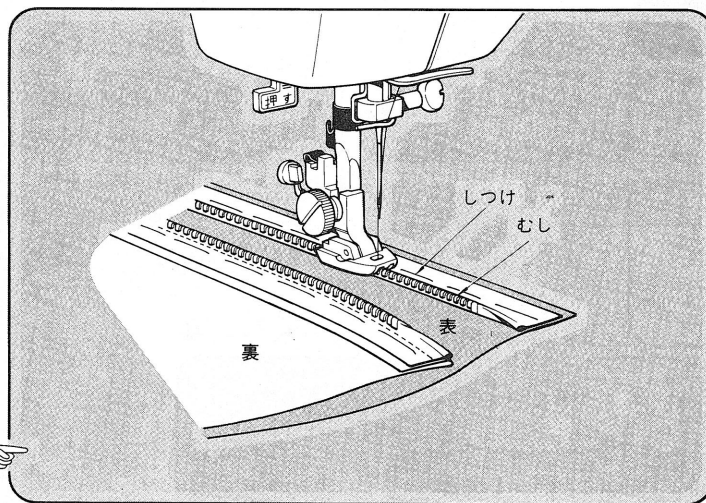
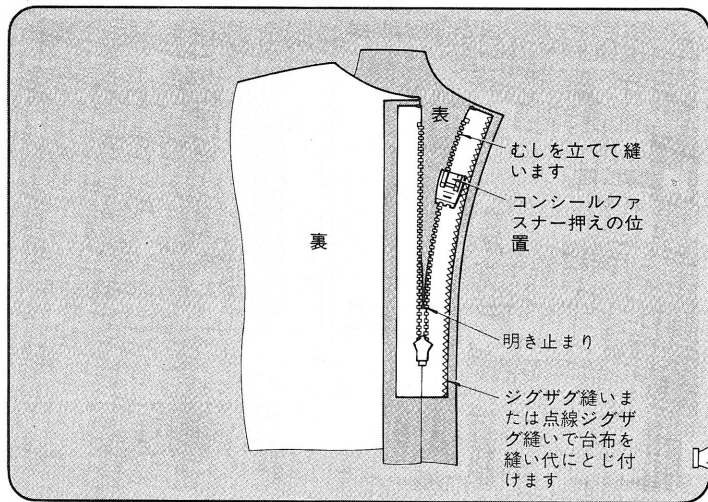
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとコンシールファスナー付けができます。



### 縫い始める前に



縫い方

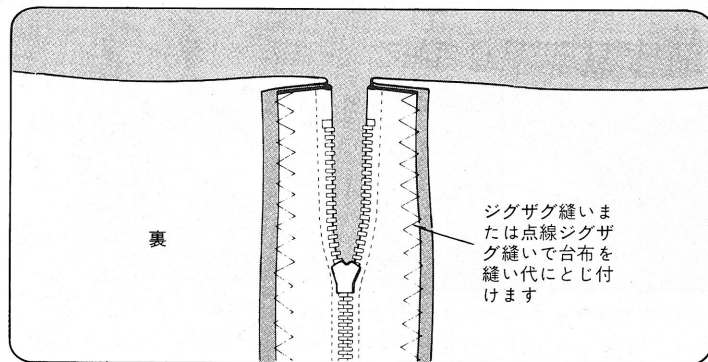


※樹脂性のコンシールファスナーで縫う場合はむしを立てながら縫うようにして下さい。

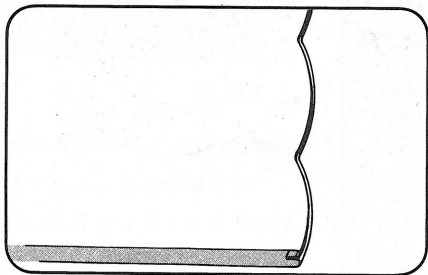
☆コンシールファスナーを付けるときの明き寸法は、ファスナーの長さより2～3cm短かくしておきます。縫い代を印通りに折って、裏側へファスナーを当て、表布とのつり合いに注意してファスナーを開き、裏側のむしのそばをしつけで止めます。

☆ファスナーの裏側からむしを立てて縫いますが、むしの右側を縫うときは押え裏にある左側のみぞと右側のむしがはまり合うように、また、むしの左側を縫うときは押えの右側のみぞと左側のむしがはまり合うようにして縫います。

ファスナーの台布の明き止まりのしまつ

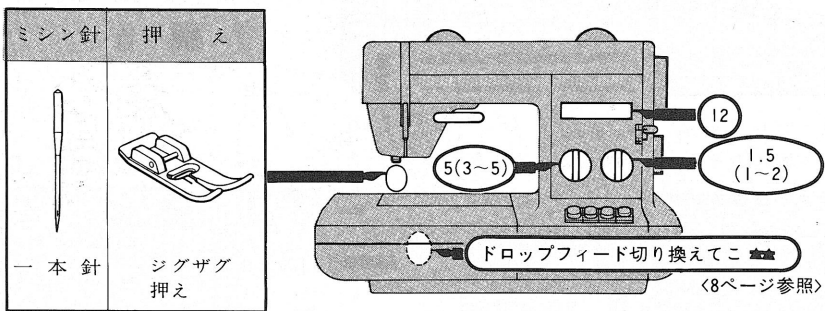


## スカラップステッチ

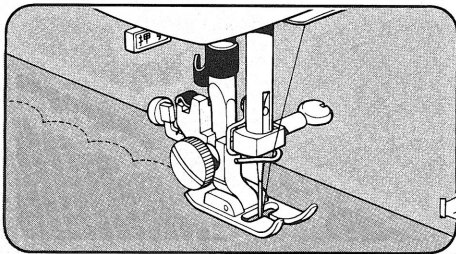


☆スカラップは半月状のまるいカーブの連続した波形の模様をいいます。婦人服、こども服、ベビー服などの縁飾りや、テーブル掛け、椅子掛けなどの縁飾りとして、また、端のしまつなど、いろいろ応用できます。

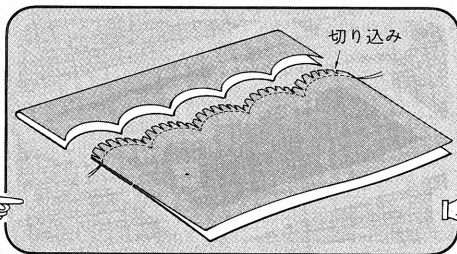
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとスカラップステッチができます。



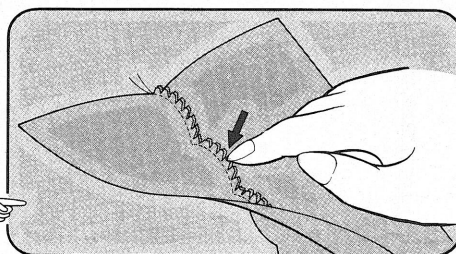
### 縫い方



☆布を中表に折って端を縫います。



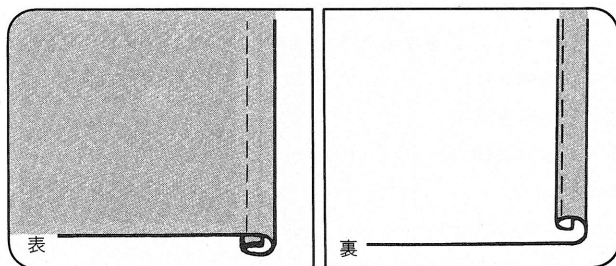
☆縫い目にそって3ミリぐらいの縫い代をのこして切りとり、縫い代に切り込みを入れます。



☆布を表に返してスカラップステッチの山を表に押しだし、アイロンで仕上げます。



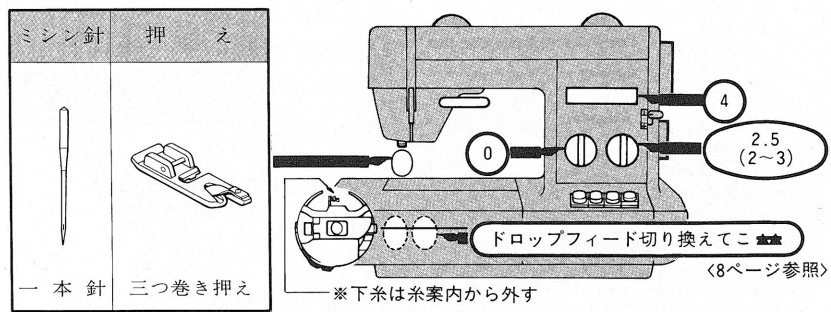
## 三つ巻き縫い



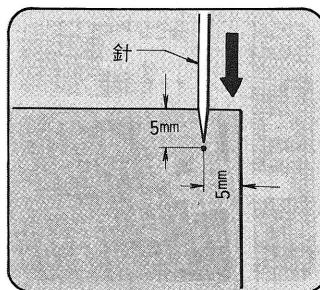
☆ワイシャツのすそ、エプロンなどのフリルの端、主に布端の始末に用います。

——三つ巻き縫いをするときの注意——  
 ☆裏を上にして縫いますから、あらかじめ糸調子は表裏共に美しい縫い目しておきます。

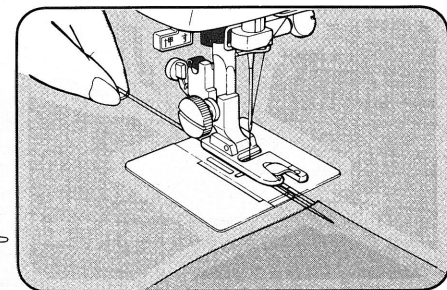
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと三つ巻き縫いができます。



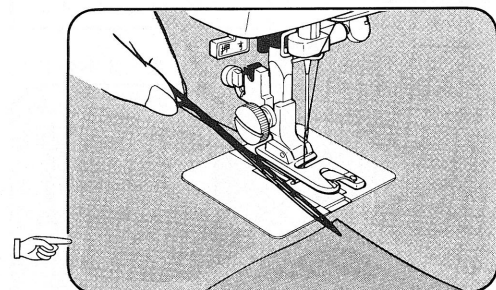
### 縫い方



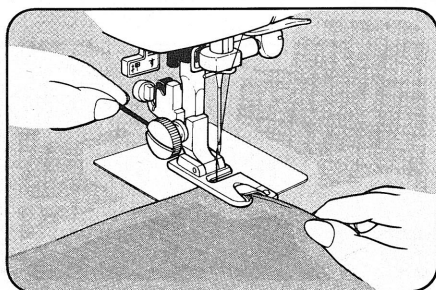
☆布端からほぼ5mm入ったところに針を落します。



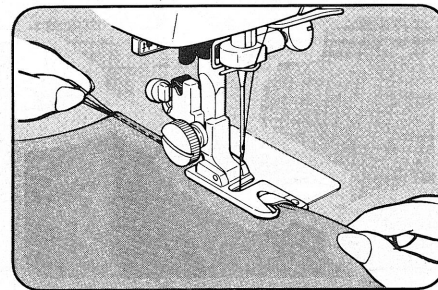
☆針を上げ、布地を手前に引きます。



☆つぎに左手で4本の引き糸をもち、右手で手前の布端をもって三つ巻き口に引き糸部分から差し入れ、針落ちの向こうまで布地の端を入れます。



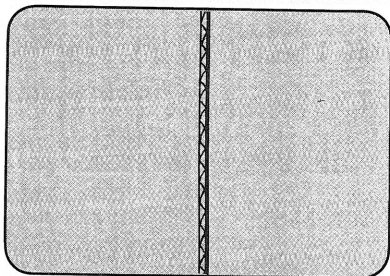
☆最初の3～4針はこの引き糸を向こう側へ引っ張り、ぎみにしますと簡単に縫うことができます。



☆巻き込み幅を5mmほどかぶせるようにして布地を持ちます。巻き込み幅を適度に加減しながら縫います。

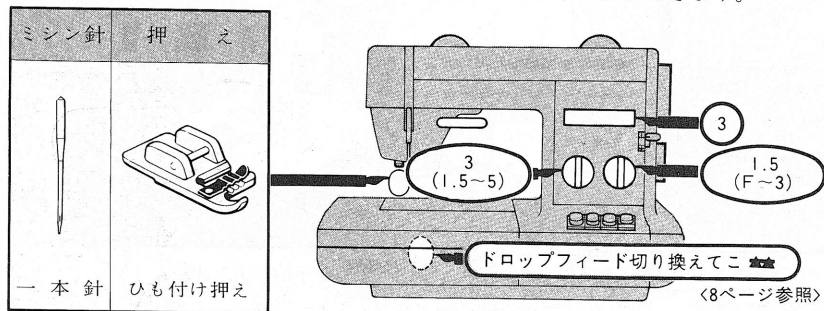
いろいろな縫い方

## コーディング



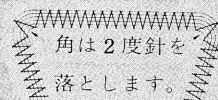
☆洋服などにあしらえば豪華さが加わります。

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとコーディングができます。

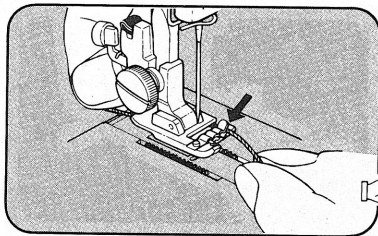


### コーディングをするときの注意

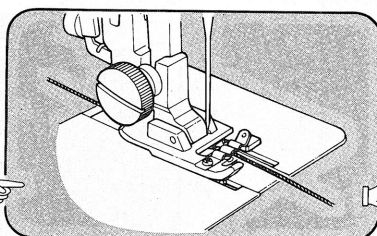
1. 図案のりんかく線上を縫うには、ひも付け押えの糸通しみぞの下にりんかく線がくるようにすると簡単に縫えます。
2. サテンステッチで縫う場合、上糸はコードと同色の糸を使用して縫います。
3. 「スカラップをする場合」サテンステッチの状態て縫い角を縫う場合は、針をコードの内側に落して方向を変え、コードのゆるみを直しながら縫っていきます。この場合、縫い目がつまるおそれがありますので布を少し引っ張り気味にするときれいに縫いあがります。
4. 最後の止め縫いは1cmほど重ねて縫い、コードを切り、縫い目の中に直線で縫います。
5. ひも付け押えの糸通し穴に通らないような太いコードは、5mm以内ならジグザグ押えを利用してコードが外れないようにして縫います。
6. 角のある図案は、下図のように針を落します。



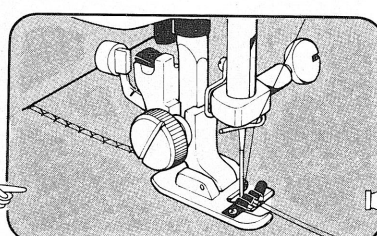
### 縫い方



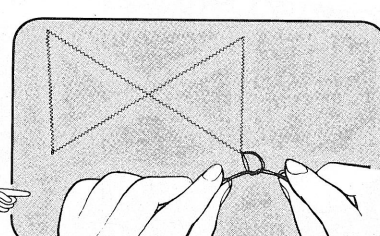
☆刺しゅう糸、レース糸、毛糸などを図のようにひも付け押えのばねをの下の真中に通します。



☆ひも付け押えの裏側にあるみぞにひもを通して布地をおき、押えをおろします。



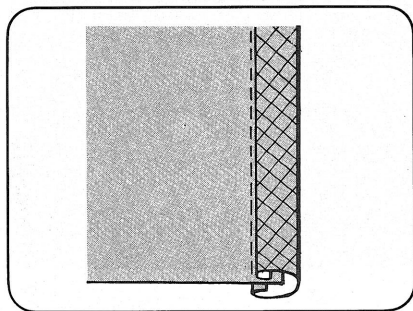
☆図案のとおり縫っていきます。



☆縫い始め、縫い終りのコードと上糸の端を布地の裏に出し、下糸と共に2回程度結びます。

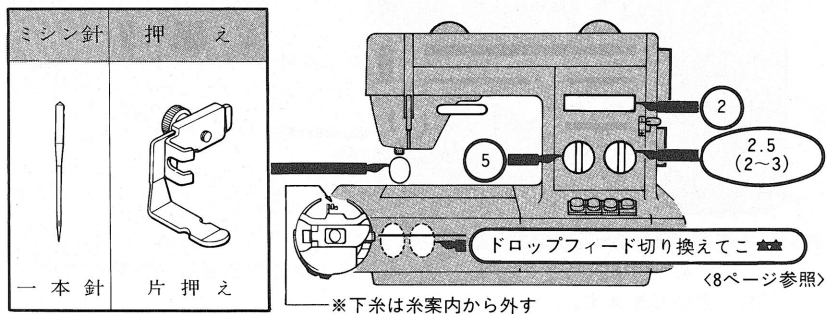
※2~3本のひもの場合も1本ひものときと同じように、それぞれのみぞに通して縫います。

## 落としミシン

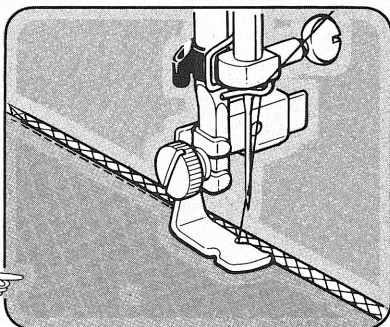
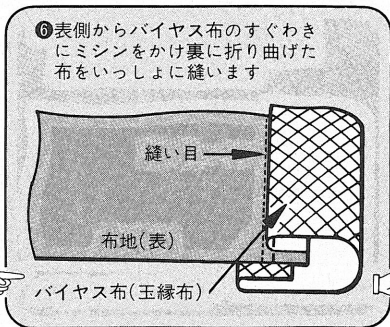
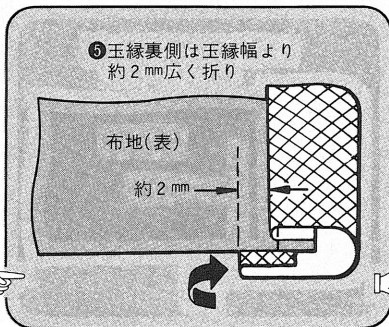
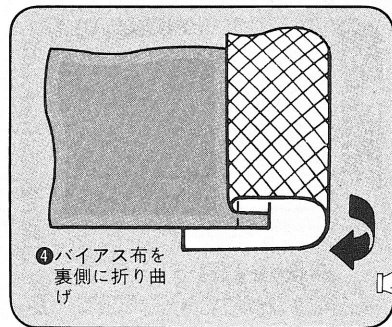
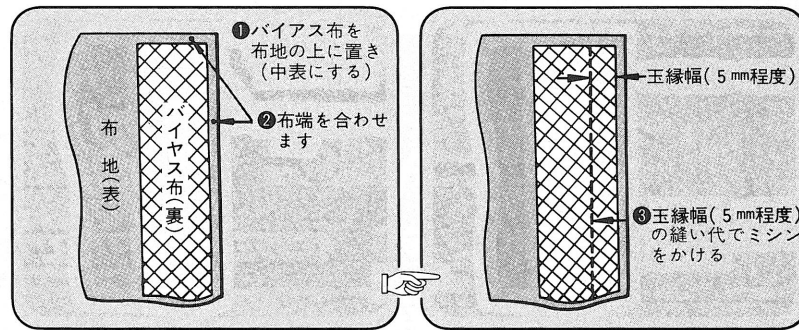


☆パイピング、玉縁ポケット、玉縁ボタン穴かがりなどに用います。  
※片押えの取り付け方、調節のしかたは、41ページをごらん下さい。

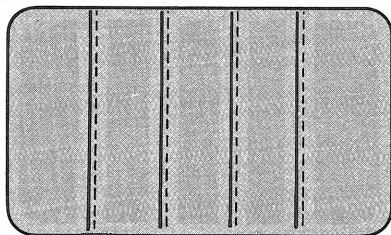
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、落としミシンができます。



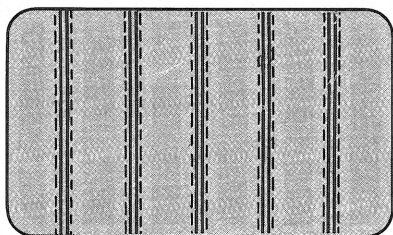
## 縫い方



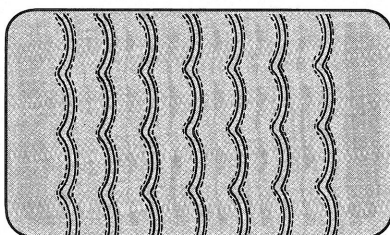
## ピントック



〈1本針直線縫い〉



〈2本針直線縫い〉



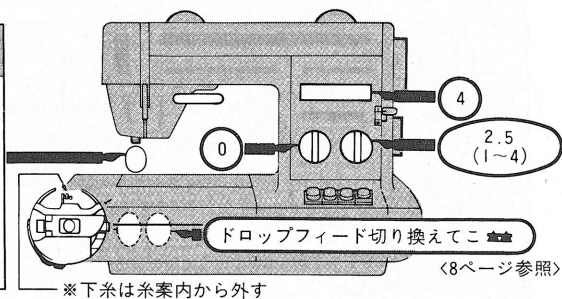
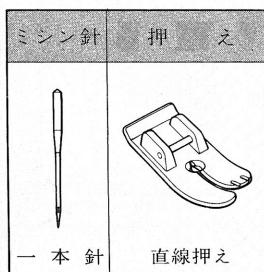
〈2本針直線カーブ縫い〉

☆ごく細くつまんでミシンをかけたものをピントックといいます。ブラウス、ワンピースのヨークや、そで、エプロンの胸やポケットの飾り、そのほかいろいろな手芸品に応用されるなど、装飾と実用を兼ねた縫い方です。

☆二本針のピントックは、上下糸共糸調子をごく強くします。

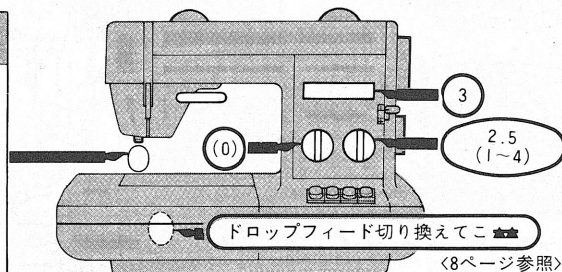
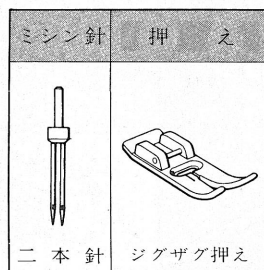
### ◆1本針直線縫いするとき

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと1本針直線縫いでピントックができます。

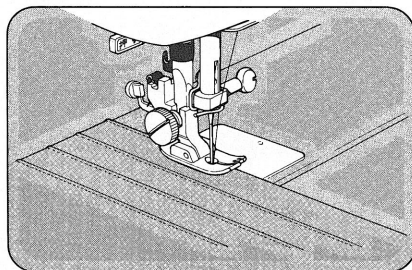


### ◆2本針直線縫いするとき

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと2本針直線縫いでピントックができます。



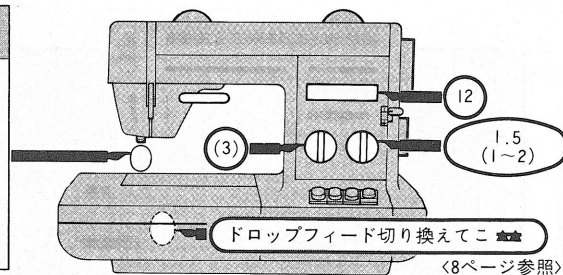
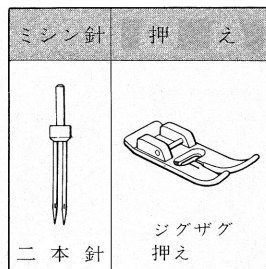
### 縫い方



※二本針も一本針と同じように縫います。

### ◆2本針点線カーブ縫いするとき

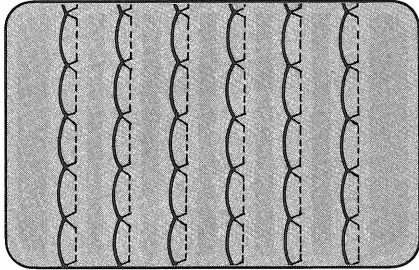
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと2本針点線カーブ縫いでピントックができます。



※2本針の上糸の掛け方は、13ページをごらん下さい。

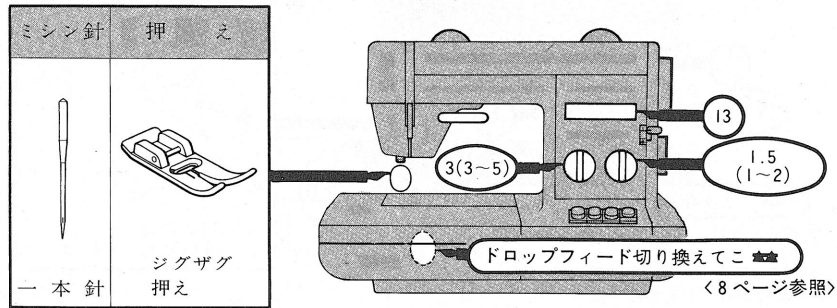
※模様表示(12)に合わせてからジグザグ幅調節ダイヤルを合わせなおして下さい。

## シェルタック

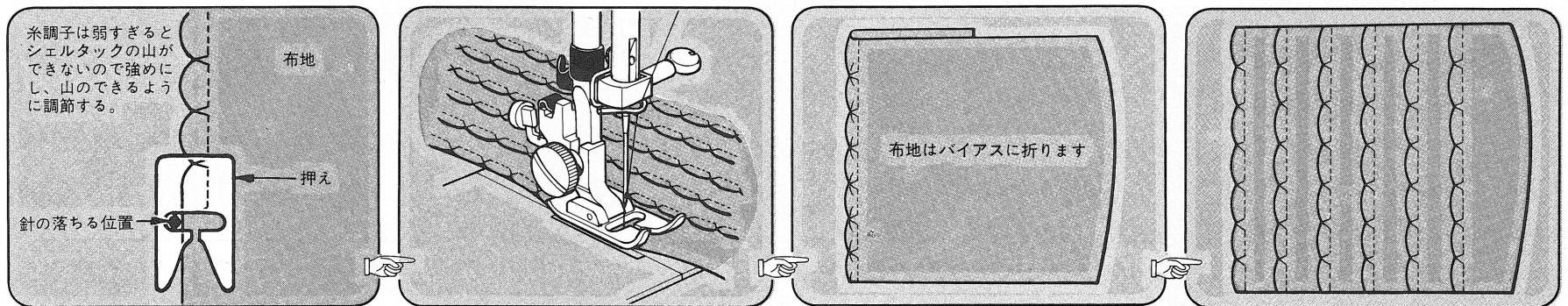


☆シェルタックは、ブラインドステッチを利用して、貝がらを一直線に並べたような円弧状のひだを作るもので、縁取りなどにも用いるほか、ピントックと同じように、ブラウス、ワンピースの胸もとや袖などに利用されます。

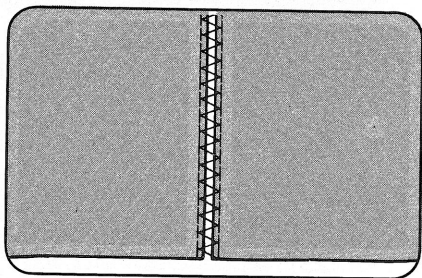
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとシェルタックができます。



## 縫い方

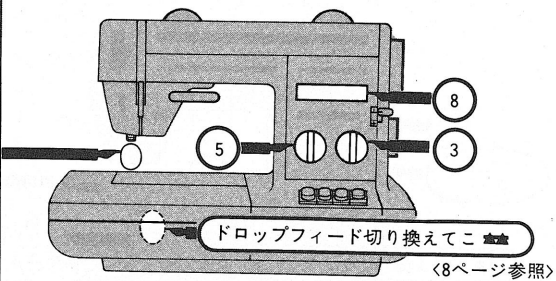
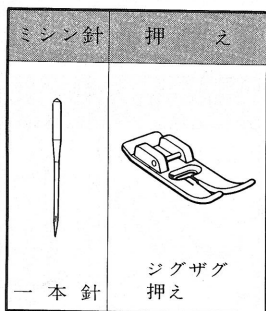


## ファゴティング

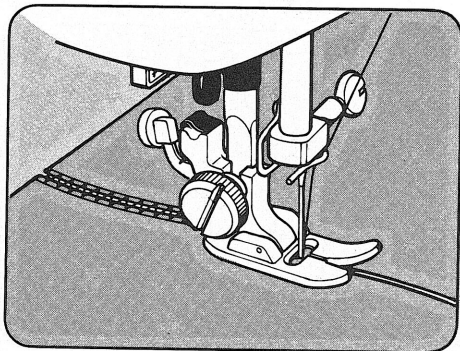


☆布地と布地の間を離して、糸でかかる方法をファゴティングといいます。ブラウスや子供服、手芸品などに使います。

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとファゴティングができます。

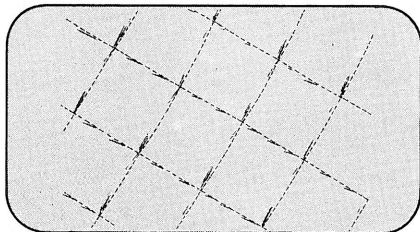


## 縫い方



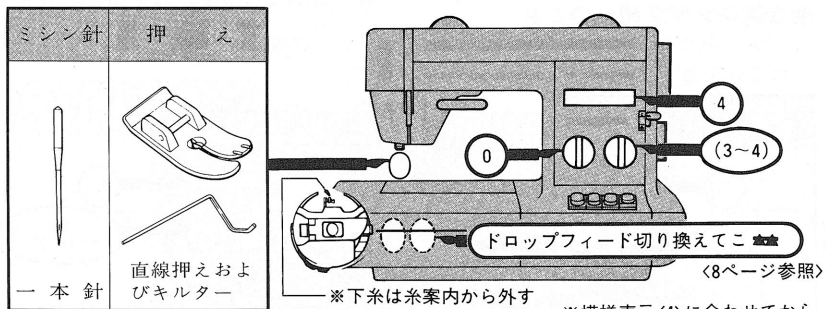
- ※糸はできるだけ太い糸を用いて下さい。
- ※布地の下に薄紙を敷いて縫って下さい。
- ※布地と布地の間隔は、3～4mm位にして縫って下さい。

## キルティング

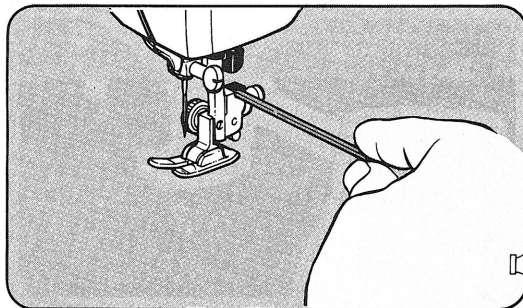


☆布地の間に綿などははさんで左の図のように縫い合わせ、コートやアノラック、ガウンなどに主として利用されますが、ドレスなどにも図案を応用した装飾として使うこともできます。この縫い方は、表地と裏地の間に布ずれや布縮みが起きやすいので気を付けて縫いましょう。

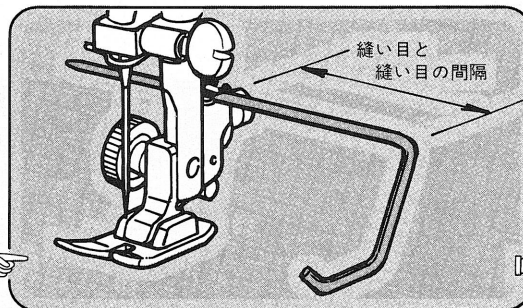
☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとキルティングができます。



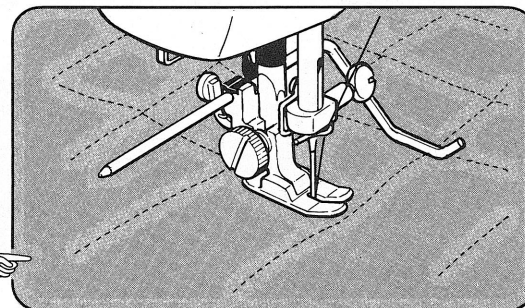
### 縫い方



☆キルターを押えばねのすきまに差し込み、必要な間隔に合わせます。

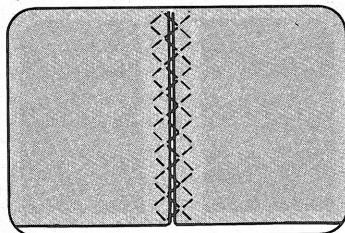


☆縫い目と縫い目の間隔を広くしたいときはキルターを右側に、間隔を狭くしたいときは左側にします。

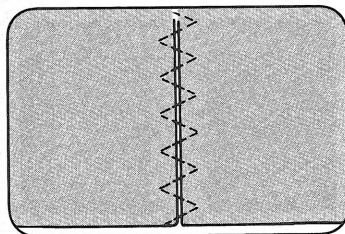


☆先に縫った縫い目をキルター（棒定規）の先でたどりながら縫います。

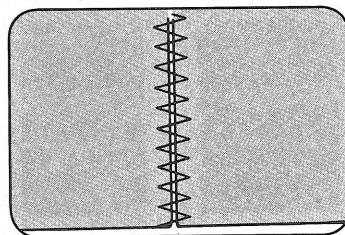
## つき合わせはぎ



〈スーパー模様縫い〉



〈点線ジグザグ縫い〉

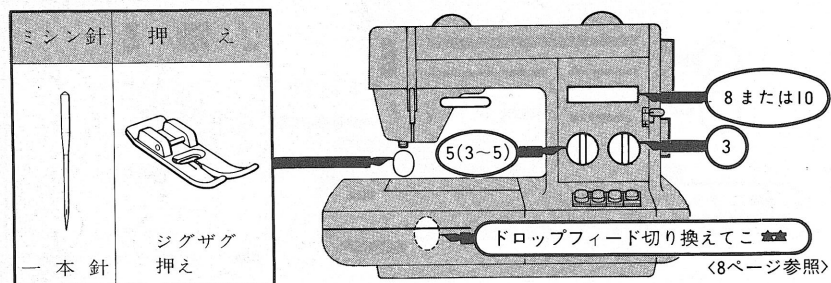


〈ジグザグ縫い〉

☆2枚の布の裁ち目(できあがり線)をつき合わせた状態で、つなぎ合わせる時に用います。

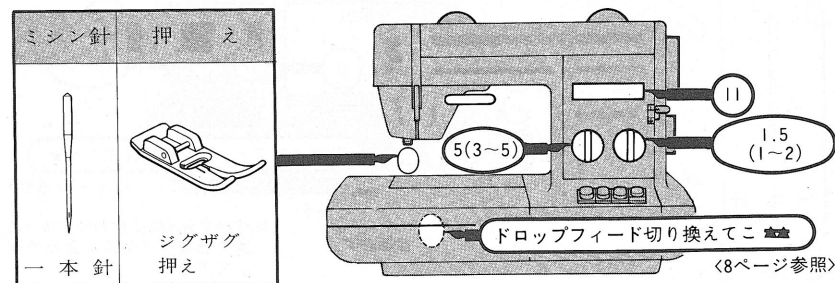
### ◆スーパー模様縫いのとき

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、スーパー模様縫いでつき合わせはぎができます。



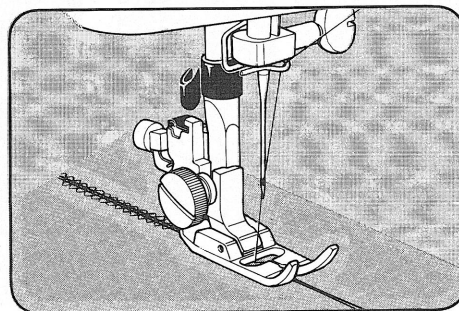
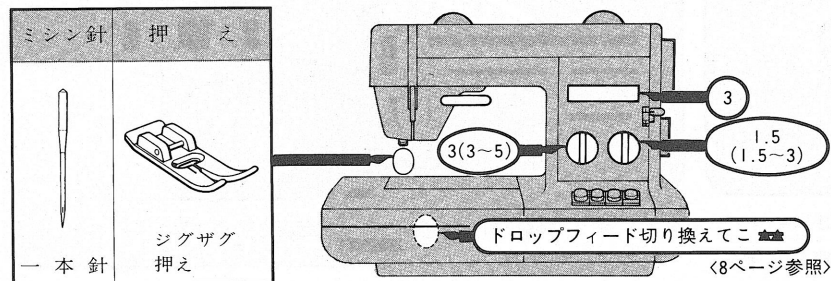
### ◆点線ジグザグ縫いのとき

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、点線ジグザグ縫いでつき合わせはぎができます。



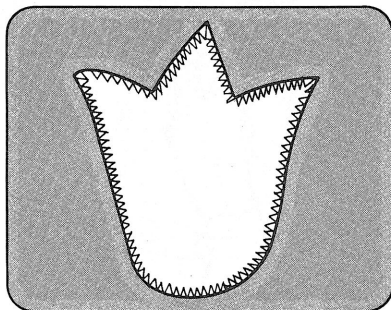
### ◆ジグザグ縫いのとき

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますと、ジグザグ縫いでつき合わせはぎができます。



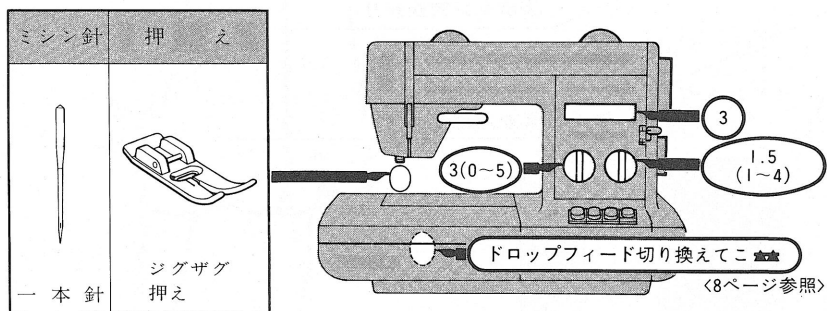


## アップリケ



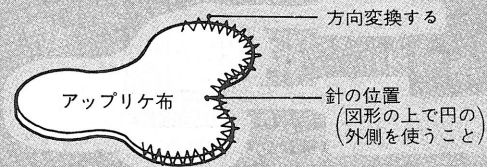
☆エプロン、子供服などにあしらいます。

☆ミシンをつぎのようにセットして縫いますとアップリケができます。

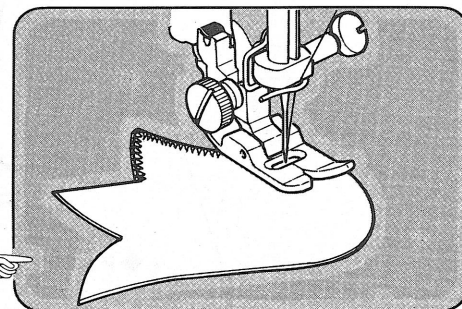
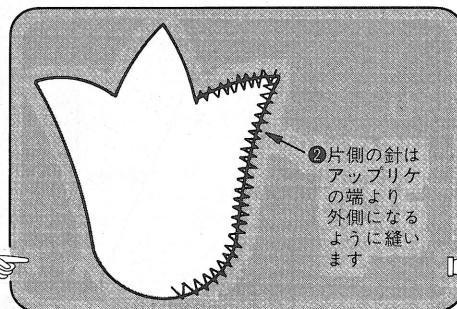
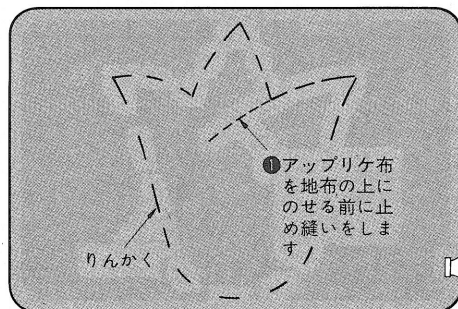


### アップリケをするときの注意

1. 縫い方はサテステッチ、ジグザグ縫いなどがありますが、縫い目長さ、ジグザグ幅はアップリケ図案の形、大きさ、材質などに応じて調節して縫います。
2. アップリケ布の種類によってはつれない布の場合は、そのままジグザグ縫いでアップリケしますが、ほつれやすい布の場合は、まず、和紙にむらのないようにうす糊を付け、布をはり、なま乾きのうち表から当て布をしてアイロンで乾かし、図案に応じて切り取り、サテステッチで縫います。
3. 大きな図案の場合は、チェーンステッチでしつけ縫いをしておきますと便利です。
4. 丸味のある図案では円の外側に針を刺したまま押えを上げて少しずつ方向を変えながら縫った方が縫い目がきれいにできます。



### 縫い方



③ ジグザグ幅を「0」にして5~6針最後の縫い目によって返し縫いをします

# ❁ 楽しい実用作品 ❁

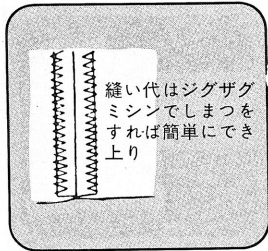
## ◆あなたの装いはブラザーホームソーイングパターンで…

ブラザーホームソーイングパターンを使って図のような作品を作ってみました。ジグザグミシン1台でこんなにいろいろな縫い方ができて本当に便利です。

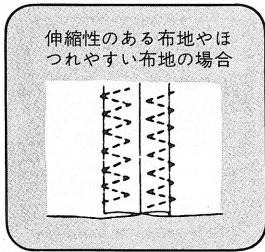
さあ、ジグザグミシンを使っていろいろな楽しい作品を作ってみましょう。

### ㊦裁ち目かがり

縫い代はジグザグミシンでしまつをすれば簡単にでき上ります……



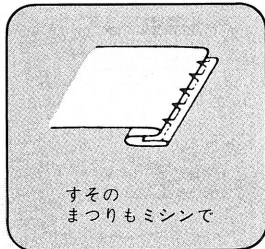
〈ジグザグ縫い〉



〈点線ジグザグ縫い〉

### ㊦まつり縫い

すそのまつりもミシンで……



〈ブラインドステッチ〉



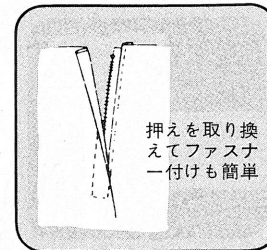
㊦ボタン穴かがり

㊦かんぬきどめ

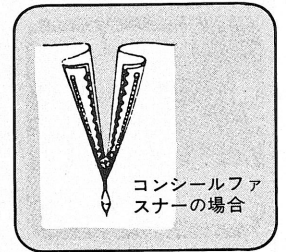
◆ブラザーホームソーイング  
パターンツーピース◆

### ㊦ファスナー付け

押えを取り換えてファスナー付けも簡単……



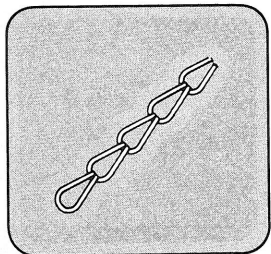
〈普通ファスナー〉



〈コンシールファスナー〉

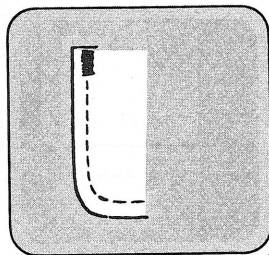


⑧飾りステッチ  
〈チェーンステッチ〉



⑧ファスナー付け

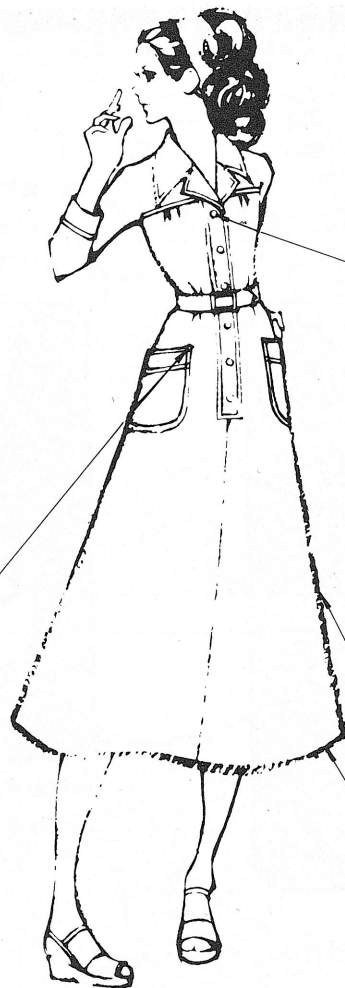
⑧かんぬき止め  
ポケット口はかんぬき止めをして丈夫に……



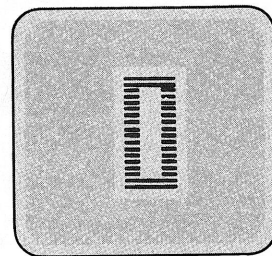
〈サテンステッチ〉

⑧まつり縫い

◆ブラザーホームソーイング  
パターン・ジャンパースカート◆



⑧ボタン穴かがり



⑧裁ち目かがり

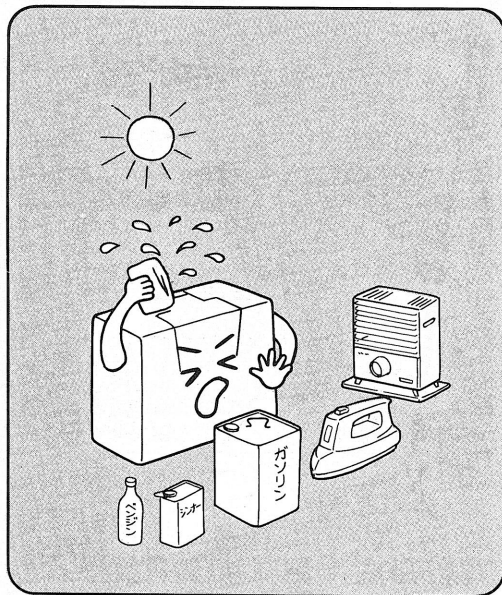
⑧まつり縫い

◆ブラザーホームソーイング  
パターン・ワンピース◆

## ✿ ミシンの手入れと注油 ✿

### 掃除と手入れ

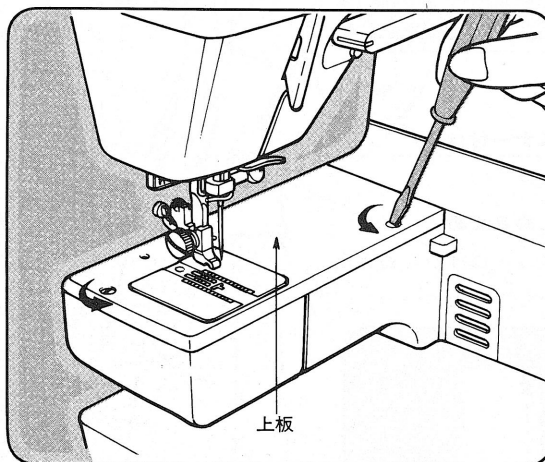
☆かるいよごれは、やわらかい乾いた布でふいて下さい。また、ひどいよごれは中性洗剤に浸した布できれいにふきとって下さい。



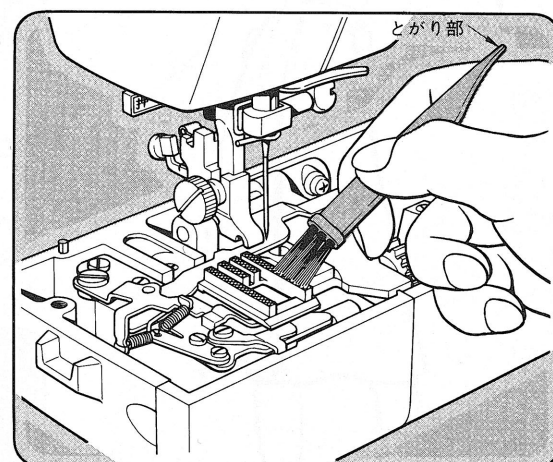
- (注意) 1. ストーブやアイロンなどは近付けないようにして下さい。
2. ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使わないようにして下さい。
3. 保管するときは、できるだけ直射日光をさけて下さい。

### 送り歯の掃除

☆針板と送り歯の間は糸くずやほこりがたまりやすく、いろいろな故障の原因になる場合がありますので、つねに清潔にしておきましょう。




☆押えを外し、図のように2本の締めねじをゆるめて、上板を外します。



☆糸くずやほこりが油で固まって取れない場合は、ミシンブラシのとがり部で取って下さい。

### 注意

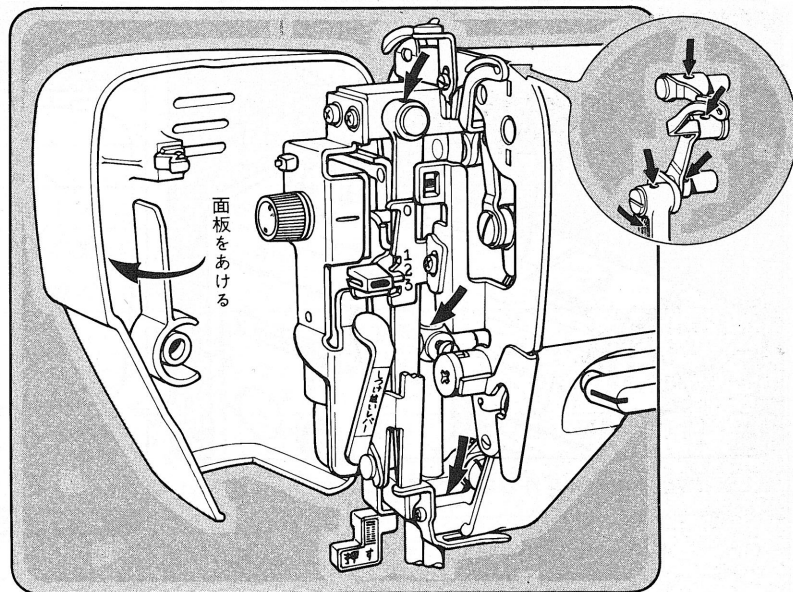
上板を取り付けるときは、必ず模様表示を  に合わせて下さい。

## 注 油

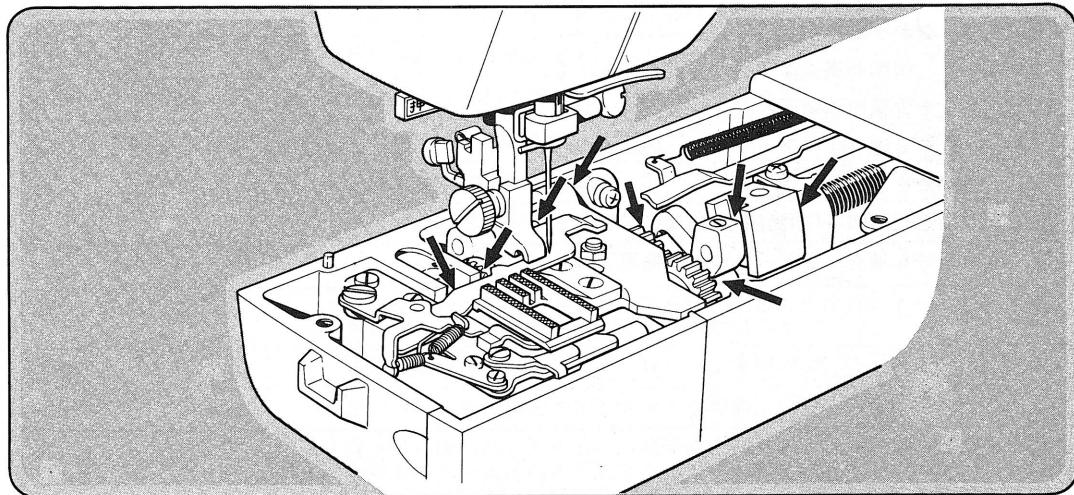
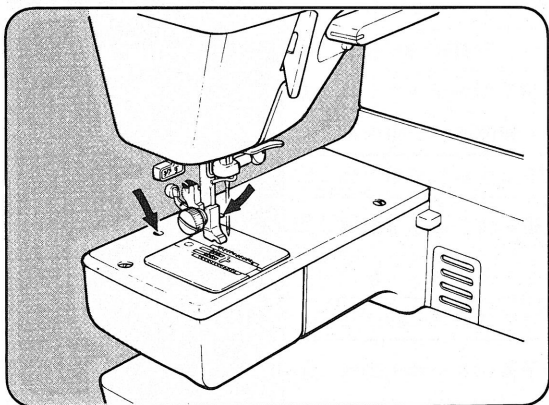
☆動く部分にいつも油があればミシンは軽く、静かに運転でき、寿命も大変長持ちします。

☆毎日1時間位ご使用の場合は、一週間に1度位、毎日数時間ご使用の場合は毎日1回、矢印の個所および摺動部分に付属のミシン油を数滴ずつ注油して下さい。

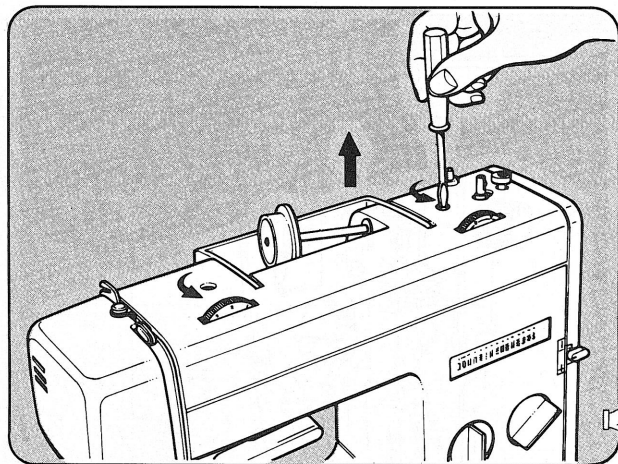
☆注油穴付近に付着した油は、布できれいにふきとって下さい。



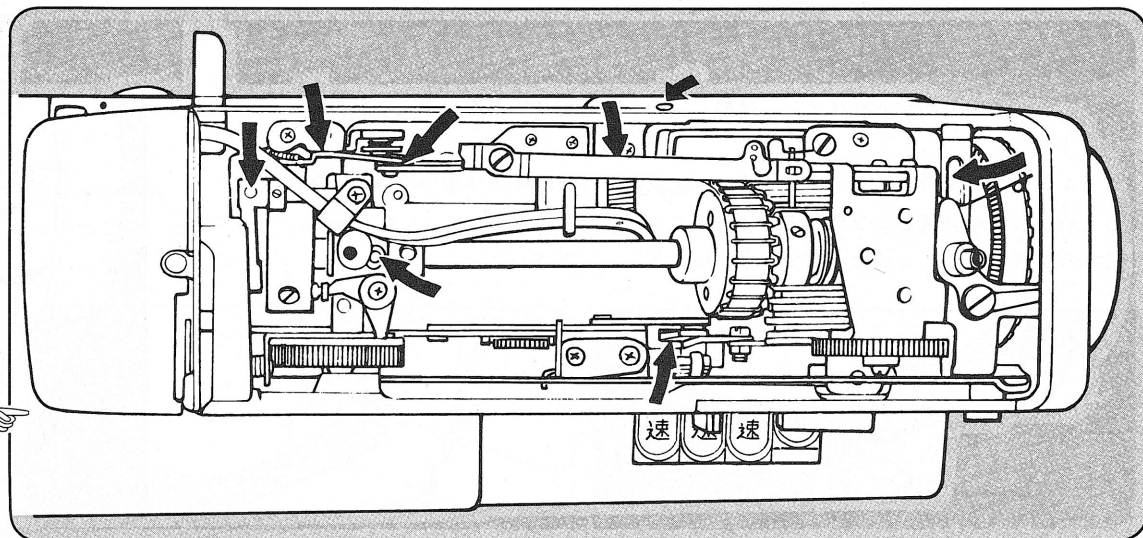
☆上板の注油部分



☆ときどき上板を取り外し(57ページ参照)上図の個所にも注油して下さい。



☆ときどき上ふたを取り外し右図の個所にも注油して下さい。



#### 長期間使用しなかった場合

☆油が固って、回転が重くなる場合がありますので、

- ①ベンジンを少量注油個所に差し、
- ②ミシンに糸を掛けずに押えを上げ、高速で運転し、古い油を取り去ってから、
- ③ミシン油を注油個所(摺動部分)全部に差します。
- ④つぎに余分な油をふきとってからご使用下さい。

## ✿ 簡単な調整手入れ ✿

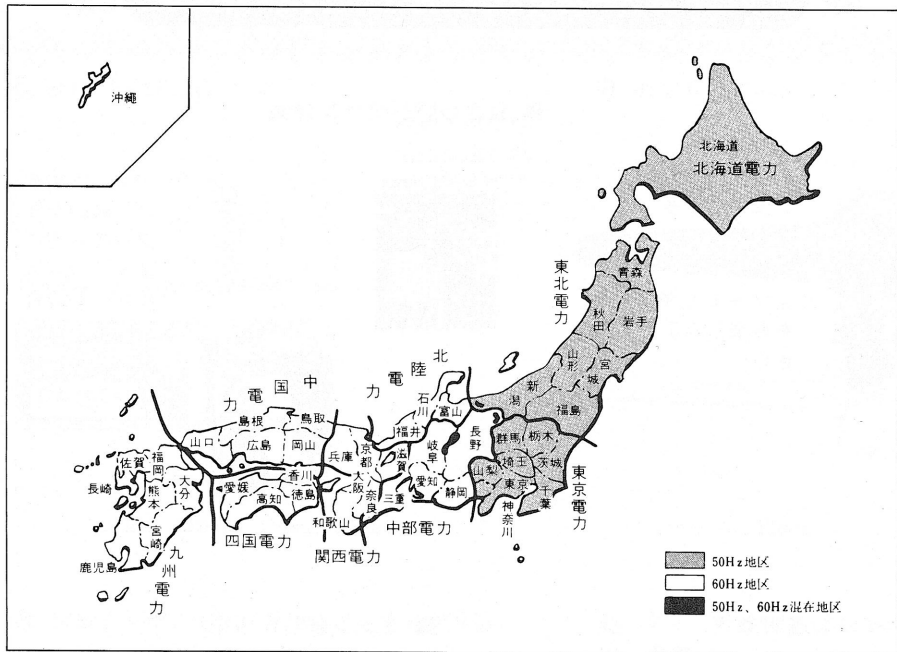
☆ミシンの調子が悪い場合は、まずつぎの原因を確かめましょう。ミシンの場合、ちょっとした使用上の誤りから起る原因が多いものです。一度その原因を確かめ、処置を試みましょう。もし、それでもなおらない場合は、最寄りのブラザー販売店にお申し付け下さい。

調子よく縫えない状態	原 因	処 置 の し か た
1. 布地を送らない	① 送り歯が下がっている場合	ドロップフィード切り換えてこ(▲)を押して送り歯を上げます。
	② 縫い目の長さが「0」になっている場合	必要な縫い目長さに調節します。
	③ 押え圧力調節レバーが「0」になっている。	押え圧力調節レバーを「1・2」または「3」にします。
2. 上糸が切れる	① 糸の掛け方が間違っている場合	正しく掛け直します。13ページ参照
	② 糸が必要以外のところからみ合っている場合	糸かけ等にからまわっていないかを確認し、からまっている場合は取り外して正しく掛けなおします。
	③ 糸調子が不当に強過ぎる場合	布地・ミシン糸・ミシン針の関係をよく確認の上、強過ぎないように適正な糸調子に調節します。17・23ページ参照
	④ 針の取り付け方が不完全な場合	正しく取り付けます。8ページ参照
	⑤ 粗悪な針を使用した場合	針を取り換えます。 ブラザーミシン針H A×1をご使用下さい。
	⑥ 針穴より太い糸を使用した場合	正しい組み合わせにします。17ページ参照
3. 縫い目が飛ぶ	① 針の取り付け方が不完全な場合	正しく取り付けます。8ページ参照
	② 針が曲っていたり、針先がつぶれている場合	正しい針と取り換えます。8ページ参照
	③ 布地・ミシン糸・ミシン針の関係が悪い場合	正しい組み合わせにします。17ページ参照
	④ 粗悪な針を使用した場合	ブラザーミシン針と取り換えます。
	⑤ 糸くずが針板の下部に付着している場合	上板を外して掃除をします。57ページ参照
	⑥ 糸の掛け方が間違っている場合	正しく掛け直します。13ページ参照
4. 針が折れる	① 針の取り付け方が不完全な場合	正しく取り付けます。8ページ参照
	② 布地を不当に引っ張った場合	縫いながら布を強く押えたり不当に引っ張ってはいけません。 手は布地が曲らないようにそえるだけにします。
	③ 布地・ミシン糸・ミシン針の関係が悪い場合	正しい組み合わせにします。17ページ参照
	④ 針が曲っていたり、針先がつぶれている場合	正しい針と取り換えます。8ページ参照
5. 下糸が切れる	① ボビンケースの調子ばねを強く締め過ぎた場合	調子ばね締めねじをゆるめて調子を合わせます。この場合、上糸の調子もゆるめないと糸調子不良となりますから注意して下さい。
	② ボビンケースに糸の通し方が間違っている場合	正しく掛け直します。16ページ参照

調子よく縫えない状態	原因	処置のしかた
6. 縫い目に輪ができる	① 上糸、下糸の調子が完全でない場合	正しい糸調子にします。23ページ参照
7. 縫い物にしわがよる	① 糸調子が強過ぎる場合	特に薄物を縫うときは、上糸、下糸ともに糸調子のゆるい範囲内なるべく調子をゆるくします。
	② 糸の掛け方が間違っている場合	正しく直し直します。13ページ参照
8. 回転が出ないまたは音が高い	① 油が切れている場合	動く部分に注油します。58ページ参照
	② 送り歯にごみがたまっている場合	送り歯を掃除します。
	③ ミシン油でない油を使用した場合	ブラザーミシン油を使用して下さい。
9. ミシンが回らない	① スピードコントロールプッシュボタンが押していない場合	お好みのスピードコントロールプッシュボタンを押して下さい。
	② コントロールレバーを「スタート」の位置にしてから、電動スイッチボタンを押した場合	コントロールレバーをいったん「ストップ」の位置にもどしてから、あらためて「スタート」にして下さい。



◆移転などする場合は



★家庭用交流電源の国内周波数分布は、左図のようになっております。  
もし、移転などにより、電源周波数のことなる地方でご使用になる場合は、電源周波数切り換えレバーの切り換えが必要ですから、お買い上げ店または最寄りのブラザー販売店へご相談下さい。

あなたのホームソーイングをより楽しくする……



ブラザーミシン用出版物・用具



ブラザーホームソーイングパターン



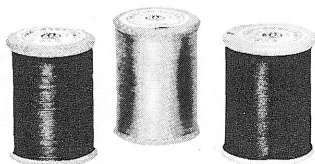
あなたのドレス作りにブラザーパターンを使ってホームソーイングをお楽しみ下さい。

やさしいパターン洋裁



パターン洋裁の一般的な知識や縫い方の基本、ドレス作りの全行程を図解入りで解りやすく説明しています。

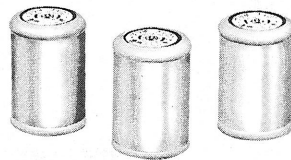
絹ミシン刺しゅう糸



ミシン刺しゅうにはかかせない美しい色調と強さをもった正絹ミシン刺しゅう糸です。

(堅牢染80番 130m巻80色)

ミシン用ナイロン透明糸



編地・ジャージーなどの縫製に伸びる糸透明糸をお使い下さい。

(60番 500巻 白)

ミシン刺しゅう糸



豪華なものには正絹糸をご利用下さい。

(堅牢染80番 130m巻 12色セット)

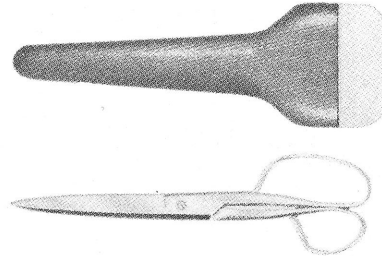
高級裁ちばさみ



洋裁・和裁に最適な高級裁ちばさみです。種類も豊富です。

(サイズ200mm、210mm、240mm、260mm)

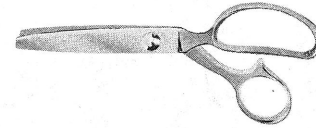
紙切りばさみ



型紙を切るのに便利な紙切りばさみです。

(サイズ・180mm)

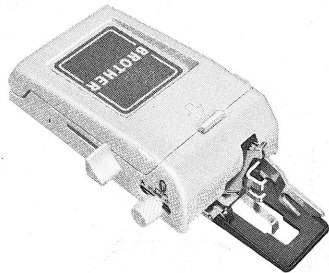
ピンキングばさみ



布地のへりを刻みに切る便利なピンキングばさみです。

(サイズ・9インチ)

家庭ジグザグミシン専用ボタン穴かがり器



面倒なボタン穴かがりが自動的に美しくできる家庭ジグザグミシン専用ボタン穴かがり器です。

カラー針

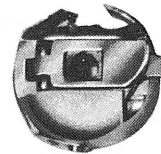


その他、ボビン・チャコペーパー・チャコペル・刺しゅう用半月ばさみなどいろいろあります。

ミシン油



ボビンケース



＝お客様相談コーナー＝

札幌支店 〒060 札幌市中央区南三条西 3 - 2 - 2 電話<011> 261-6631  
仙台支店 〒980 仙台市一番町 2 - 3 - 1 0 電話<0222> 27-8870  
北関東支店 〒104 東京都中央区京橋 3 - 3 - 8 電話<03> 281-4121  
東京支店 〒104 東京都中央区京橋 3 - 3 - 8 電話<03> 281-4121  
~~横浜支店 〒220 横浜市西区楠町 9 - 6 電話<045> 312-8691~~  
~~新潟支店 〒950 新潟市東大通 1 - 1 - 1 電話<0252> 47-7101~~  
~~静岡支店 〒420 静岡市御幸町 9 - 1 電話<0542> 54-2601~~  
名古屋支店 〒460 名古屋市中区栄 3 - 27 - 18 電話<052> 261-3271  
~~京都支店 〒600 京都市下京区西条通り御幸町角 電話<075> 255-2481~~  
大阪支店 〒542 大阪市南区心斎橋筋 1 - 1 電話<06> 252-5321  
広島支店 〒730 広島市胡町 4 - 2 7 電話<0822> 41-9236  
高松支店 〒760 高松市寿町 1 - 1 - 5 電話<0878> 51-7341  
福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅前 2 - 2 0 - 1 電話<092> 431-6561  
~~熊本支店 〒860 熊本市城東町 2 - 2 0 電話<0963> 55-7151~~  
沖縄出張所 〒900 那覇市泊 3 - 1 - 2 電話<0988> 68-4511

◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、ご購入の販売店  
または上記のお客様相談コーナーへご連絡下さい。

※上記の電話番号及び住所は、都合により変更することがありますのでご了承  
下さい。



**BROTHER**  
**ブラザー**

ブラザー工業株式会社  
ブラザー ~~マシン~~ 販売株式会社  
〒467 名古屋市瑞穂区堀田通9-35  
TEL 代表 <052> 824-2511